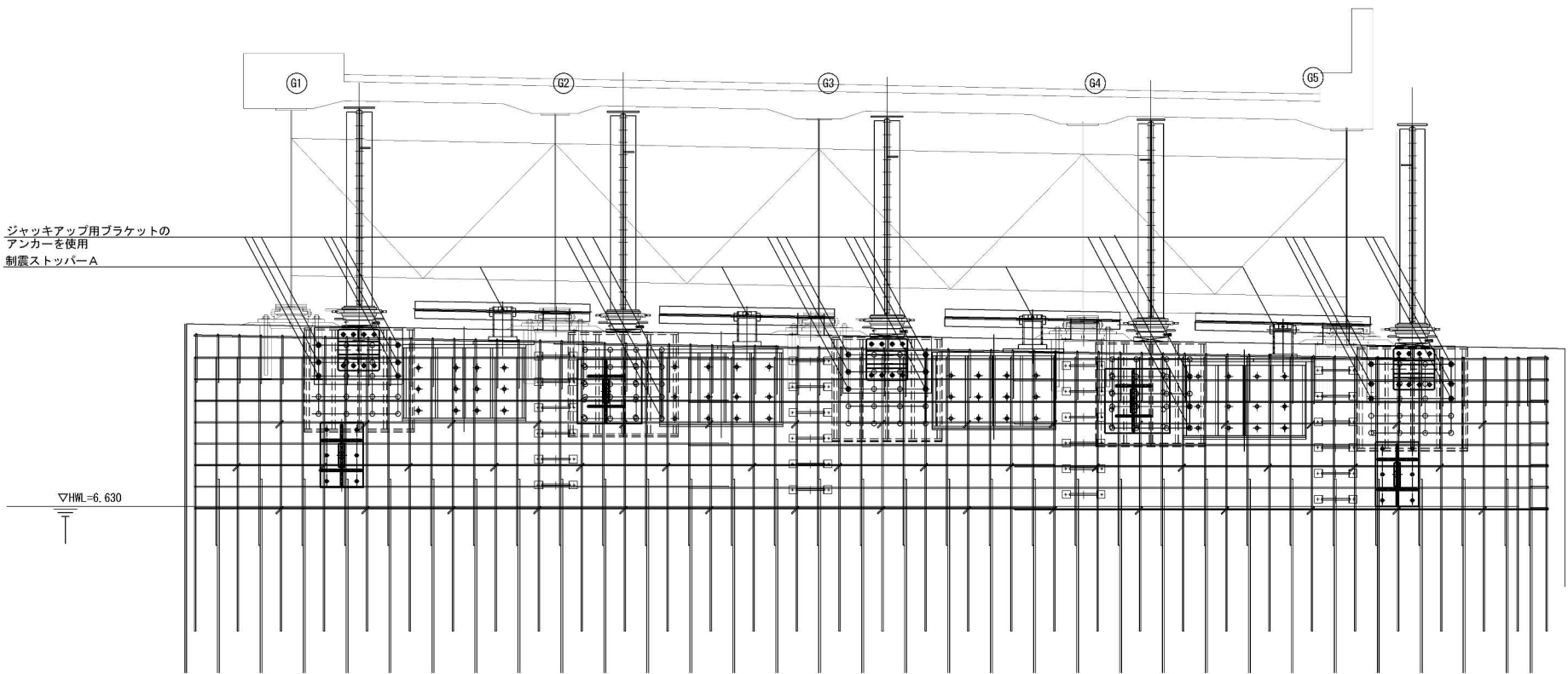
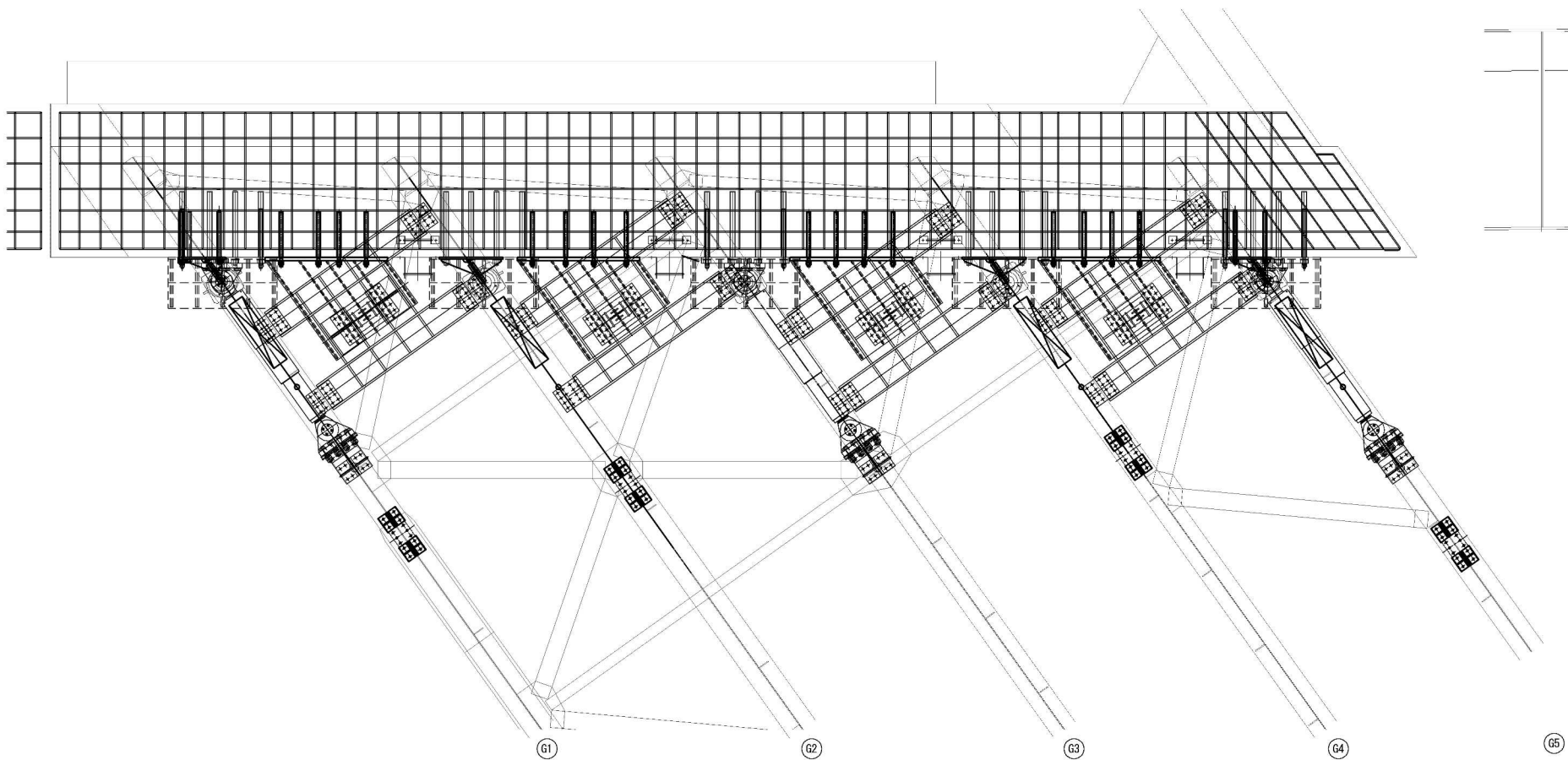


上り線
制震ダンパー750(±250)、制震ストッパーA

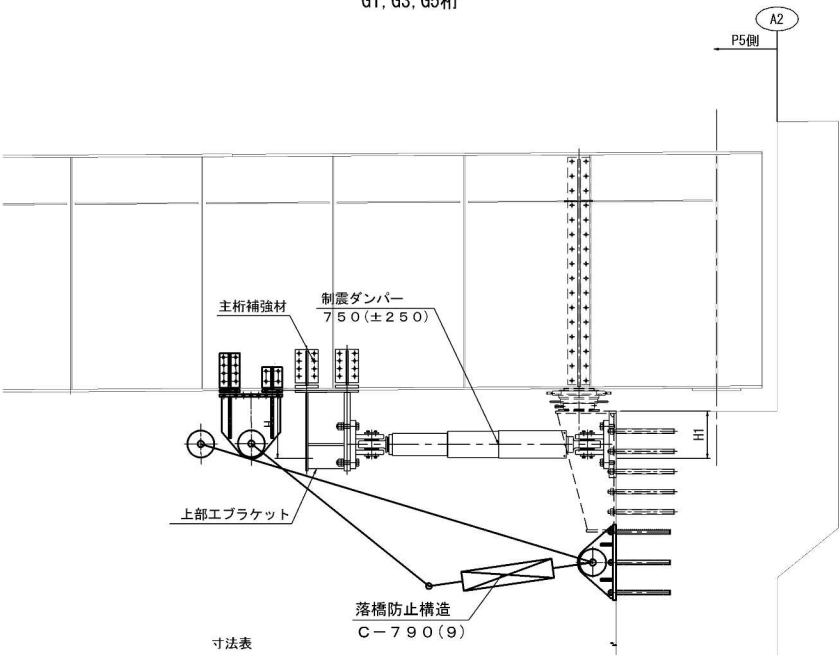
正面図
P4側



平面図



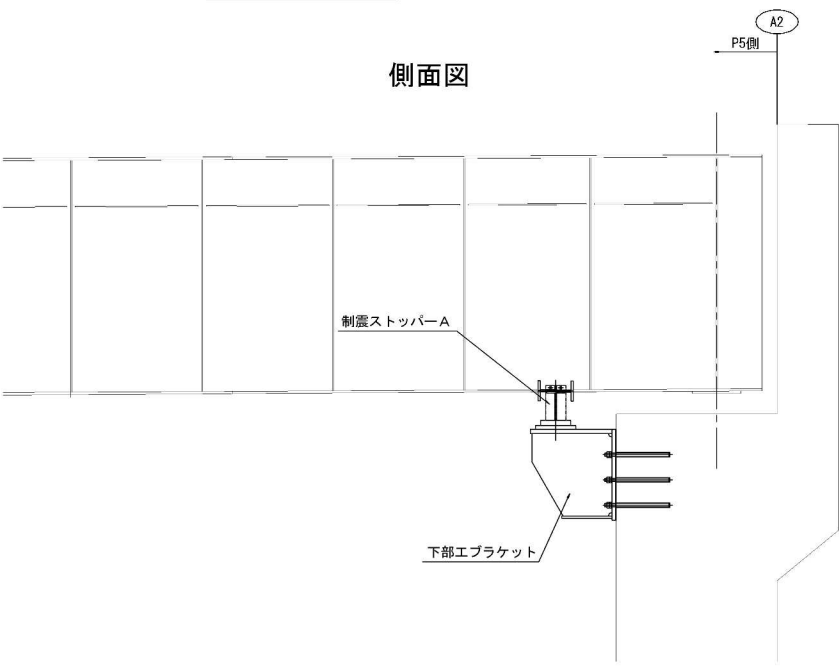
側面図
G1, G3, G5桁



寸法表

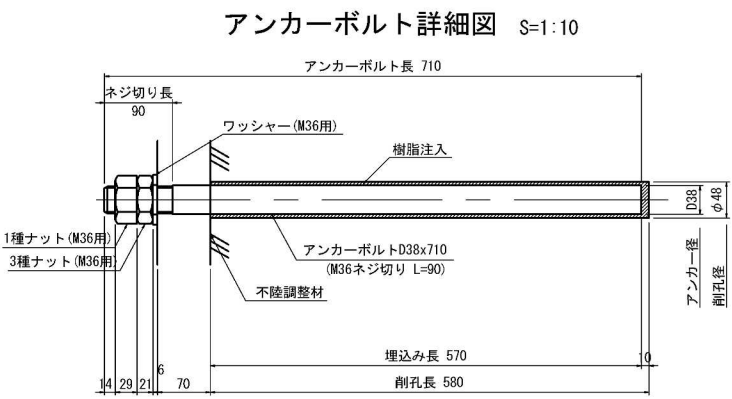
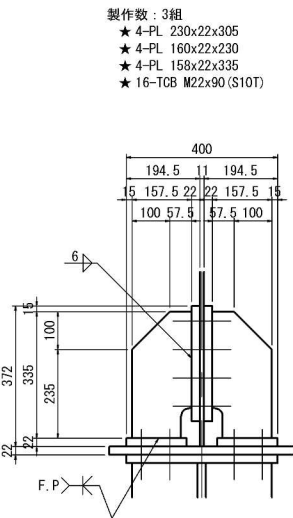
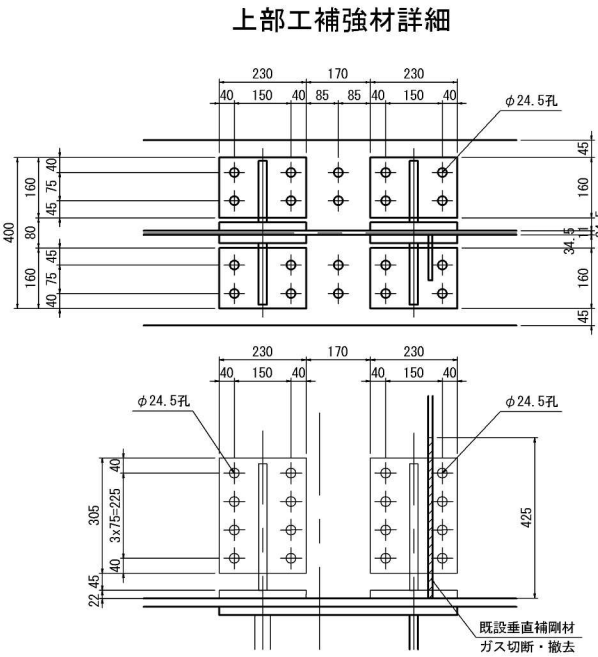
	H	H1
G1	250	425
G2	260	
G3	240	427
G4	240	
G5	230	429

側面図

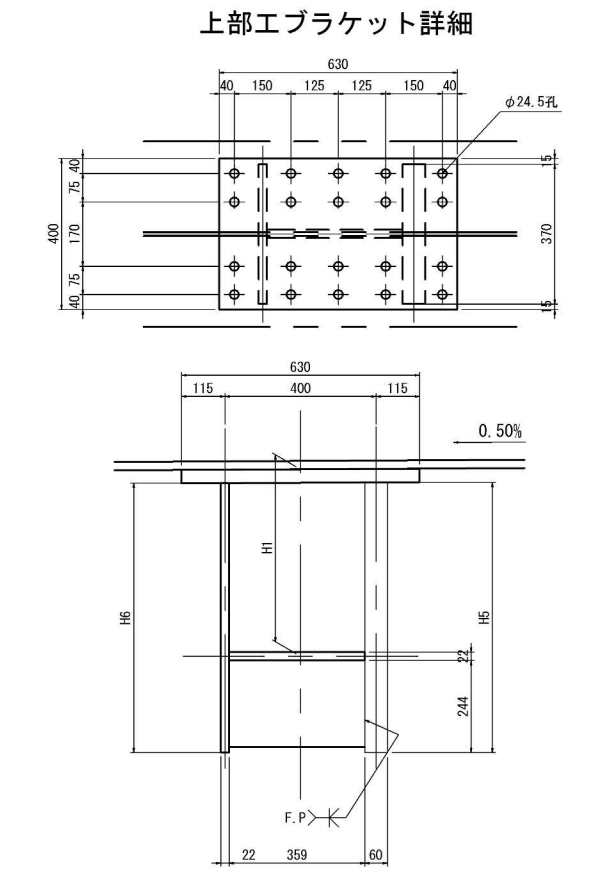
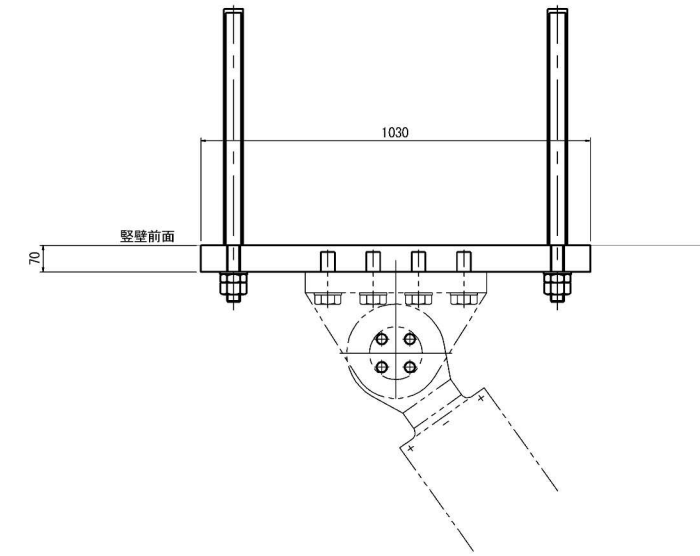


八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線
制震ダンパー750(±250) 補強詳細図

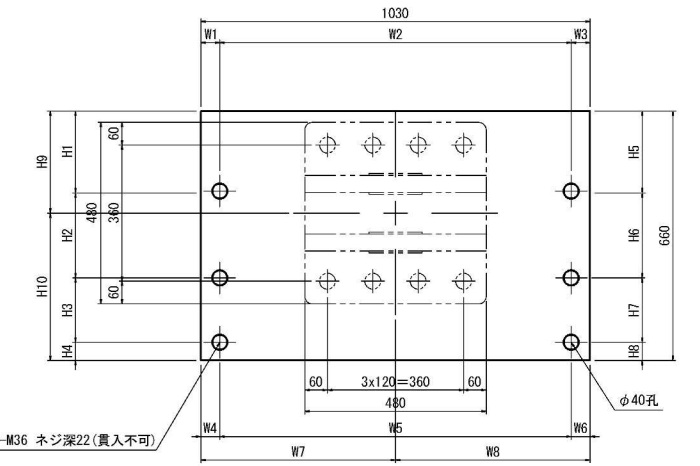
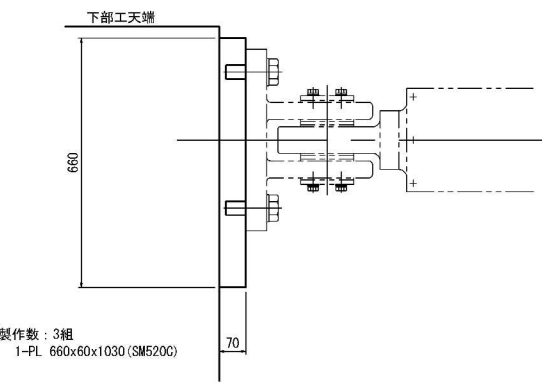


下部エブラケット詳細
G1桁, G3桁, G5桁



寸法表

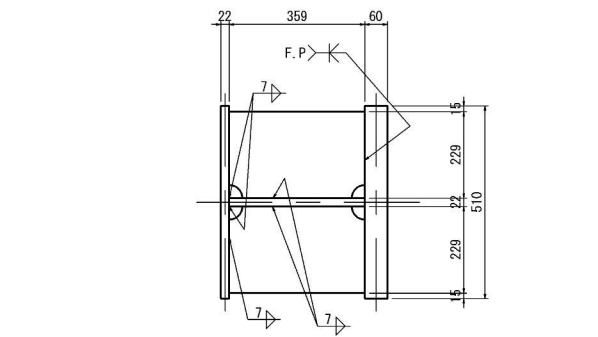
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	t
G1桁	536	791	776	251	792	790	16
G3桁	548	803	788	253	804	802	14
G5桁	548	800	785	250	801	799	22



寸法表

	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8		
G1桁	53	923	54	53	923	54	519	511		
G3桁	65	900	65	65	900	65	515	515		
G5桁	50	930	50	50	930	50	551	479		

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
G1桁	202	200	160	98	202	200	160	98	261	399
G3桁	212	200	200	48	212	200	200	48	270	390
G5桁	210	230	170	50	210	230	170	50	268	392



製作数: 各3組
★ 1-PL 420x22x530 (SM490YB)
★ 1-PL 510x60xLL1 (SM520C)
★ 1-PL 510x22xLL2 (SM490YB)
★ 1-PL 359x22xLL3 (SM490YB)
★ 2-PL 229x22x359 (SM490YB)
★ 4-TCB M22xLL4 (S10T)
★ 16-TCB M22xLL5 (S10T)

	LL1	LL2	LL3	LL4	LL5
G1桁	792	790	777	90	110
G3桁	804	802	789	85	110
G5桁	801	799	786	95	115

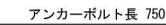
- 注記
- 特記なき材質はSM400Aとする。
 - 図中詳細寸法は、現地計測の上決定のこと。
 - アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
 - ★印以外の鋼部材は下記の通り、溶融亜鉛メッキ処理を施すものとする。
HDZT77 鋼板
HDZT49 ボルト・ナット・座金・アンカーボルト(下部工はネジ切り部のみ)
 - 溶接記号にF.Pの記載があるものは完全溶込み溶接とすること。
 - 特記なきスカーラップはR30とする。
 - ボルト孔明けについて、以下の通りとする。
TCB M22 → φ24.5 (既設)
TCB M22 → φ26.5 (新設)

八戸自動車道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事	
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その2)
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所

上り線



S=1:10



製作数：3組



注記

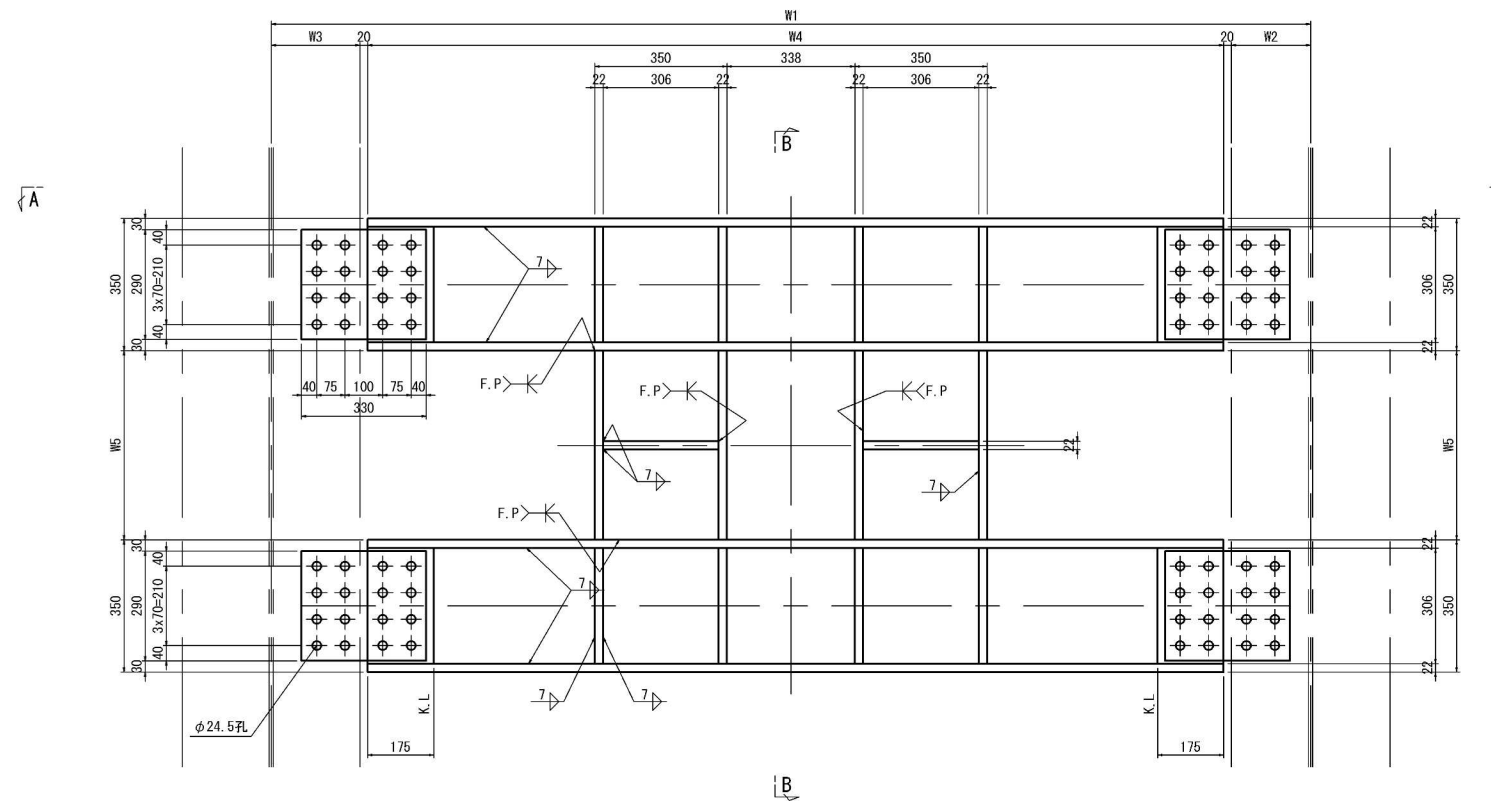
八百自動車道A2橋台 制震装置工図(その3)

図 示	図面番号	
-----	------	--

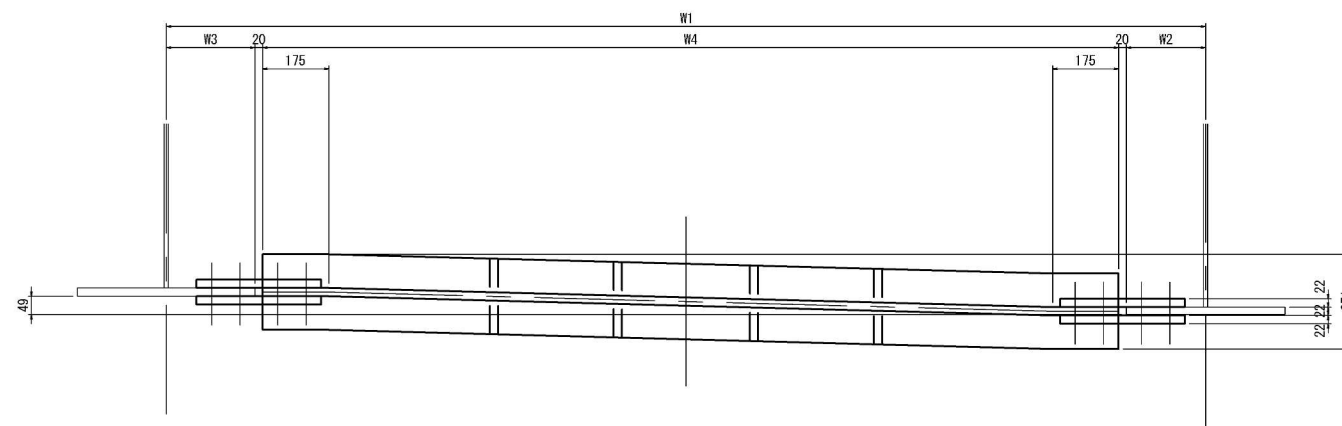
株式会社オリエンタルコンサルタンツ

東日本高速道路株式会社 東北支社
八戸管理事務所

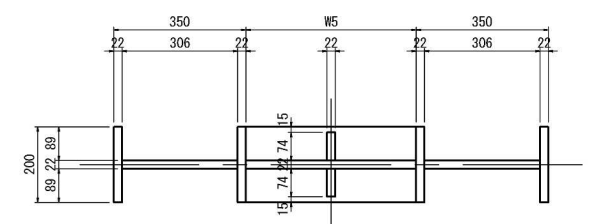
上り線
制震ストッパーA 上部工横梁詳細図



A - A



B - B



寸法表

	W1	W2	W3	W4	W5
G1-G2桁	2500	175	185	2100	700
G2-G3桁	2500	185	155	2120	700
G3-G4桁	2500	155	160	2145	700
G4-G5桁	2500	160	170	2130	700

製作数：1組 (G1-G2桁)
4-PL 250x22x2100 (SM490YB)
2-PL 306x22x2101 (SM490YB)
8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
64-TCB M22x105 (S10T)
4-PL 200x22x700 (SM490YB)
2-PL 306x22x700 (SM490YB)
4-PL 74x22x306 (SM490YB)
16-PL 306x22x89 (SM490YB)


製作数：1組 (G2-G3桁)

- 4-PL 250x22x2120 (SM490YB)
- 2-PL 306x22x2121 (SM490YB)
- 8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
- 64-TCB M22x105 (S10T)
- 4-PL 200x22x700 (SM490YB)
- 2-PL 306x22x700 (SM490YB)
- 4-PL 74x22x306 (SM490YB)
- 16-PL 306x22x89 (SM490YB)

製作数：1組 (G3-G4桁)
 4-PL 250x22x2145 (SM490YB)
 2-PL 306x22x2146 (SM490YB)
 8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
 64-TCB M22x105 (S10T)
 4-PL 200x22x700 (SM490YB)
 2-PL 306x22x700 (SM490YB)
 4-PL 74x22x306 (SM490YB)
 16-PL 306x22x89 (SM490YB)

製作数：1組 (G4-G5桁)
 4-PL 250x22x2130 (SM490YB)
 2-PL 306x22x2131 (SM490YB)
 8-SPL PL 290x22x310 (SM490YB)
 64-TGB M22x105 (S10T)
 4-PL 200x22x700 (SM490YB)
 2-PL 306x22x700 (SM490YB)
 4-PL 74x22x306 (SM490YB)
 16-PL 306x22x89 (SM490YB)

注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 図中詳細寸法は、現地計測の上決定のこと。
3. 溶接記号にFの記載があるものは完全溶込み溶接とすること。
4. 特記なきスカラーップはR30とする。
5. 印は、HTB M22 (F10T) を示す。
6. ボルト孔明けについて、以下の通りとする。
TCB M22 → φ24.5 (既設)
TCB M22 → φ26.5 (新設)
7. 部材は全て塗装処理とする。

八戸自動車道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	A2橋台 制震装置工図 (その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸 管 理 事 務 所		

上り線



(ベースプレート)

a
2
7
3
(456)

② ニ山クレビス

② ニ山クレビス

③ カバープレート

③ カバープレート

④ カラー

④ カラー

⑤ 球面軸受パッキン

⑤ 球面軸受パッキン

⑥ ピン

⑥ ピン

2×4-M16ネジ深24

2×4-M16ネジ深24

規格表

ダンパー仕様		
抵抗力	F	750 kN
ストローク	δ	± 250 mm
鋼製部材設計力	P	975 kN
移動量		
L2地震時最大変位	δ_e	± 125.9 mm
片温度変化移動量	Δt	± 62.8 mm
施工誤差吸収量	δ_o	± 15 mm

注) ストロークは
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量以上を
確保することを基本とする。

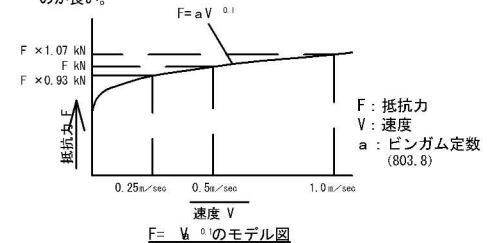
材料表

部番	品 名 称	材 質	個 数	質量 (kg)	備 考
①	BM-S	-	1	576.0	
②	ニ山クレビス	SC480H またJISB5006	2	305.8	
③	カーパープレート	SS400	4	5.4	
④	カラー	SS400	4	0.5	
⑤	球面軸受パッキン	250407250JIS	4	0.1	
⑥	ピン	SUS630	2	12.1	
⑦	六角ボルト	-	16	1.9	JIS B-1106 5.8級
				901.8	(kg)

注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛めっき仕様とする。
 注2) 上工とダンパー本体を結ぶ上下工架台および下工とダンパー本体を結ぶ下工架台②④ 六角ボルト締付け完了後に上下工架台と上下工を固定すること。
 注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。
 注4) BM-Sは抗拉力特性が速度の0.1乗に比例し、地震時速度における抗拉力変化が非常に小さい。
 各速度における抗拉力は、

速 度	抵 抗 力
0.25 m/sec	-7 %
0.5 m/sec	定 格 抵 抗 力
1.0 m/sec	7 %

となる。
このことから、動的解析を行なう際はバイリニアモデルを適用することができ。
また、動的解析ソフトが速度依存を考慮した解析を行なうことが可能な場合、 $F = a \cdot V^{0.1}$ の速度依存式に基づくモデルを用いるのが良い。



制震ダンパーは上記の性能を有する製品を使用することとし、上記の性能と異なる製品を使用する場合は、橋梁全体の照査を行うこと。

⑦ 六角ボルト 中 M16×40 8.8
(1-ばね座金, 平座金)

材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
(a)	六角ボルト・ナット	-	8		計測値 8.37kg (2- 平座金)
(b)	六角ボルト・ナット	-	8		計測値 8.37kg (2- 平座金)

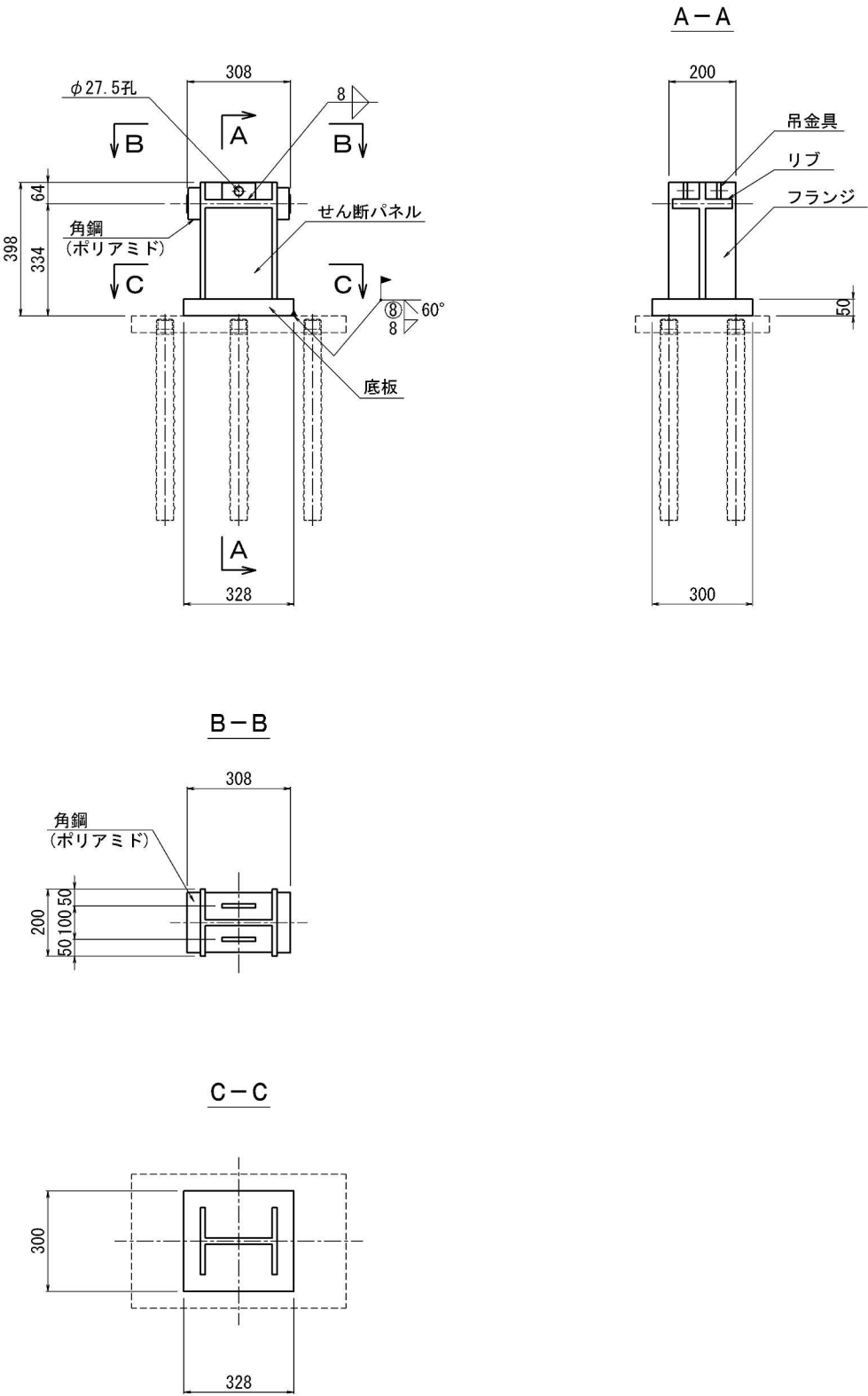
注5) 特に指定なき場合、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。

⑤ 六角ボルト	中	M39×	8.8
六角ナット	中	M39	8 (1種, 3種)
(2- 平座金)			
⑥ 六角ボルト	中	M39×	8.8
六角ナット	中	M39	8 (1種, 3種)
(2- 平座金)			

注6) ㊸, ㊹ の六角ボルトをねじ込み固定の際は、平座金、ばね座金各1枚使用を推奨。

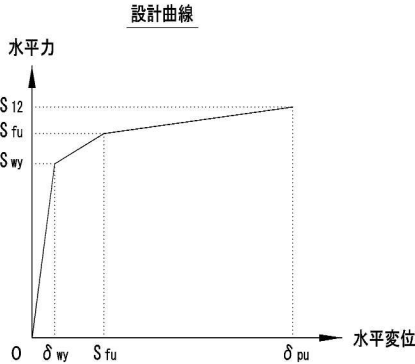
八 戸 自 動 車 道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	A2橋台 制震装置工図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線
制震ストッパー A 詳細図
【製作数:4】



L1地震時設計水平力	121.2 kN
L2地震時設計水平力	661.9 kN
L2地震時水平変位	7.0 mm

レベル1 地震時耐力	S _{L1}	412.6 kN
せん断パネルせん断降伏耐力	S _{wy}	467.7 kN
せん断パネルせん断降伏変位	δ _{wy}	0.338 mm
フランジ全塑性耐力	S _{fu}	567.7 kN
フランジ全塑性変位	δ _{fu}	2.536 mm
制震ストッパー限界耐力	S ₁₂	864.9 kN
制震ストッパー限界変位	δ _{pu}	24.0 mm
設計累積塑性変形倍率 (動的解析)	Σ η d	
製品重量	W _s	76 kg

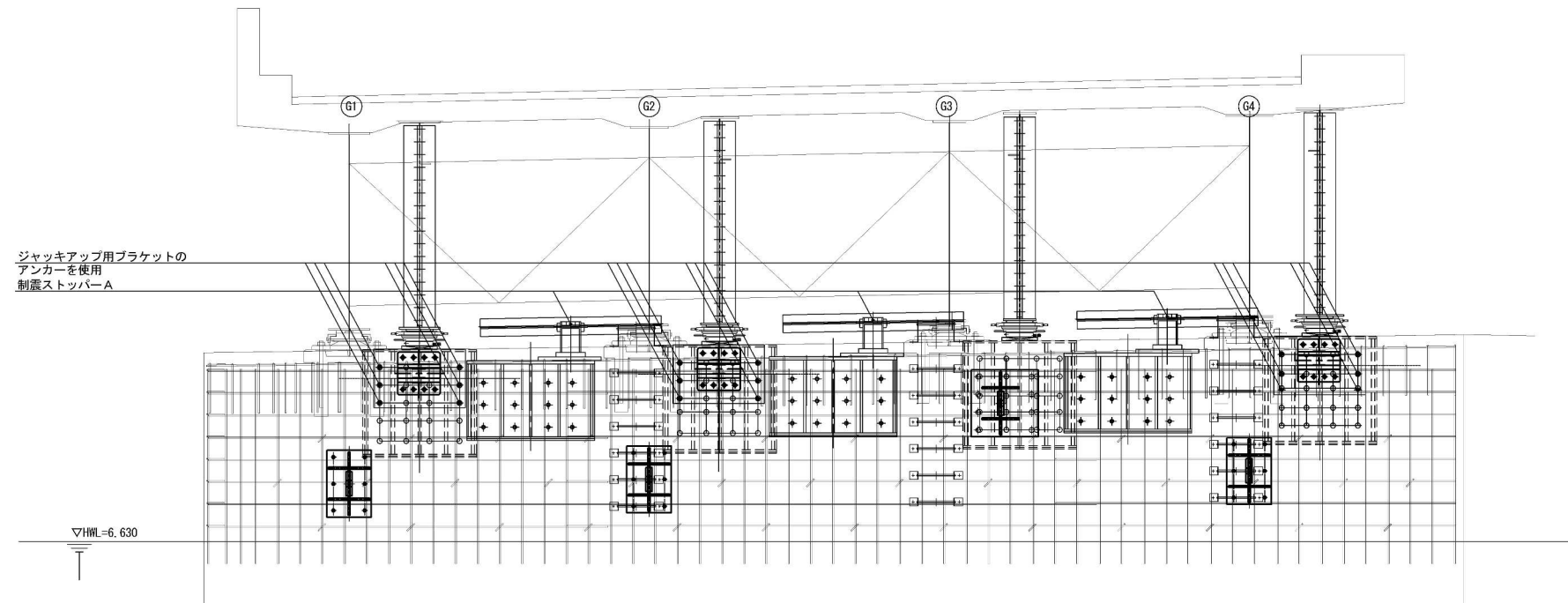


- 注 記:
- 制震ストッパーの性能については性能証明書 (性能試験結果) を添付すること。
 - 底板の材質は、SM520Cとする。
 - 製品重量はせん断パネル、フランジ、リブ、角鋼、底板の合計重量を表す。
 - 防錆仕様は、塗装とする。

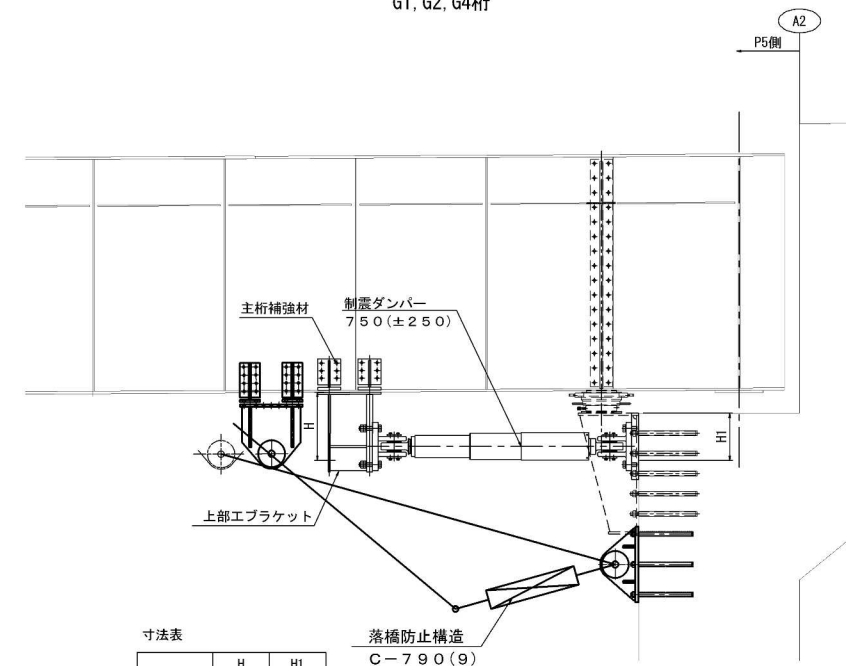
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

下り線
制震ダンパー750(±250)、制震ストッパーA

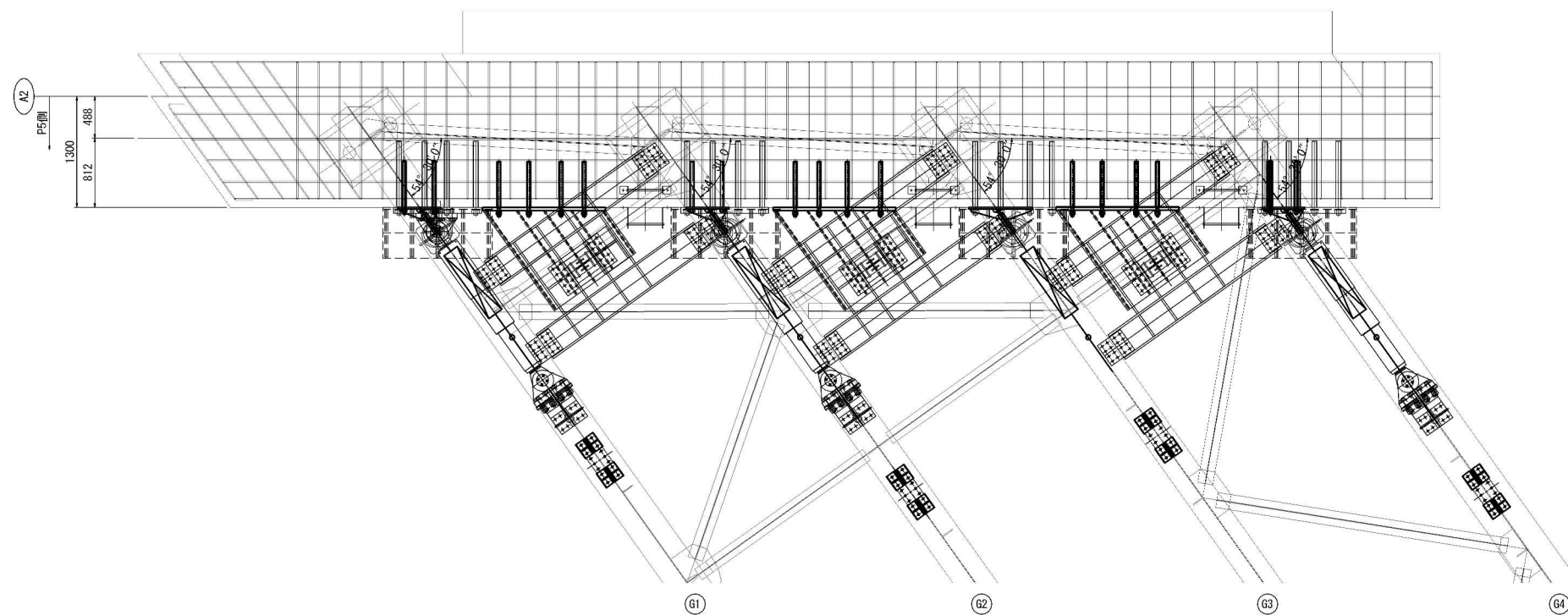
正面図
P4側



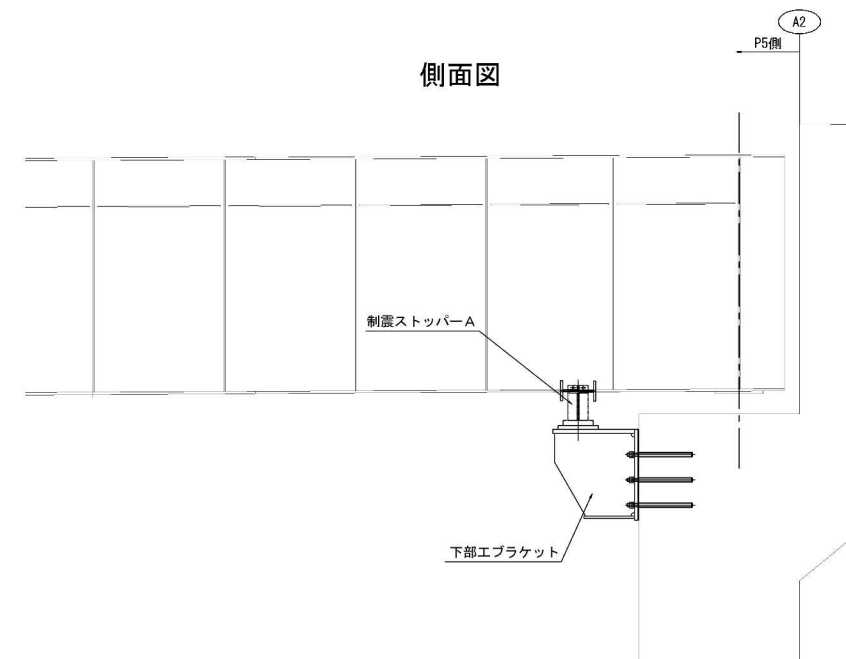
側面図
G1, G2, G4桁



平面図

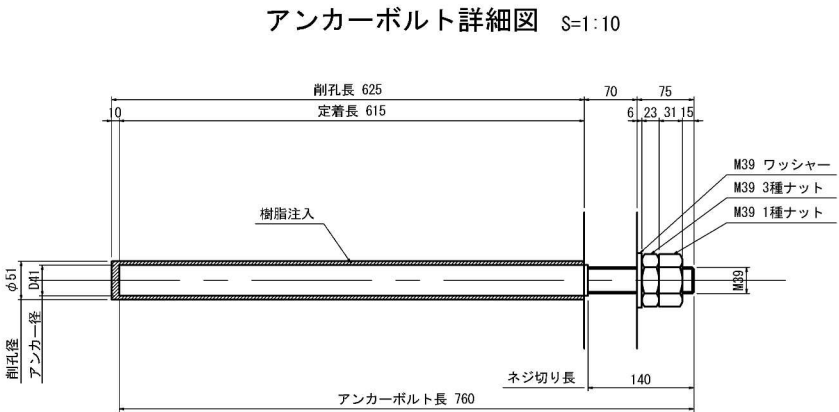
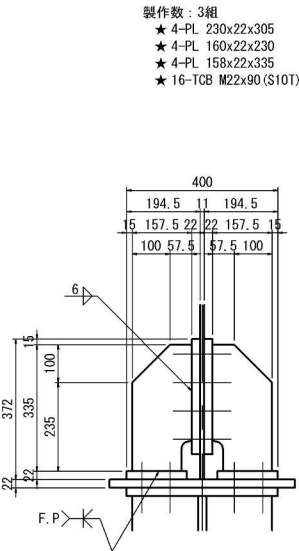
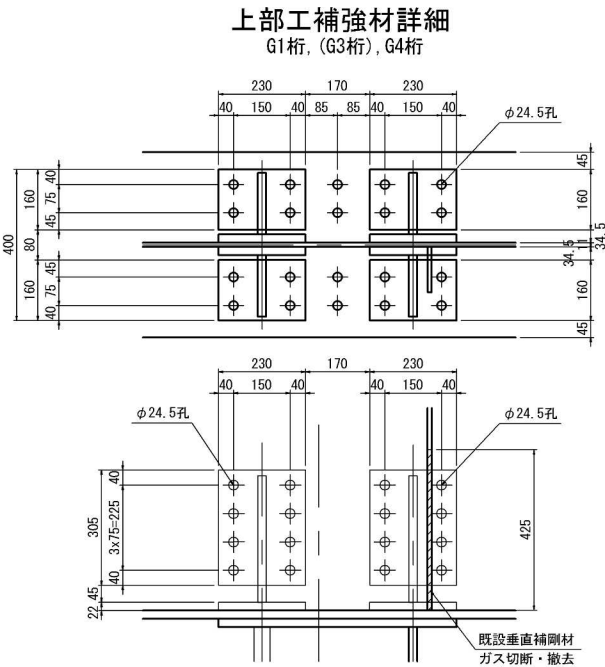


側面図

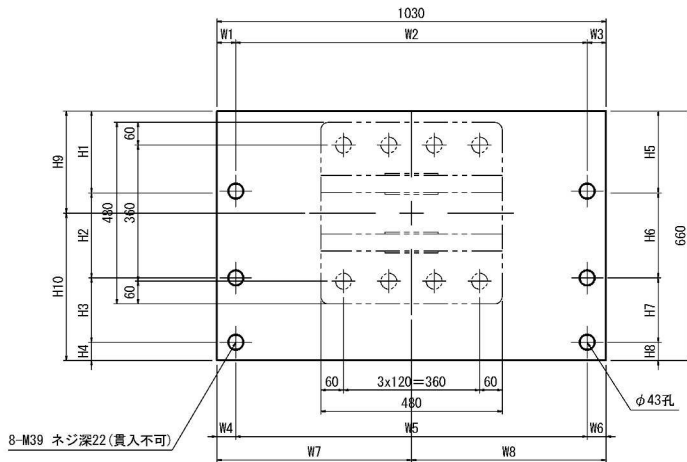
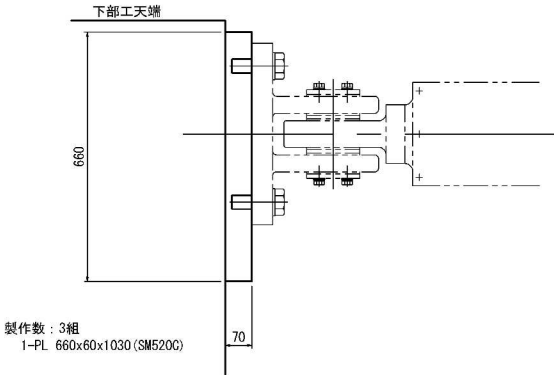
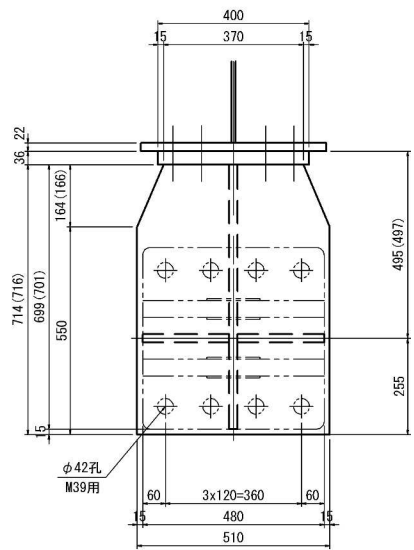
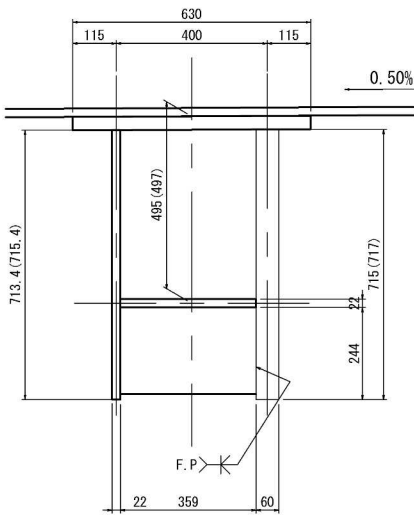
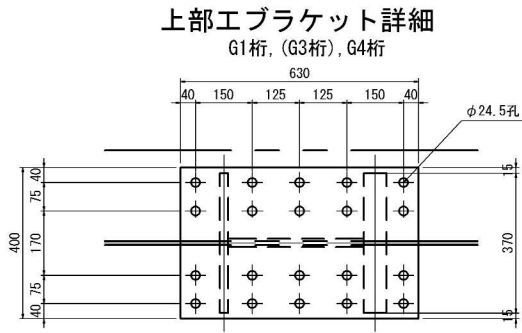
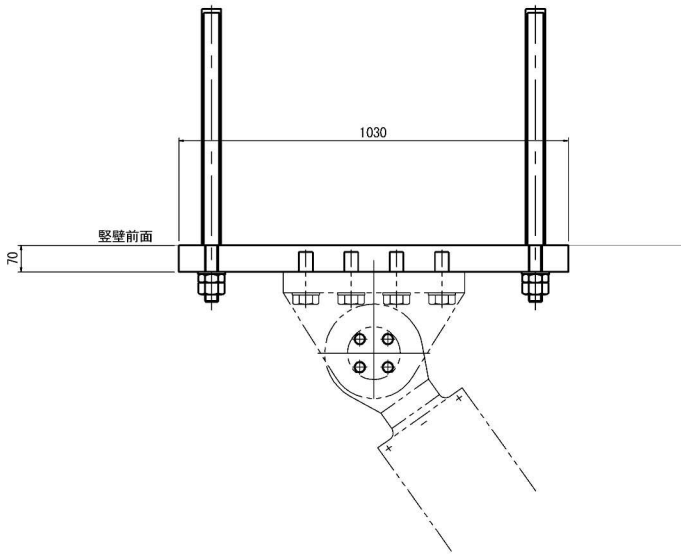


八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋		
	A2橋台 制震装置工図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社		
	八 戸 管 理 事 務 所		

下り線
制震ダンパー 750(±250) 補強詳細図

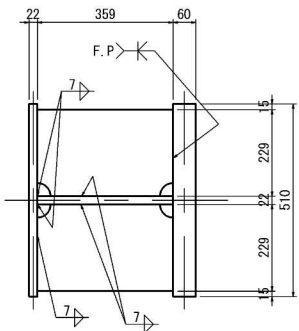


下部エブラケット詳細
G1桁, G3桁, G4桁



寸法表

	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8		
G1桁	65	900	65	65	900	65	508	522		
G2桁	75	880	75	75	880	75	518	512		
G4桁	85	860	85	85	860	85	508	522		
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
G1桁	205	200	200	55	205	200	200	55	275	385
G2桁	205	200	200	55	205	200	200	55	275	385
G4桁	205	220	187	48	205	220	180	55	275	385



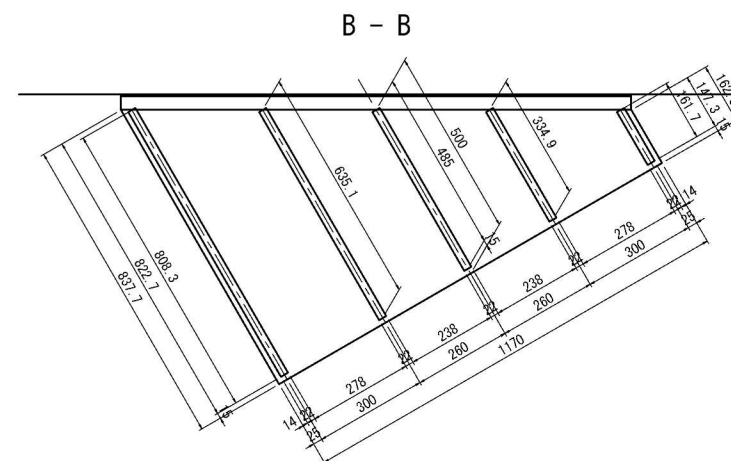
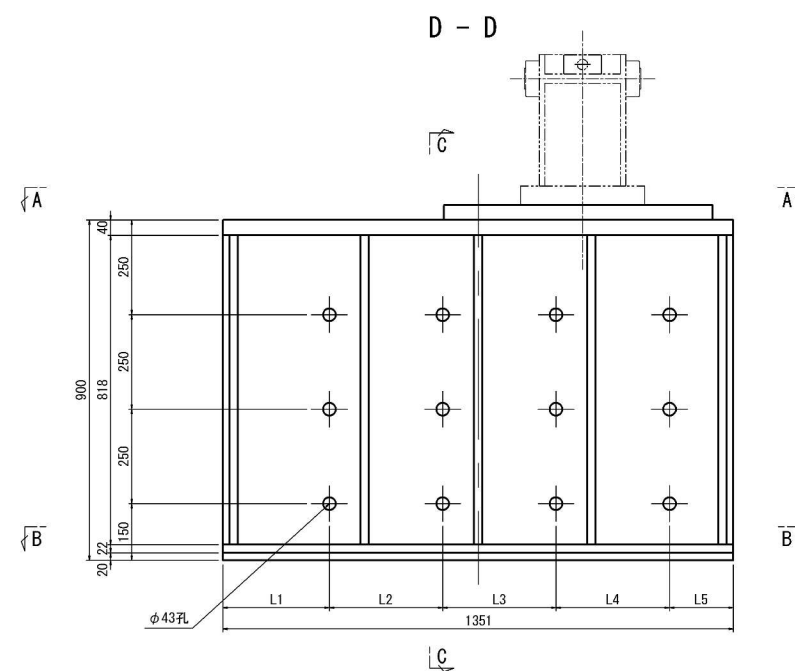
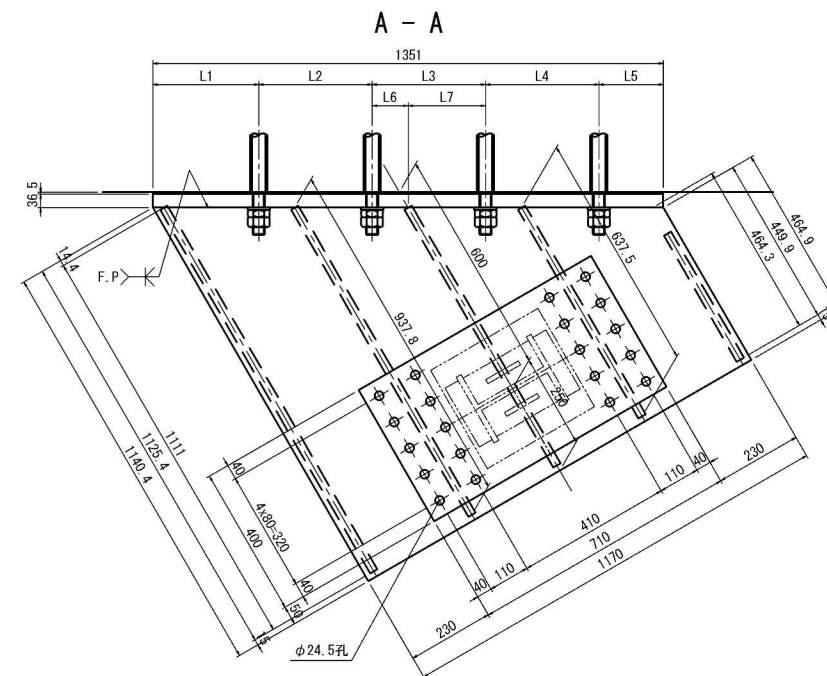
製作数: 各3組
★ 1-PL 420x22x530 (SM490YB)
★ 1-PL 510x42x715 (717) (SM520C)
★ 1-PL 510x22x713 (715) (SM490YB)
★ 1-PL 359x22x715 (717) (SM490YB)
★ 2-PL 229x22x359 (SM490YB)
★ 20-TGB M22x115 (S10T)

注記

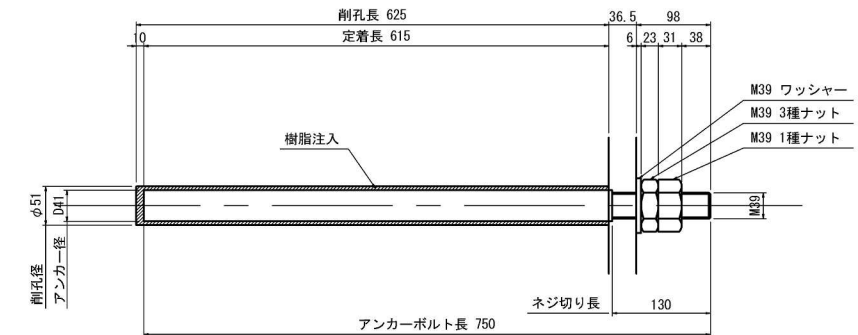
- 特記なき材質はSM400Aとする。
- 図中詳細寸法は、現地計測の上決定のこと。
- アンカーボルト孔位置は鉄筋探査の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
- ★印以外の鋼部材は下記の通り、溶融亜鉛メッキ処理を施すものとする。
HDZT77 鋼板
HDZT49 ボルト・ナット・座金・アンカーボルト(下部工はネジ切り部のみ)
- 溶接記号にF.Pの記載があるものは完全溶込み溶接とすること。
- 特記なきスカーラップはR30とする。
- ボルト孔明けについて、以下の通りとする。
TCB M22 → φ24.5 (既設)
TCB M22 → φ26.5 (新設)

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事	
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その8)
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所

下り線
制震ストッパーA 下部エブラケット詳細図

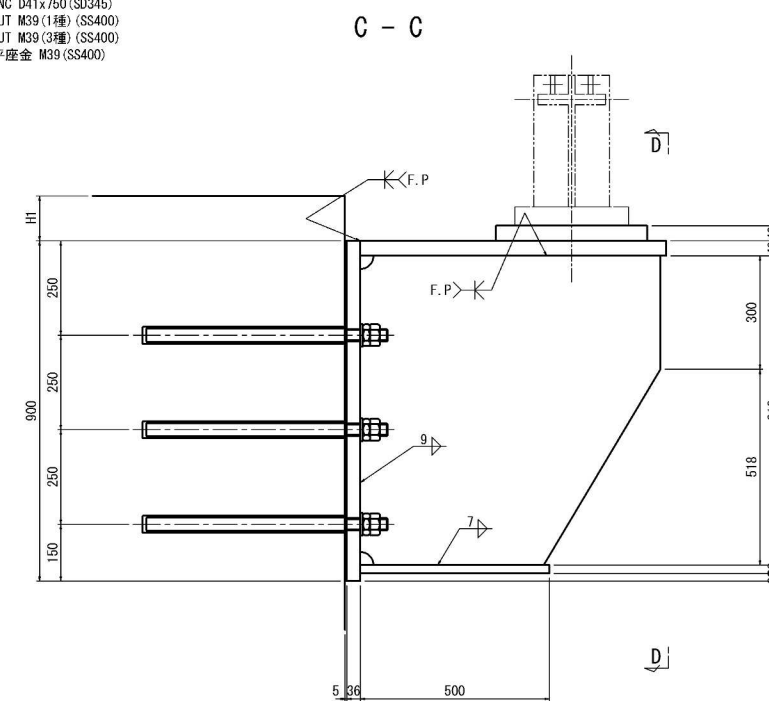


S=1:10



製作数：3組

- 1-PL 1140x40x1170 (SM490YB)
- 1-PL 838x22x1170 (SM490YB)
- 1-PL 900x36x1351 (SM490YB)
- 1-RIB PL 818x22x464 (SM490YB)
- 1-RIB PL 818x22x638 (SM490YB)
- 1-RIB PL 818x22x768 (SM490YB)
- 1-RIB PL 818x22x938 (SM490YB)
- 1-RIB PL 818x22x1111 (SM490YB)
- 1-PL 400x40x710 (SM490YB)
- 12-ANC D41x750 (SD345)
- 12-MJT M39 (1種) (SS400)
- 12-MJT M39 (3種) (SS400)
- 12-平座金 M39 (SS400)

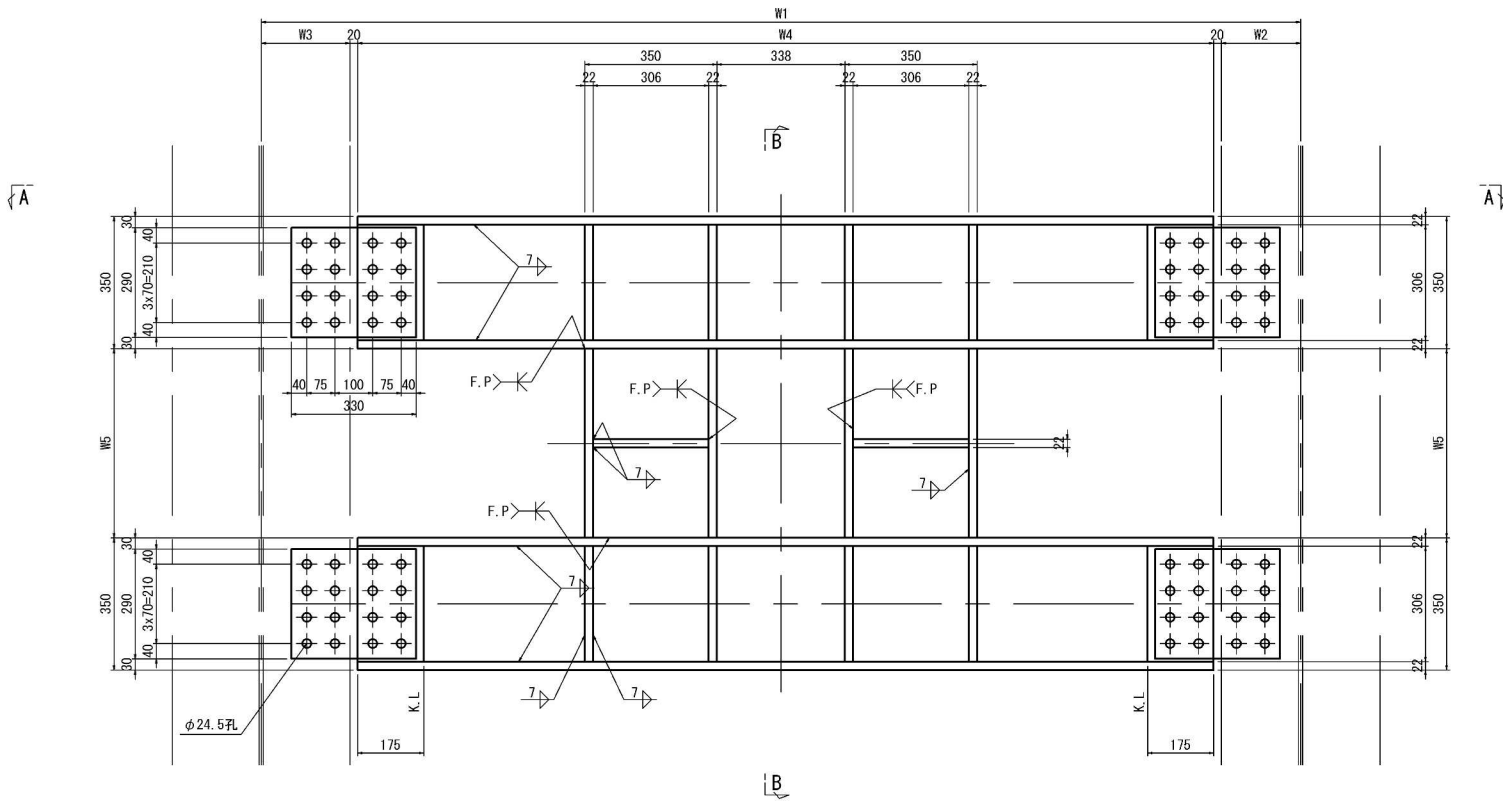


注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 図中詳細寸法は、現地計測の上決定のこと。
3. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
4. 部材は全て溶融亜鉛メッキ処理とする。付着量は下記の通りとする。
HDZT 77 鋼板
HDZT 49 ボルト・ナット・座金・アンカーボルト(下部工はネジ切り部のみ)
5. 溶接記号にF.P.の記載があるものは完全溶込み溶接とする。
6. 特記なきスカーラップはR30とする。

八戸自動車道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	A2橋台 制震装置工図 (その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸 管 理 事 務 所		

下り線
制震ストッパーA 上部工横梁詳細図



寸法表

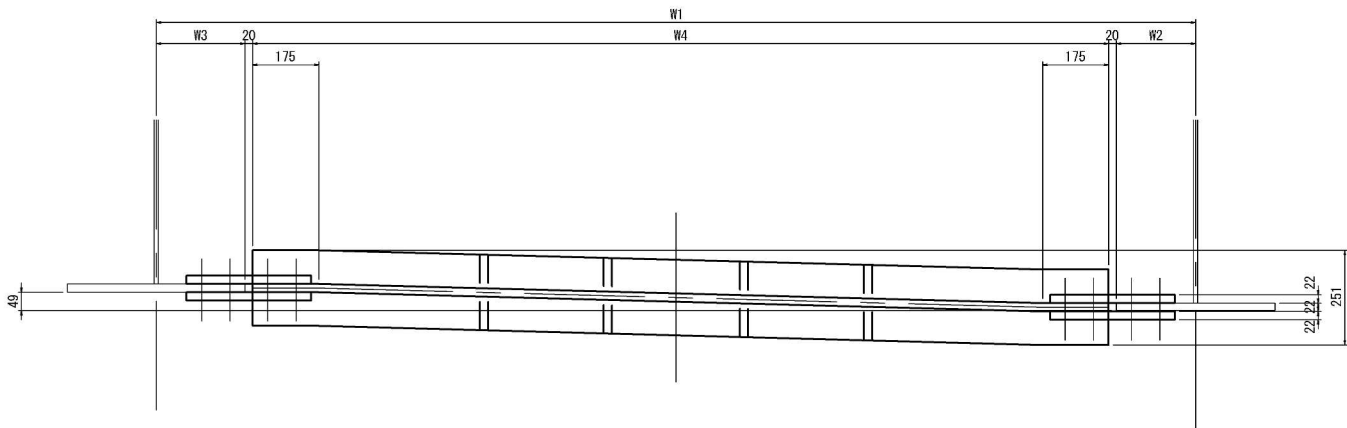
	W1	W2	W3	W4	W5
G1-G2桁	2750	230	215	2265	700
G2-G3桁	2750	215	185	2310	700
G3-G4桁	2750	185	270	2255	700

製作数：1組 (G1-G2桁)
4-PL 250x22x2265 (SM490YB)
2-PL 306x22x2266 (SM490YB)
8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
64-TCB M22x105 (S10T)
4-PL 200x22x700 (SM490YB)
2-PL 306x22x700 (SM490YB)
4-PL 74x22x306 (SM490YB)
16-PL 306x22x89 (SM490YB)

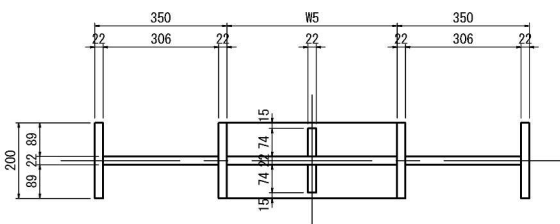
製作数：1組 (G2-G3桁)
4-PL 250x22x2310 (SM490YB)
2-PL 306x22x2311 (SM490YB)
8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
64-TCB M22x105 (S10T)
4-PL 200x22x700 (SM490YB)
2-PL 306x22x700 (SM490YB)
4-PL 74x22x306 (SM490YB)
16-PL 306x22x89 (SM490YB)

製作数：1組 (G3-G4桁)
4-PL 250x22x2255 (SM490YB)
2-PL 306x22x2256 (SM490YB)
8-SPL PL 290x22x330 (SM490YB)
64-TCB M22x105 (S10T)
4-PL 200x22x700 (SM490YB)
2-PL 306x22x700 (SM490YB)
4-PL 74x22x306 (SM490YB)
16-PL 306x22x89 (SM490YB)

A - A



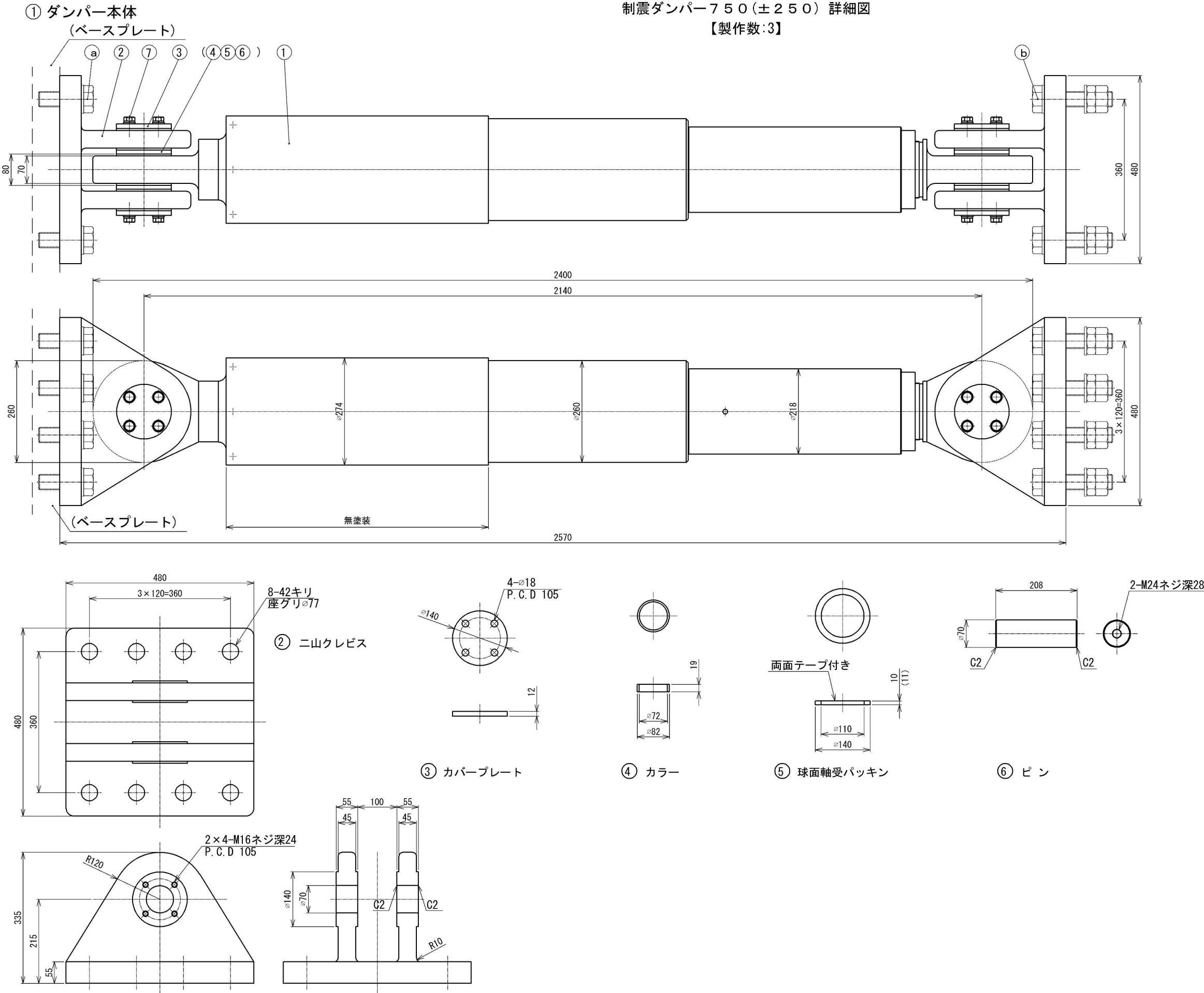
B - B



- 注記
- 特記なき材質はSM400Aとする。
 - 図中詳細寸法は、現地計測の上決定のこと。
 - 溶接記号にF.Pの記載があるものは完全溶込み溶接とすること。
 - 特記なきスカーラップはR30とする。
 - 印は、HTB M22 (F10T)を示す。
 - ボルト孔明けについて、以下の通りとする。
TCB M22 → φ24.5 (既設)
TCB M22 → φ26.5 (新設)
 - 部材は全て塗装処理とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その10)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線
制震ダンパー750(±250) 詳細図
【製作数:3】



規格表

ダンパー仕様			
抵抗力	F	750 kN	
ストローク	δ	± 250 mm	
鋼製部材設計力	P	975 kN	
移動量			
L2地震時最大変位	δ_e	± 125.9 mm	
片温度変化移動量	Δt	± 62.8 mm	
施工誤差吸収量	δ_o	± 15 mm	

注) ストロークは
L2地震時最大移動量+片温度変化移動量+施工誤差吸収量以上を
確保することを基本とする。

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
△	BM-S	-	1	576.0	
②	ニ山クレビス	SS400	2	305.8	
③	カバープレート	SS400	4	5.4	
④	カラー	SS400	4	0.5	
5	球面軸受パッキン	SUS630	4	0.1	
6	ピン	SUS630	2	12.1	
⑦	六角ボルト	-	16	1.9	
				901.8	(kg)

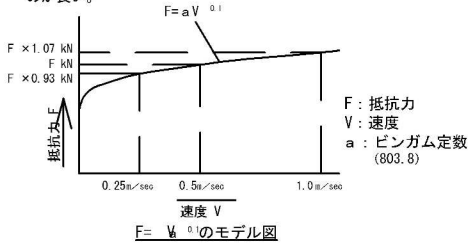
- 注1) △印は塗装仕様、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。
- 注2) 上部工とダンパー本体を結ぶ上部工架台および下部工とダンパー本体を結ぶ下部工架台②③ 六角ボルト締付け完了後に上下部工架台と上下部工を本固定すること。
- 注3) ダンパー本体長さ寸法は、ストローク中立位置（伸びる側にも縮む側にも、表記ストローク値だけ伸縮可能なセンター位置）での長さ寸法。
- 注4) BM-Sは抵抗力特性が速度の0.1乗に比例し、地震時速度における抵抗力変化が非常に小さい。

速度	抵抗力
0.25 m/sec	-7 %
0.5 m/sec	定格抵抗力
1.0 m/sec	7 %

となる。

このことから、動的解析を行なう際はバイリニアモデルを適用することができる。

また、動的解析ソフトが速度依存を考慮した解析を行なうことが可能な場合、 $F=aV^{0.1}$ の速度依存式に基づくモデルを用いるのが良い。



制震ダンパーは上記の性能を有する製品を使用することとし、上記の性能と異なる製品を使用する場合は、橋梁全体の照査を行うこと。

- ⑦ 六角ボルト 中 M16×40 8.8
(1-ばね座金, 平座金)

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
②	六角ボルト・ナット	-	8		②(1種, 平座金)
③	六角ボルト・ナット	-	8		③(1種, 平座金)

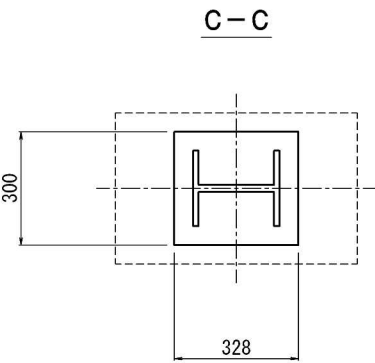
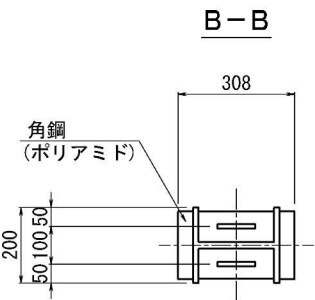
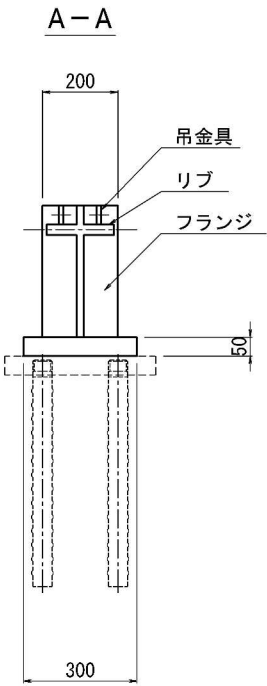
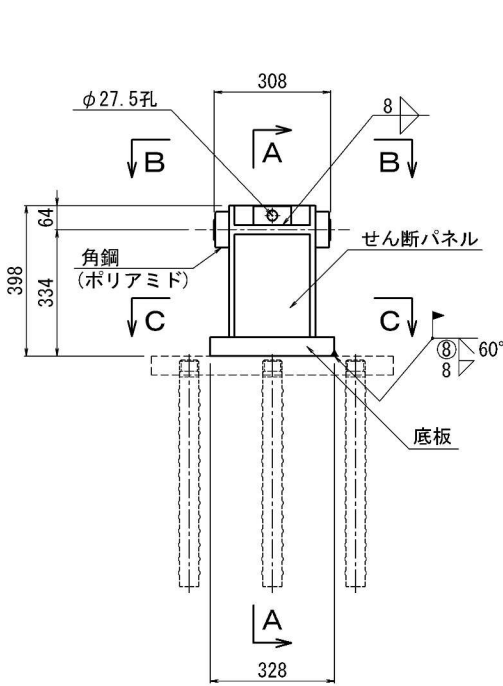
注5) 特に指定なき場合、○印は溶融亜鉛メッキ仕様とする。

- ② 六角ボルト 中 M39× 8.8
六角ナット 中 M39 8 (1種, 3種)
(2-平座金)
- ③ 六角ボルト 中 M39× 8.8
六角ナット 中 M39 8 (1種, 3種)
(2-平座金)

注6) ②、③の六角ボルトをねじ込み固定の際は、平座金、ばね座金各1枚使用を推奨。

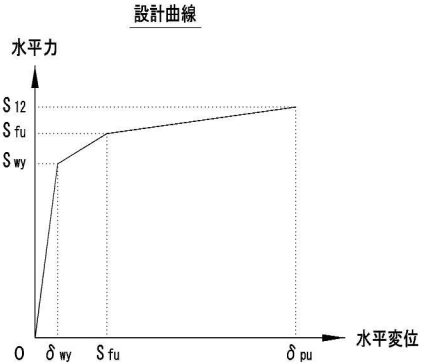
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その11)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線
制震ストッパー A 詳細図
【製作数:3】



L1地震時設計水平力	166.4 kN
L2地震時設計水平力	798.5 kN
L2地震時水平変位	12.5 mm

レベル1 地震時耐力	S _{L1}	412.6 kN
せん断パネルせん断降伏耐力	S _{wy}	467.7 kN
せん断パネルせん断降伏変位	δ _{wy}	0.338 mm
フランジ全塑性耐力	S _{fu}	567.7 kN
フランジ全塑性変位	δ _{fu}	2.536 mm
制震ストッパー限界耐力	S ₁₂	864.9 kN
制震ストッパー限界変位	δ _{pu}	24.0 mm
設計累積塑性変形倍率 (動的解析)	Σ η d	
製品重量	W _s	76 kg

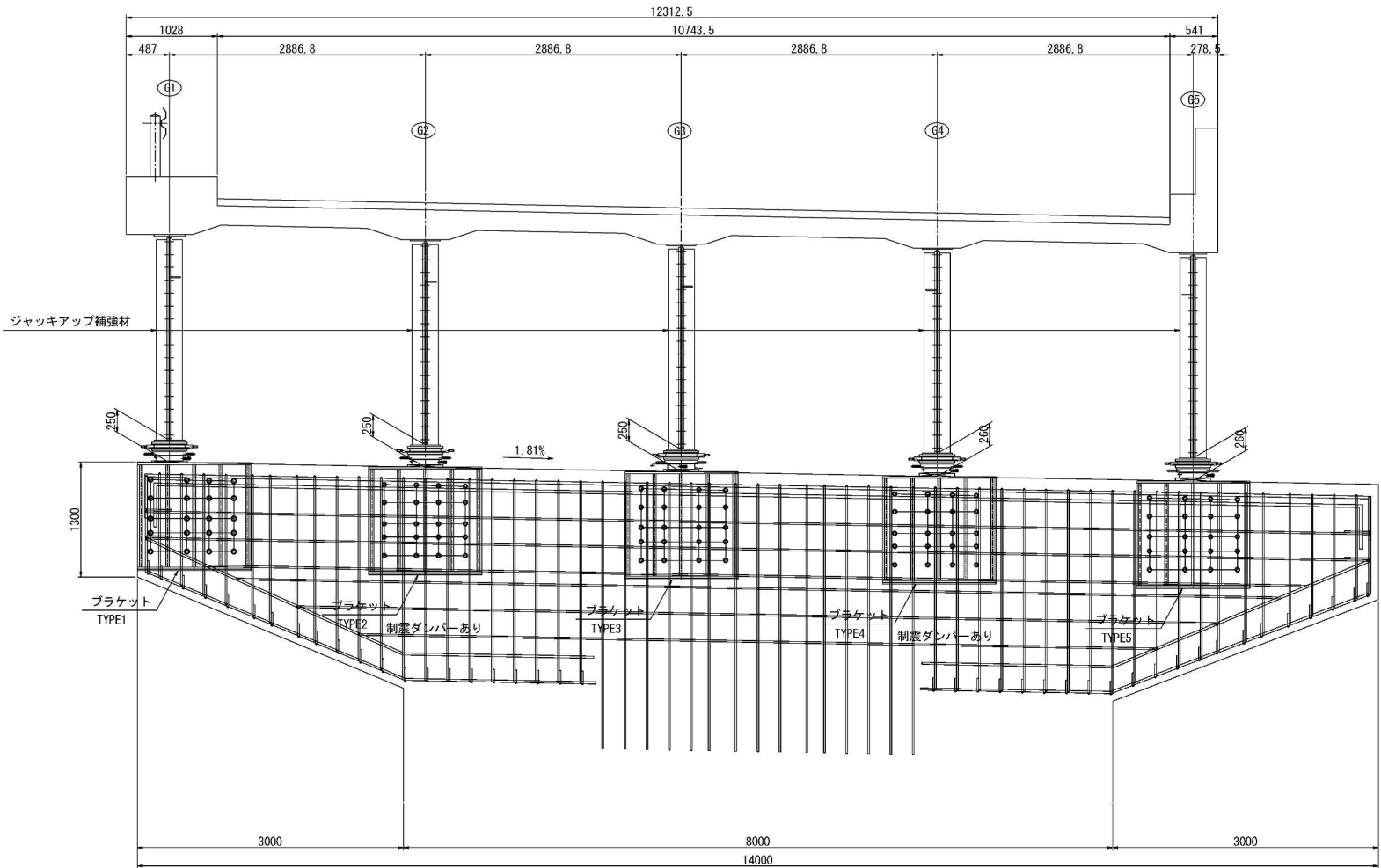


- 注 記:
- 制震ストッパーの性能については性能証明書 (性能試験結果) を添付すること。
 - 底板の材質は、SM520Cとする。
 - 製品重量はせん断パネル、フランジ、リブ、角鋼、底板の合計重量を表す。
 - 防錆仕様は、塗装とする。

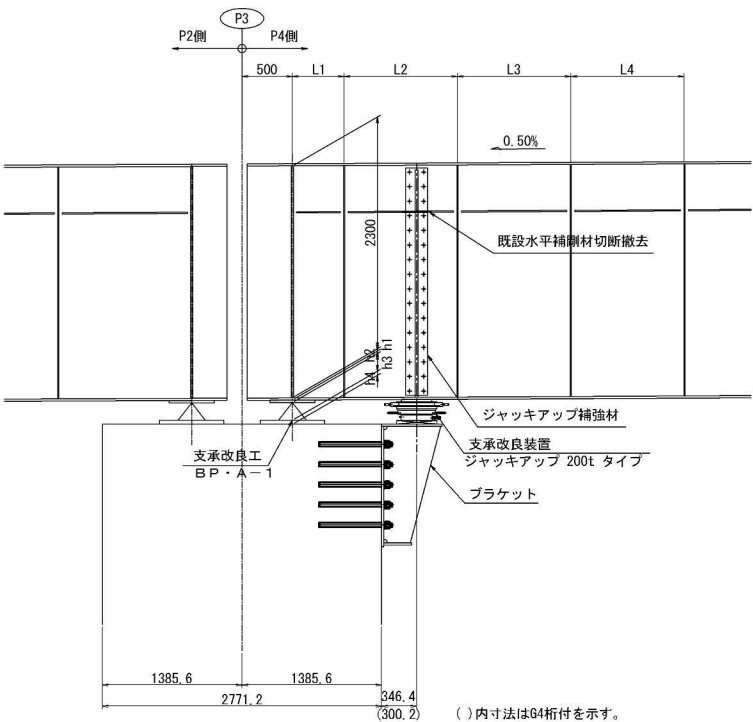
八 戸 自 動 車 道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 制震装置工図(その12)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 終点側 B P・A-1
支承改良工配置図

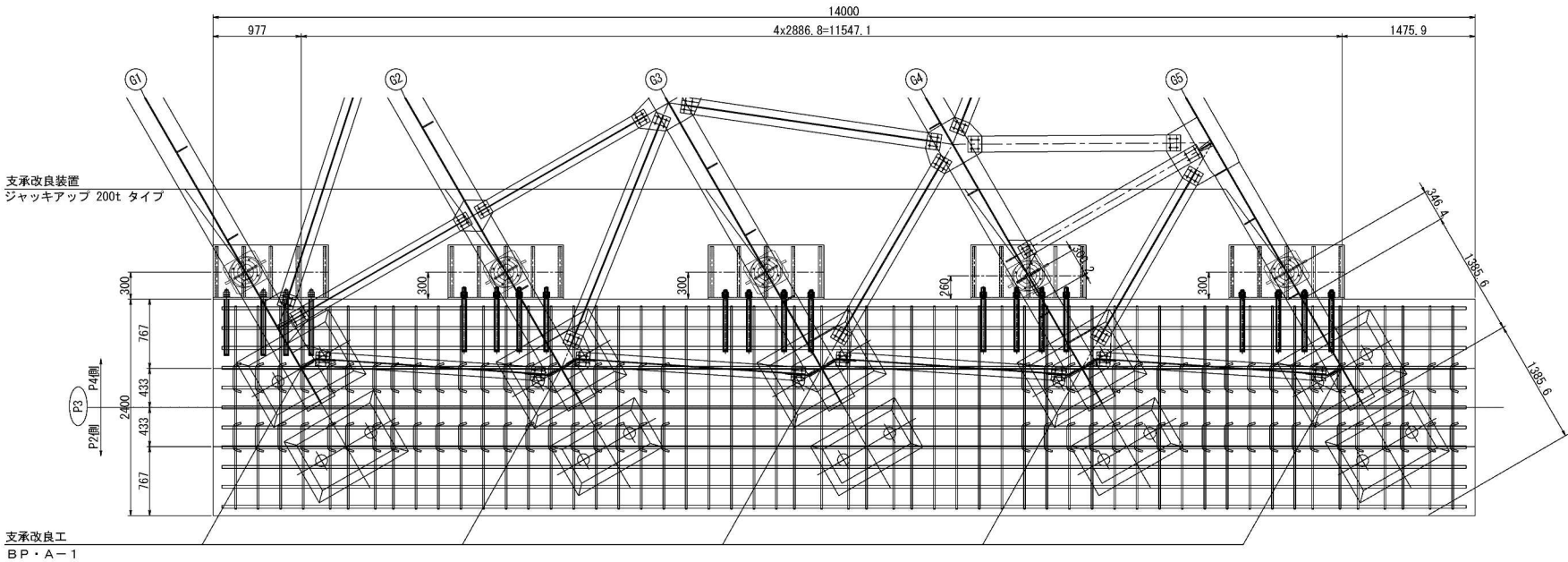
正面図



側面図



平面図



	L1	L2	L3	L4	h1	h2	h3	h4
G1	513.3	1125	1125	1125	22	20	170	38
G2	978.3	978.3	1125	1125	14	20	170	46
G3	850	850	850	850	14	20	170	46
G4	721.7	721.7	850	850	14	20	170	56
G5	962.2	962.2	962.2	850	14	20	170	56

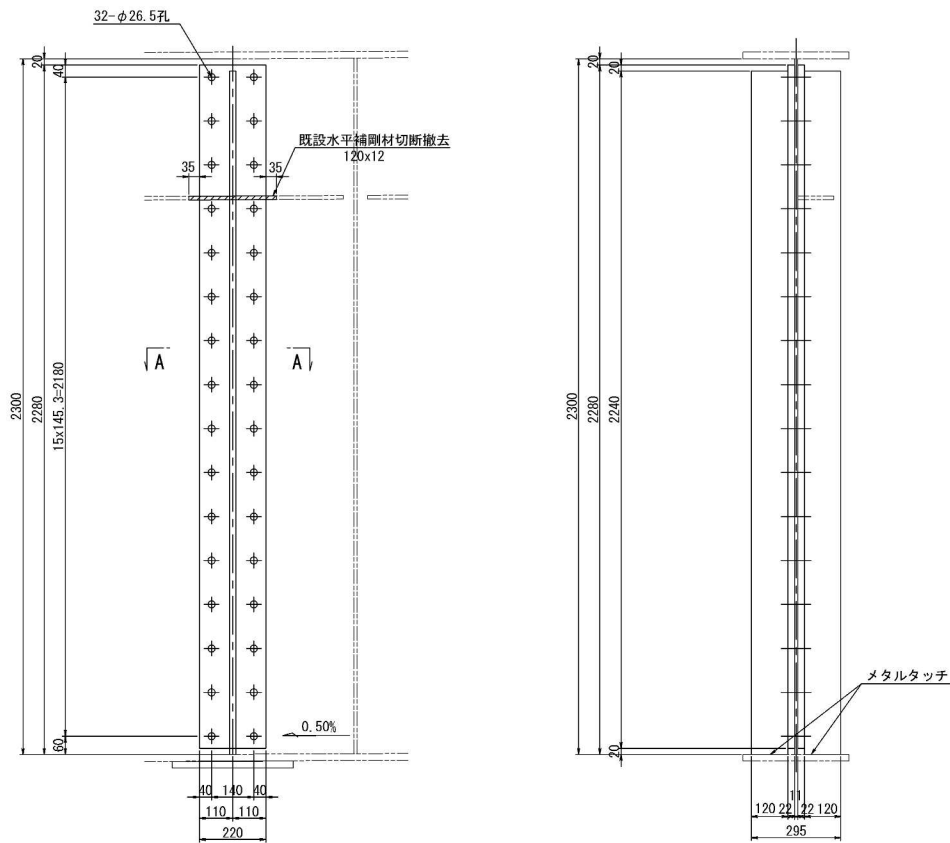
単価表の項目		単位	数量	摘要
支承改良工	BP・A-1	箇所	5.0	
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下管撤去	SC46	箇所	5.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	5.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	2.6	撤去重量17kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	5.0	
アンカーボルト	SD345 D38 L=670mm	本	40.0	M36用1種N.W付
	SD345 D38 L=700mm	本	40.0	M36用1種N.W付
	SD345 D41 L=720mm	本	20.0	M39用1種N.W付
アンカー工	φ48 L=580mm	本	80.0	水平方向
	φ51 L=625mm	本	20.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	5.640	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	1.330	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.170	
現場孔明工	φ26.5	箇所	160.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x90(S10T)	本	160.0	

注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

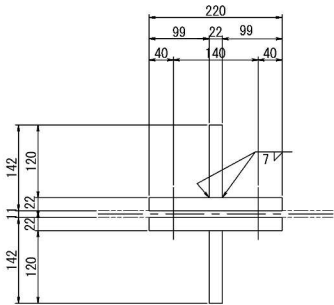
上り線 終点側 B P・A-1
ジャッキアップ補強材

P4側-G1

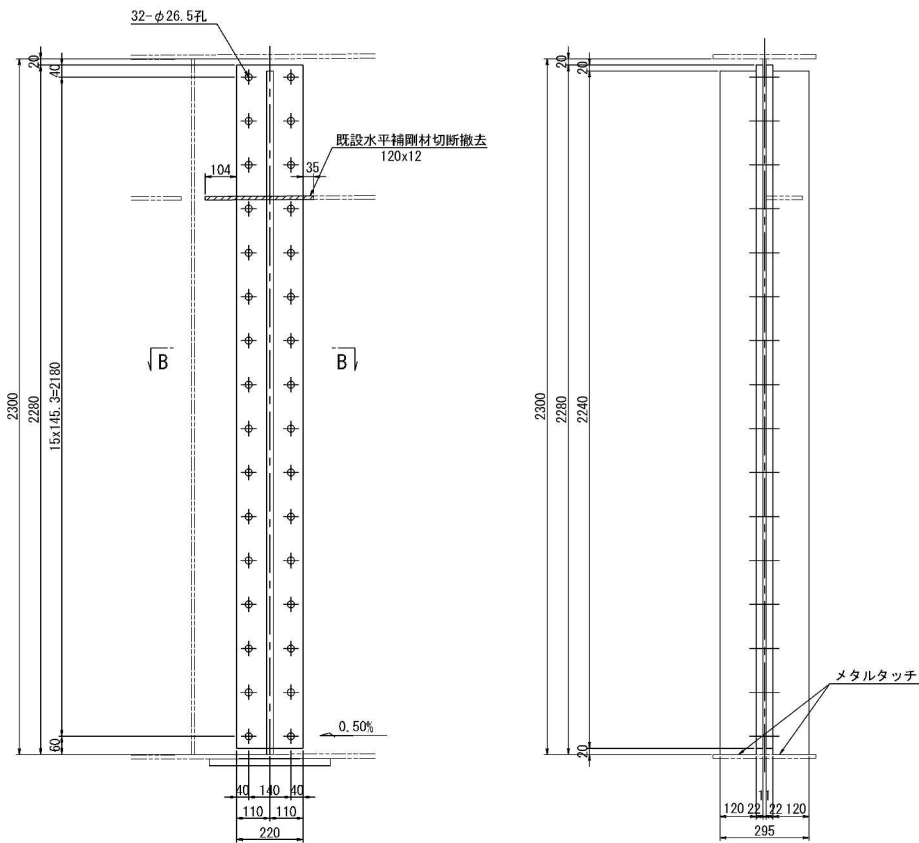


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

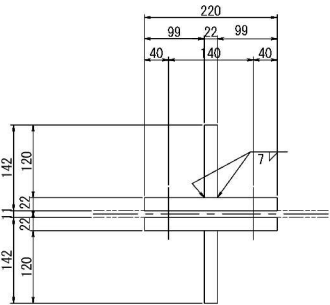


P4側-G2

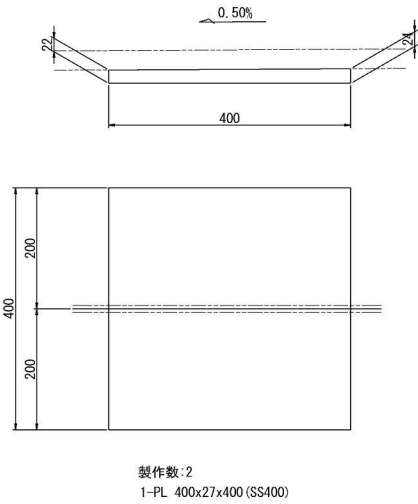


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x359 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

B- B S=1:12.5

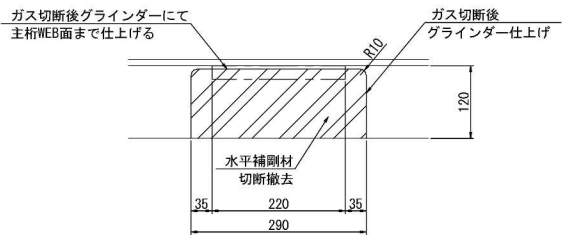


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5

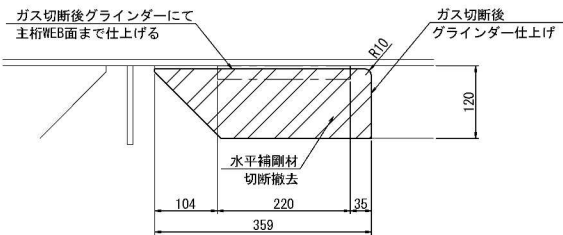


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P4側-G1



P4側-G2

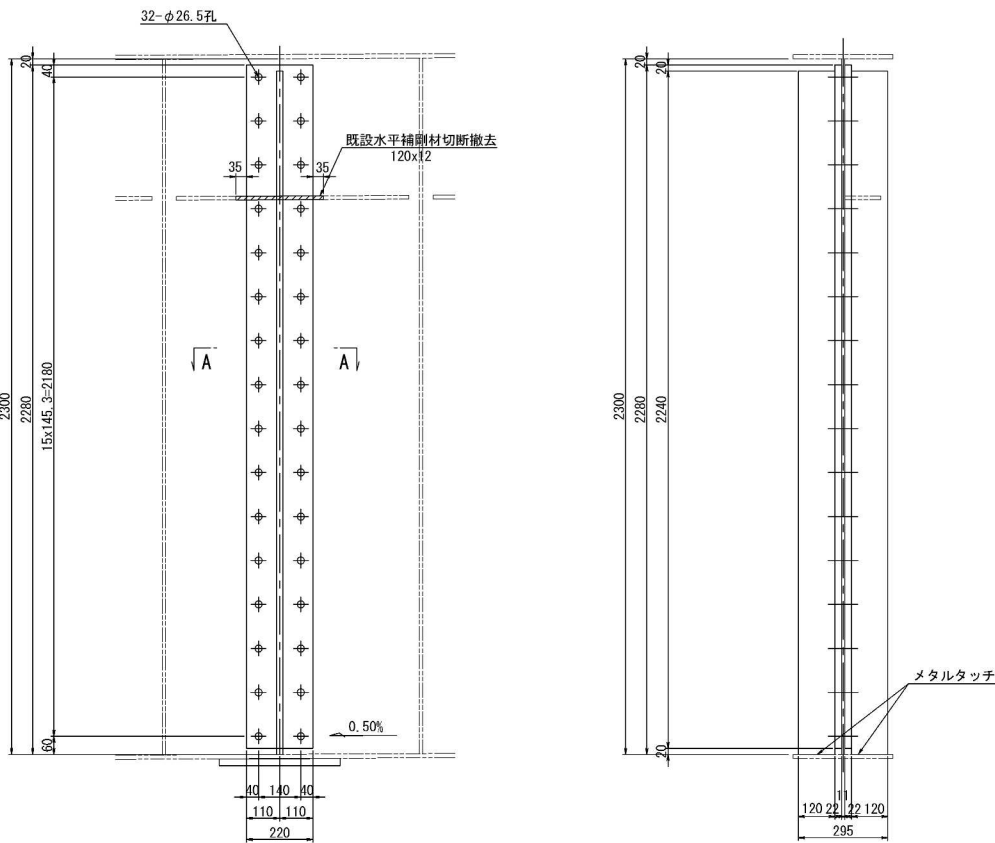


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

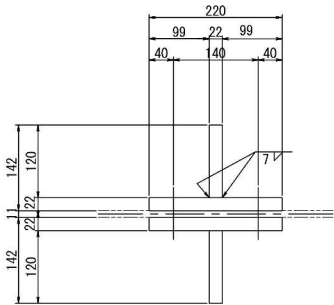
上り線 終点側 B P・A-1
ジャッキアップ補強材

P4側-G3

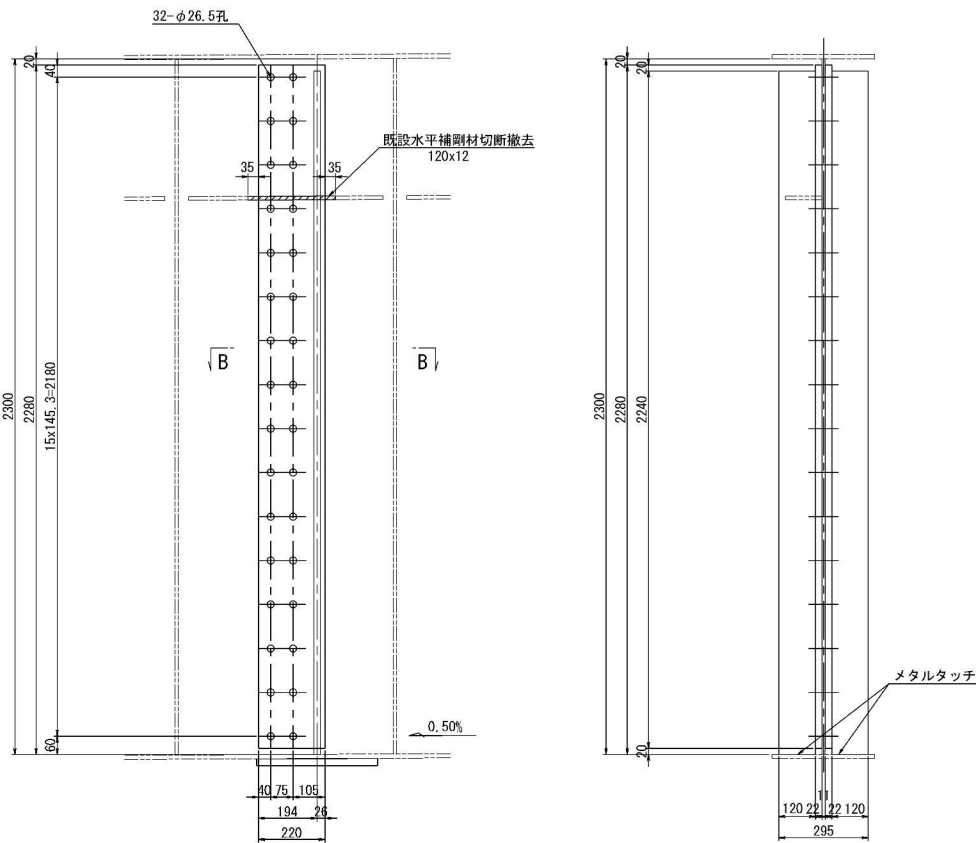


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

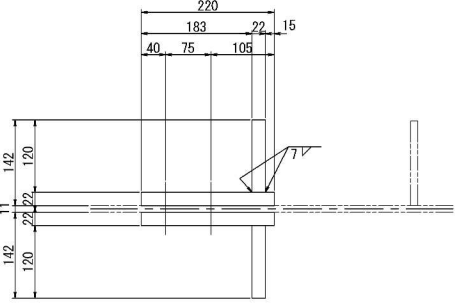


P4側-G4

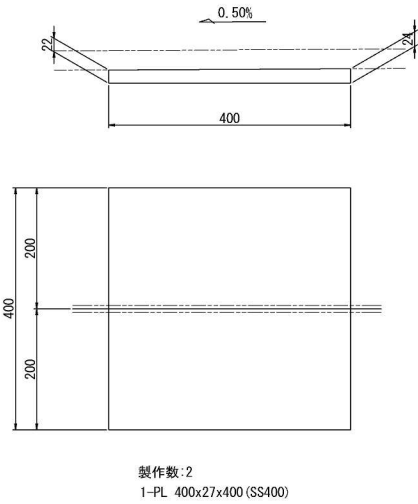


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

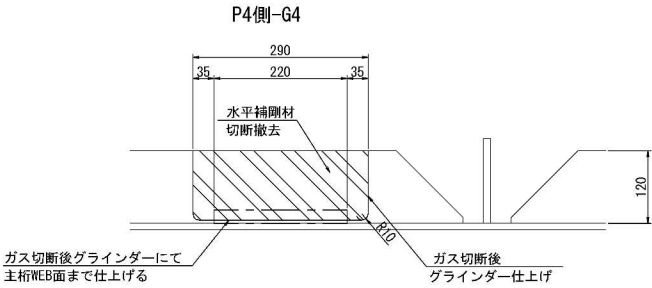
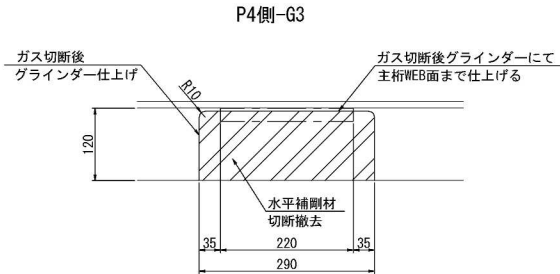
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

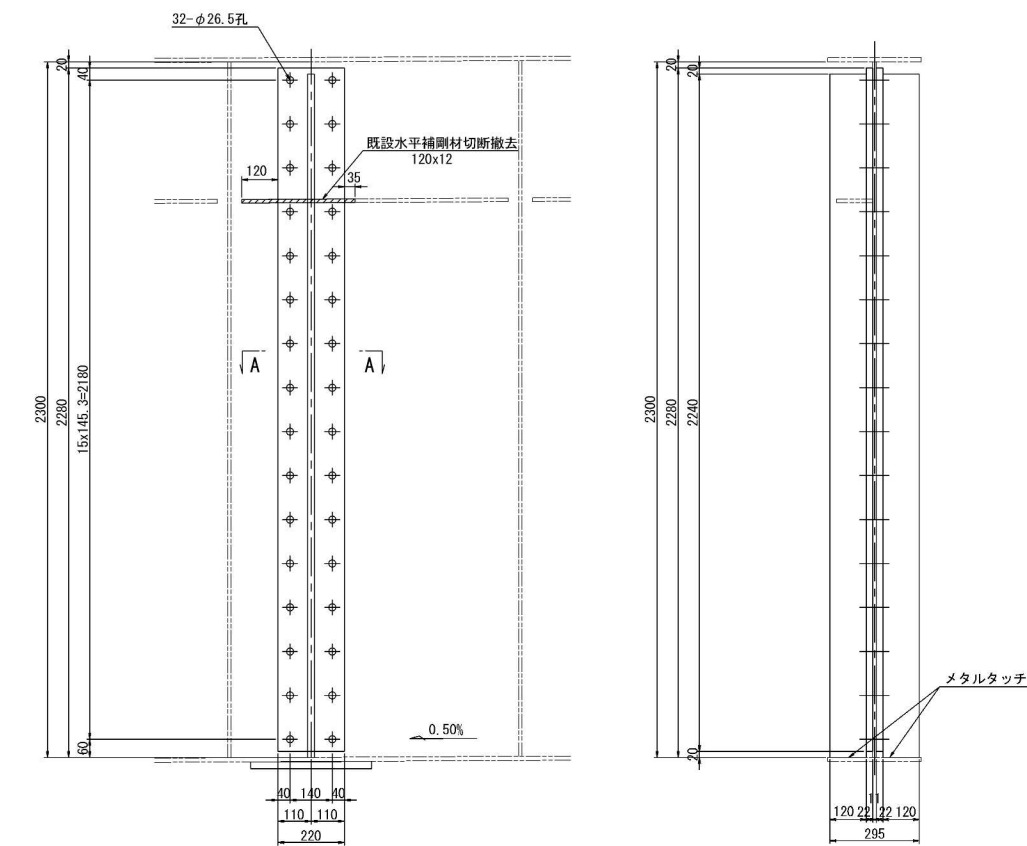


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

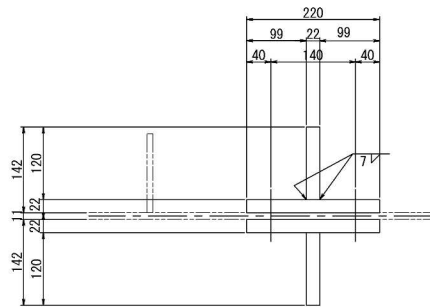
上り線 終点側 B P・A-1
ジャッキアップ補強材

P4側-G5

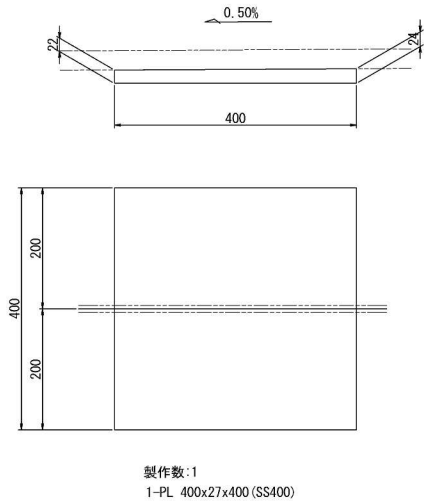


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x375 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

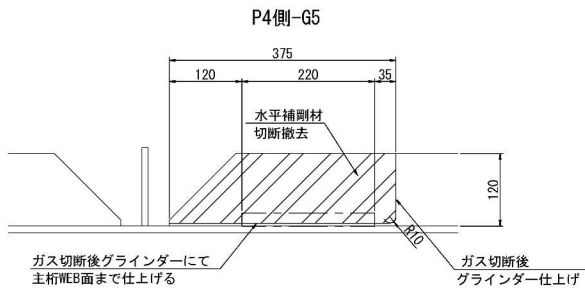
A - A S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

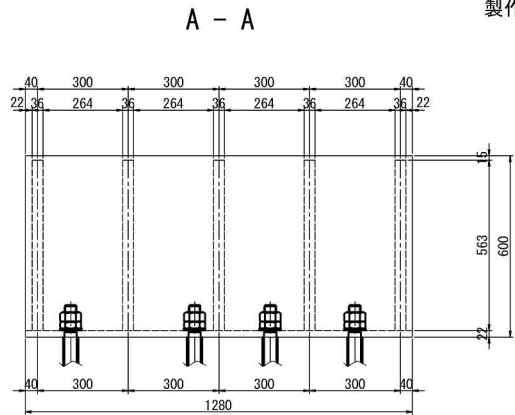


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

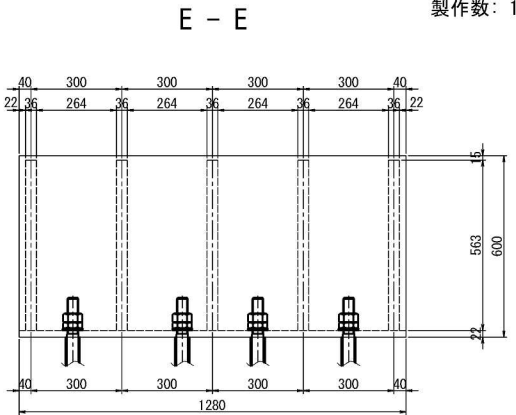
上り線 終点側 B P・A-1
脚付ブラケット

TYPE1-P4側-G1
製作数: 1箇所

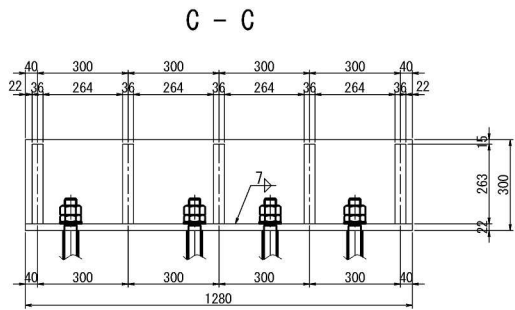
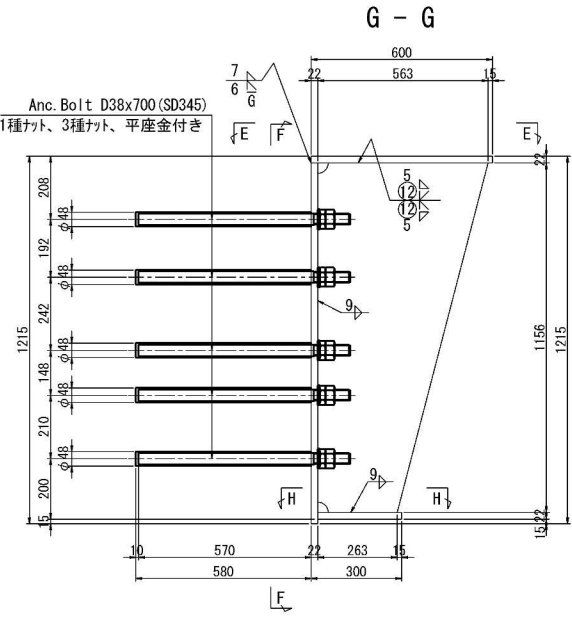
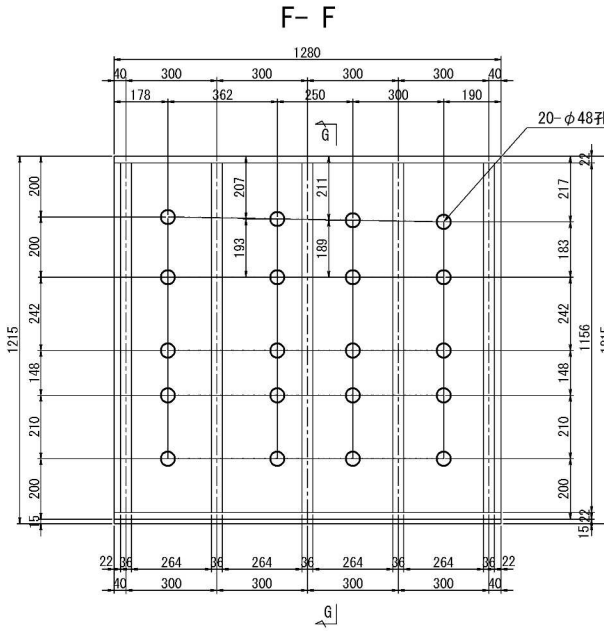
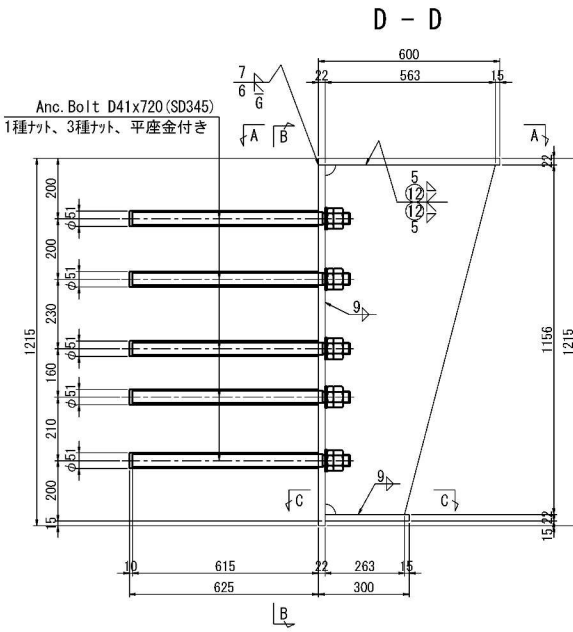
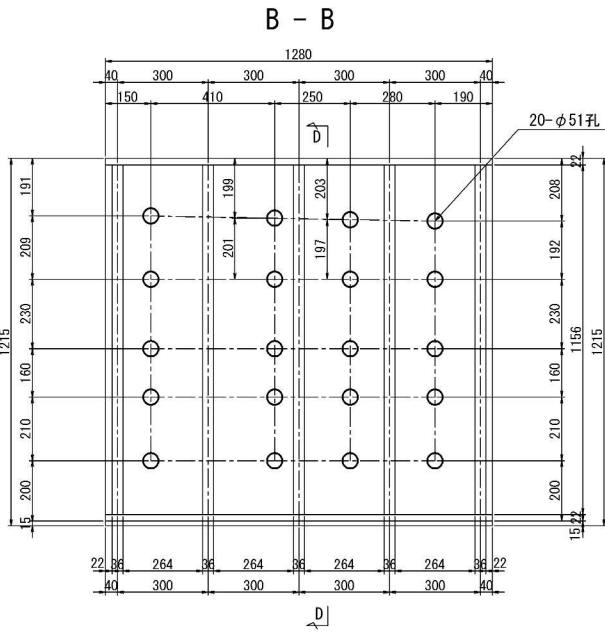


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400)<1種, 3種>

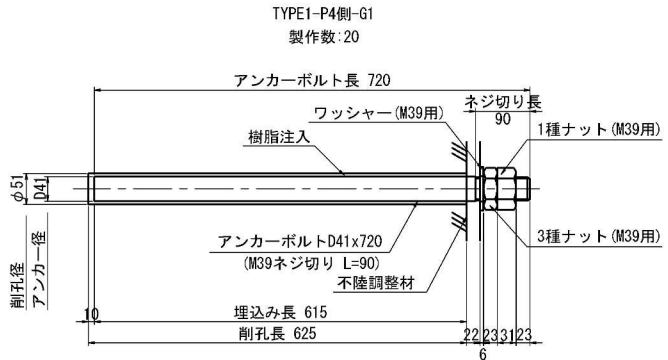
TYPE2-P4側-G2
製作数: 1箇所



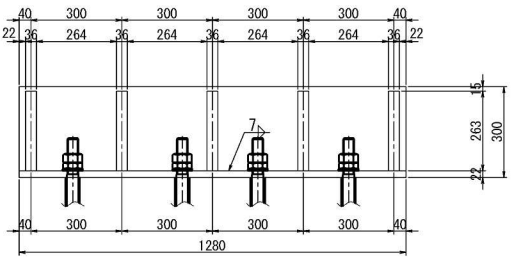
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×700 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400)<1種, 3種>



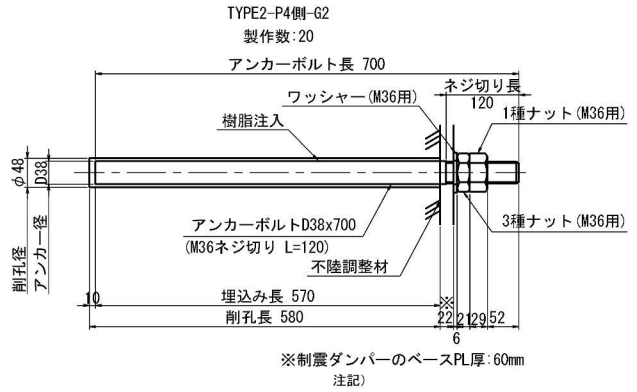
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



H - H



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



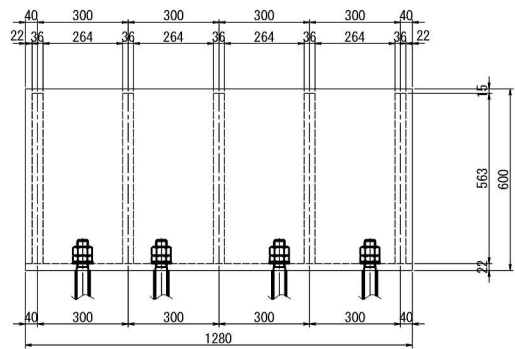
- ※制震ダンパーのベースPL厚: 60mm
注記)
- 鉄筋探索後にアンカー位置を最終決定すること。
 - 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 終点側 B P・A-1
脚付ブラケット

TYPE3-P4側-G3
製作数: 1箇所

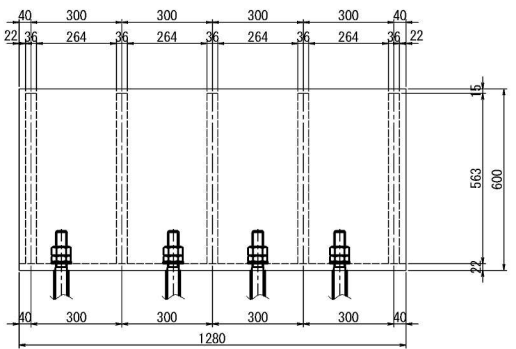
A - A



<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38 x 670 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400)<1種, 3種>

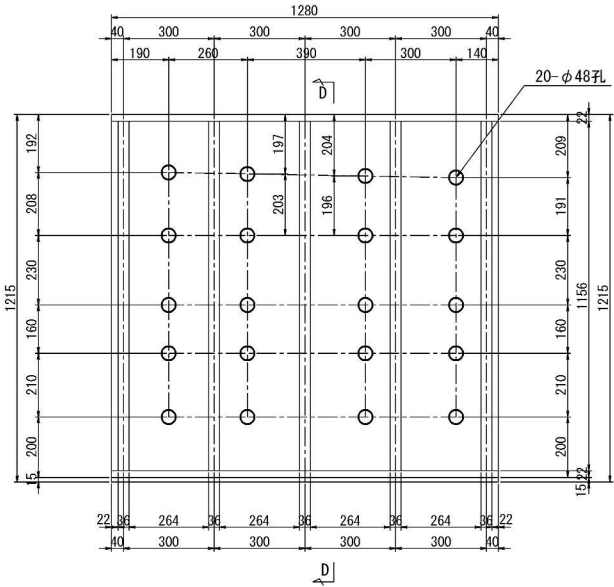
TYPE4-P4側-G4
製作数: 1箇所

E - E

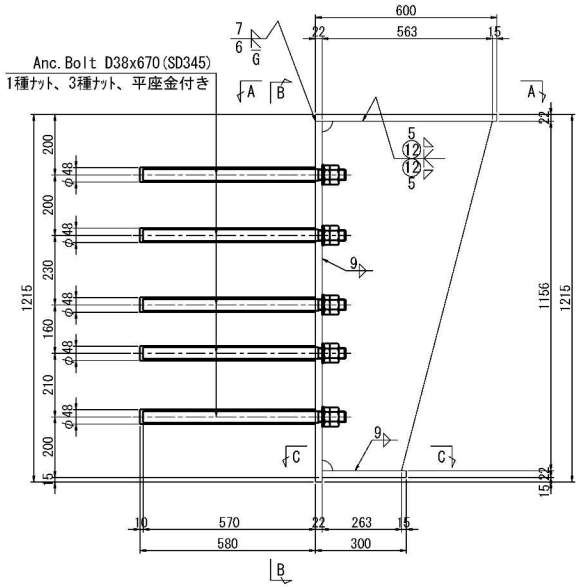


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38 x 700 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400)<1種, 3種>

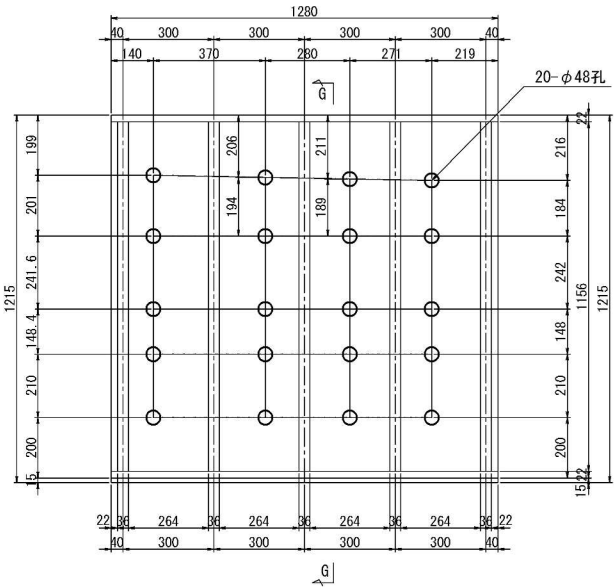
B - B



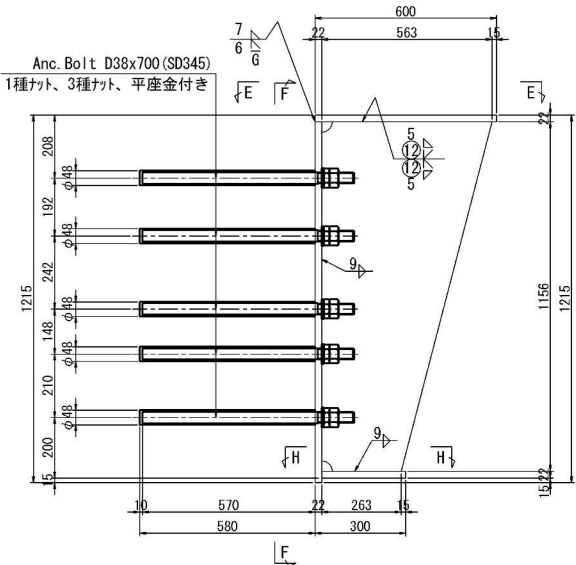
D - D



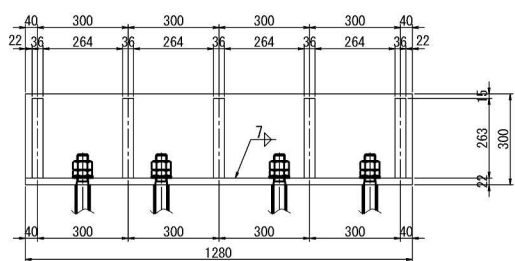
F - F



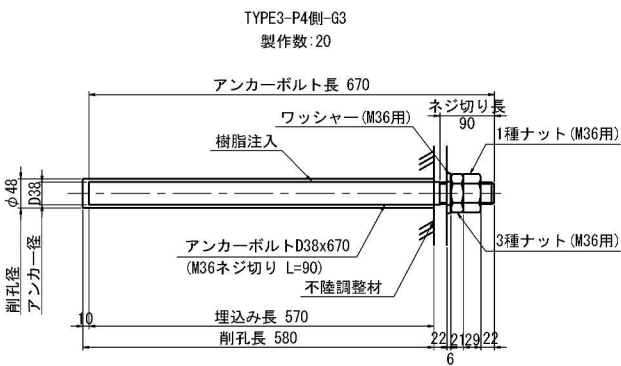
G - G



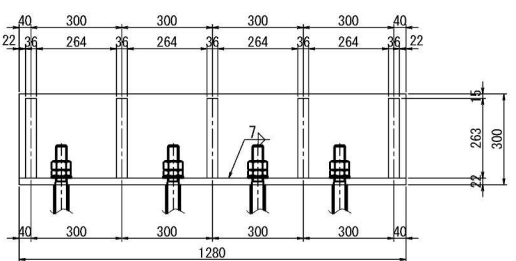
C - C



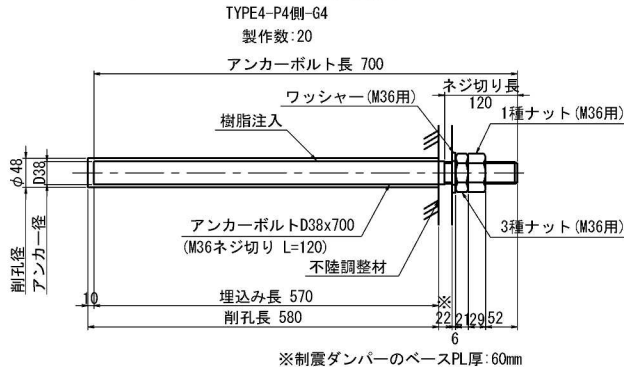
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



H - H



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

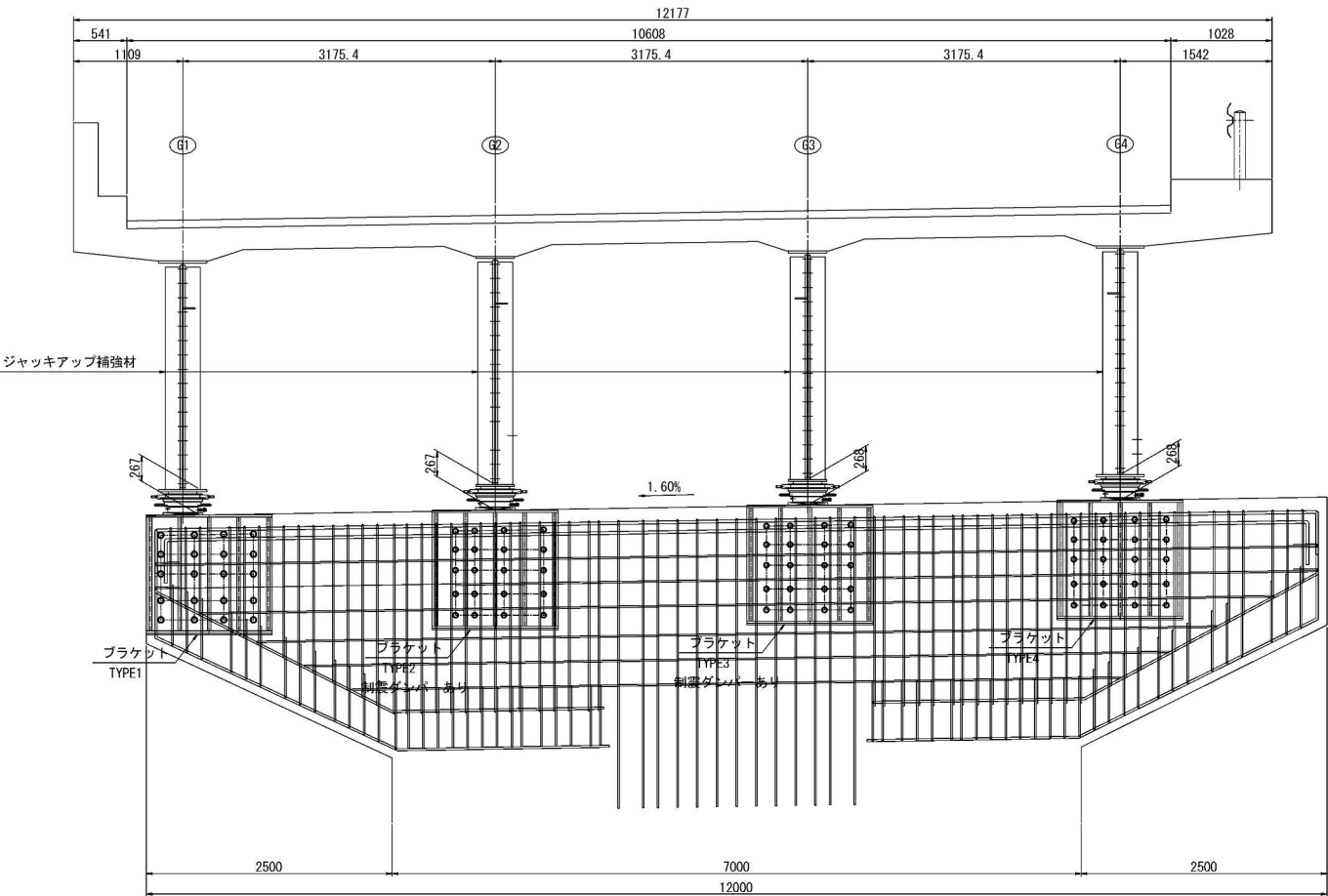


- 注記)
- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
 - 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

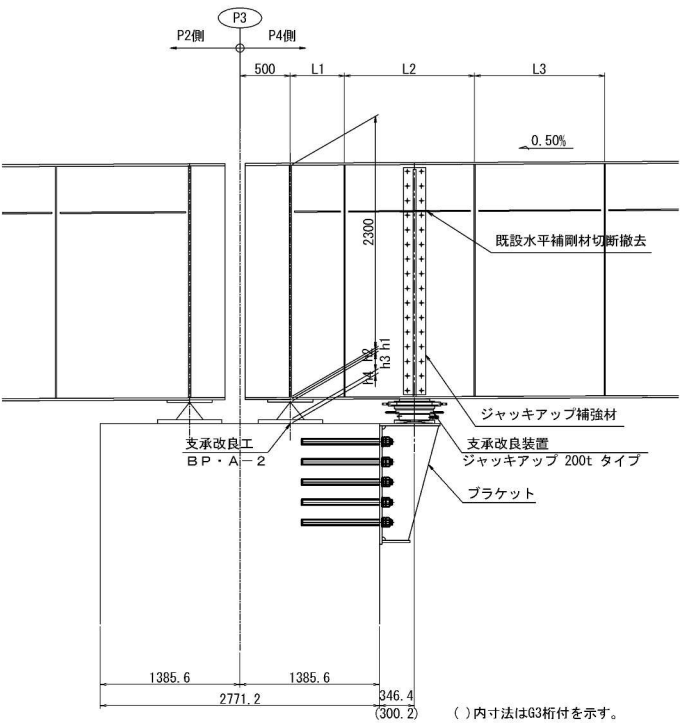
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 終点側 B P・A-2
支承改良工配置図

正面図

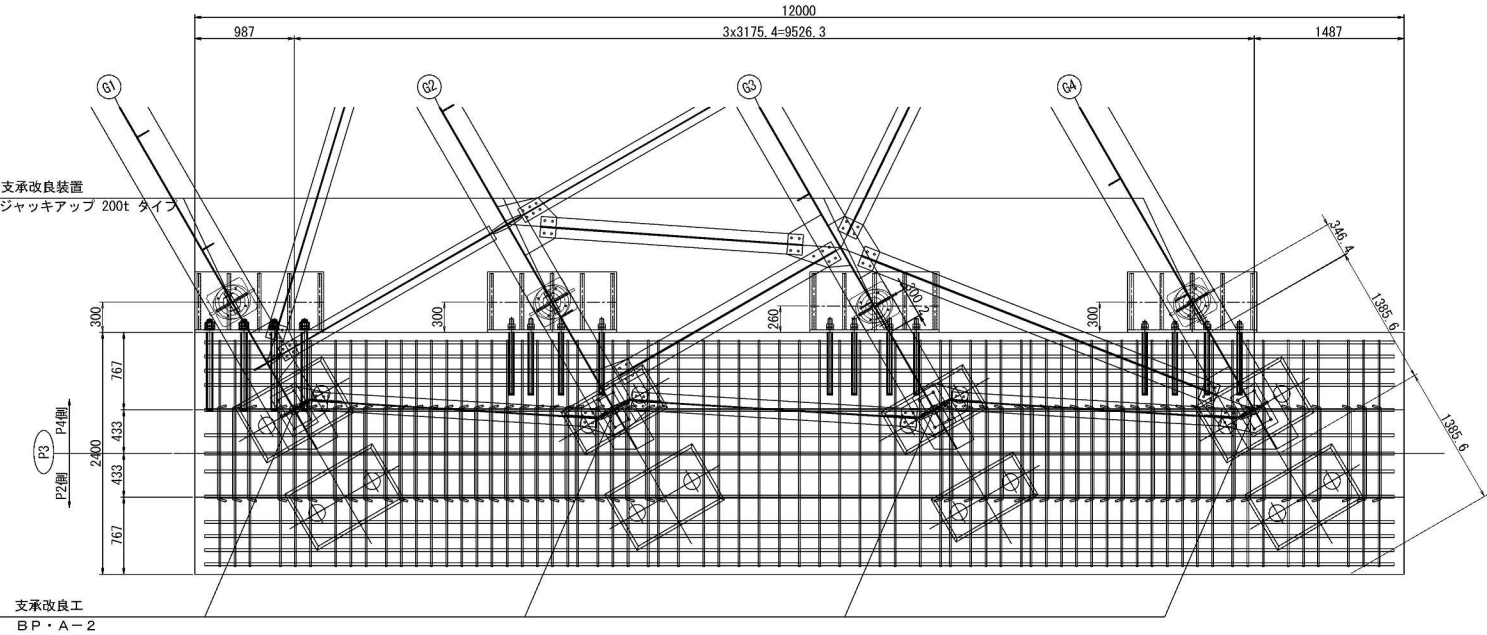


側面図



	L1	L2	L3	h1	h2	h3	h4
G1	537	1290.75	1290.75	22	25	180	40
G2	1062.5	1062.5	1290.75	19	25	170	53
G3	1237.35	1237.35	1237.35	20	25	170	53
G4	1325	1325	1325	22	25	180	41

平面図



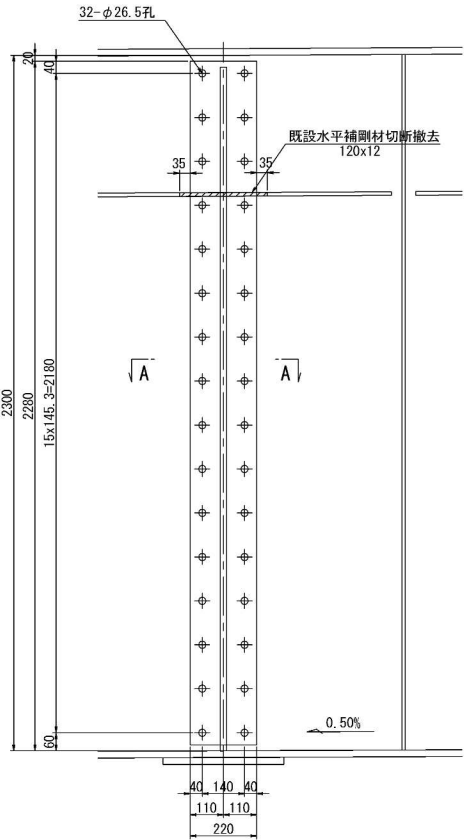
単価表の項目		単位	数量	摘要
支承改良工	B P・A-2	箇所	4.0	
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下苜撤去	SC46	箇所	4.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	4.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	1.7	撤去重量12kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	4.0	
アンカーボルト	SD345 D41 L=720mm	本	20.0	M39用1種N.W付
	SD345 D41 L=750mm	本	40.0	M39用1種N.W付
	SD345 D51 L=890mm	本	20.0	M48用1種N.W付
アンカー工	φ51 L=625mm	本	60.0	水平方向
	φ61 L=775mm	本	20.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	4.512	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	1.156	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.136	
現場孔明工	φ26.5	箇所	128.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x90(S10T)	本	128.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

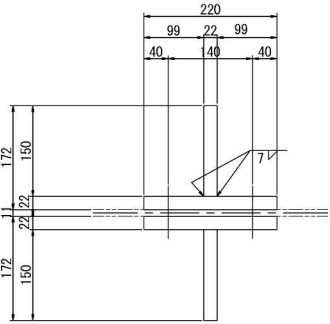
下り線 終点側 BP・A-2
ジャッキアップ補強材

P4側-G1

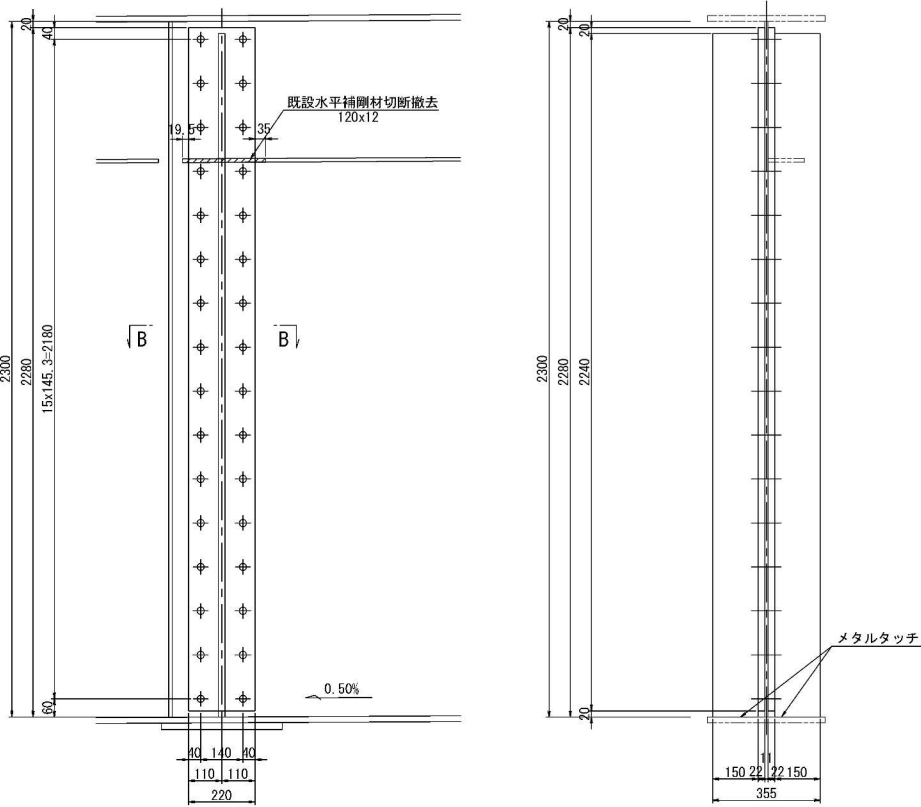


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TGB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

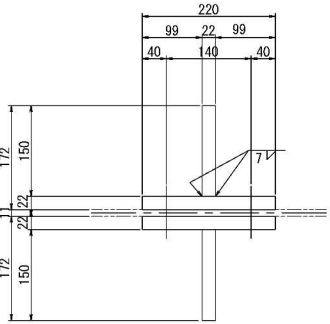


P4側-G2

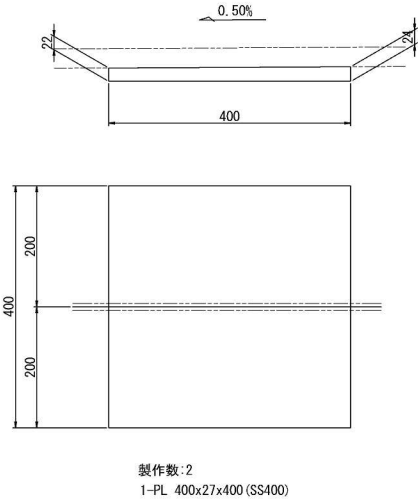


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x275 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TGB M22x90 (S10T)

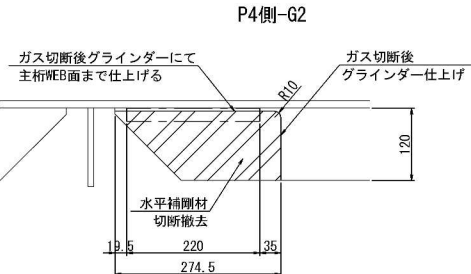
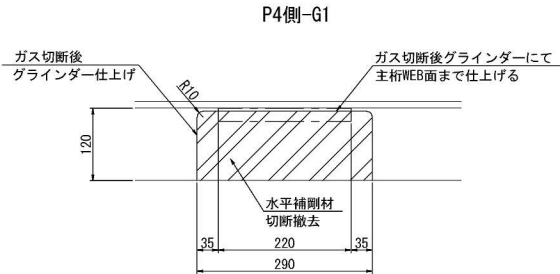
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

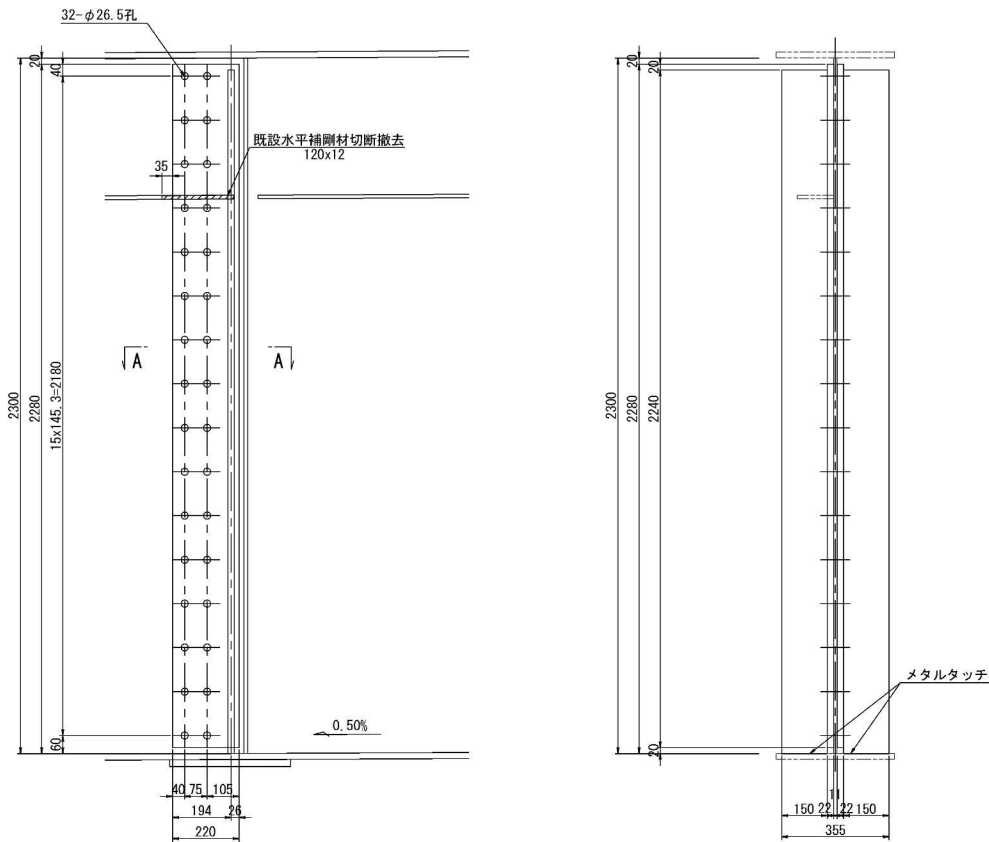


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

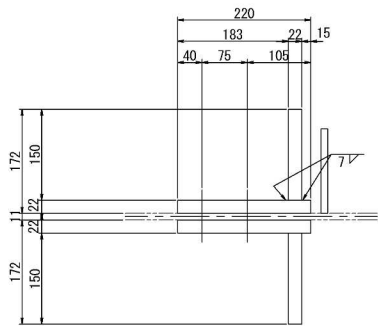
下り線 終点側 BP・A-2
ジャッキアップ補強材

P4側-G3

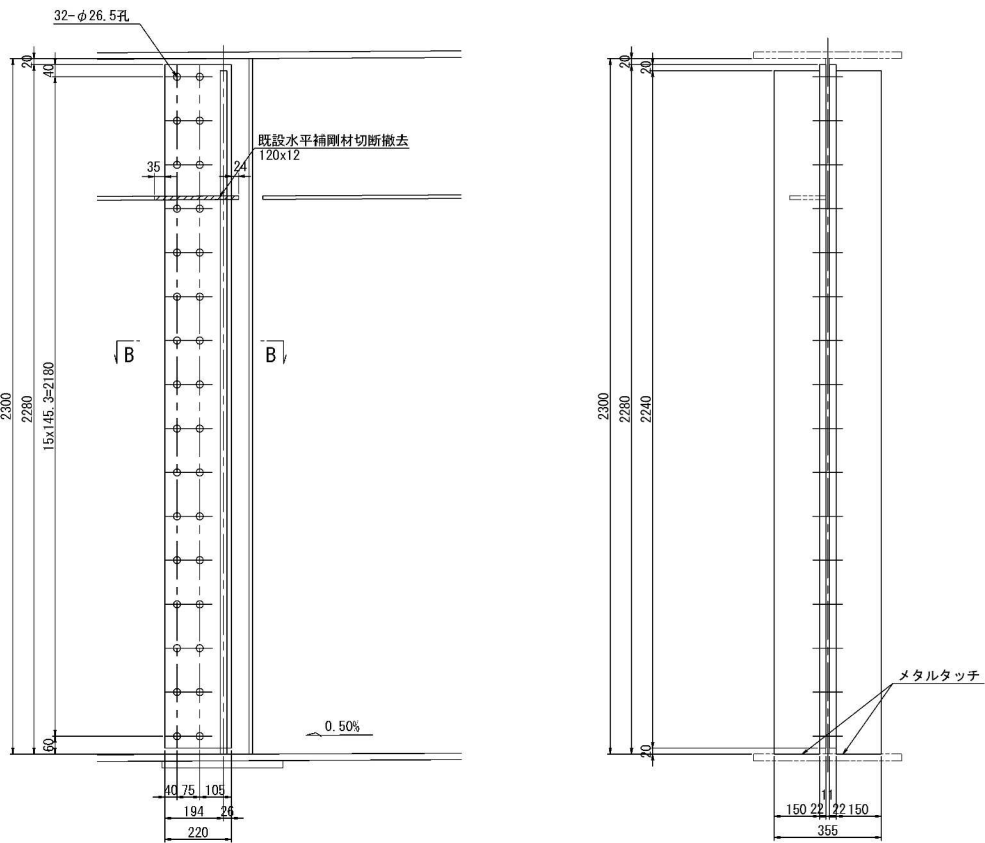


水平補剛材撤去材料 : 材料 : (製作数 : 1箇所)
1-PL 120x12x238 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

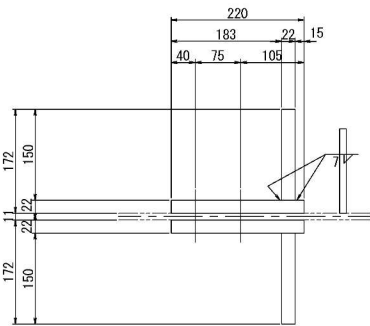


P4側-G4

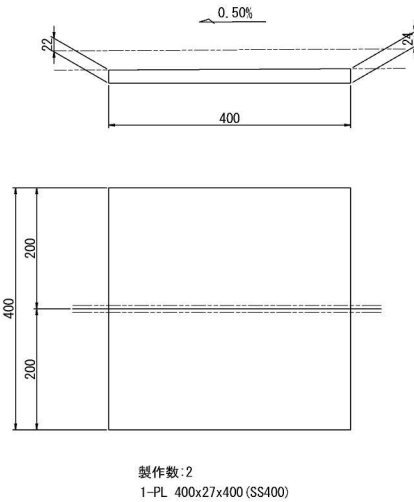


水平補剛材撤去材料 : 材料 : (製作数 : 1箇所)
1-PL 120x12x279 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

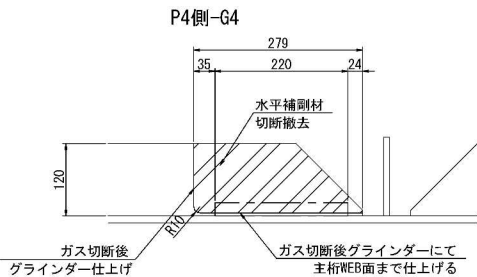
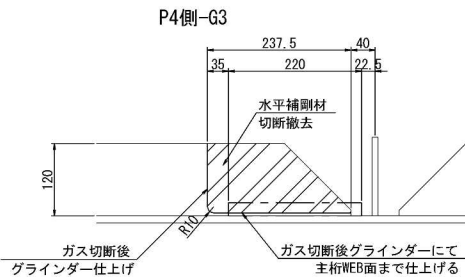
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

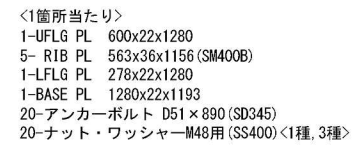


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

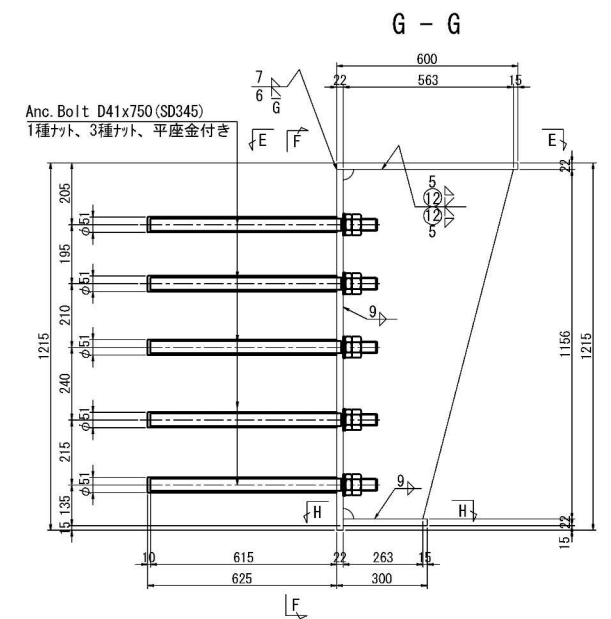
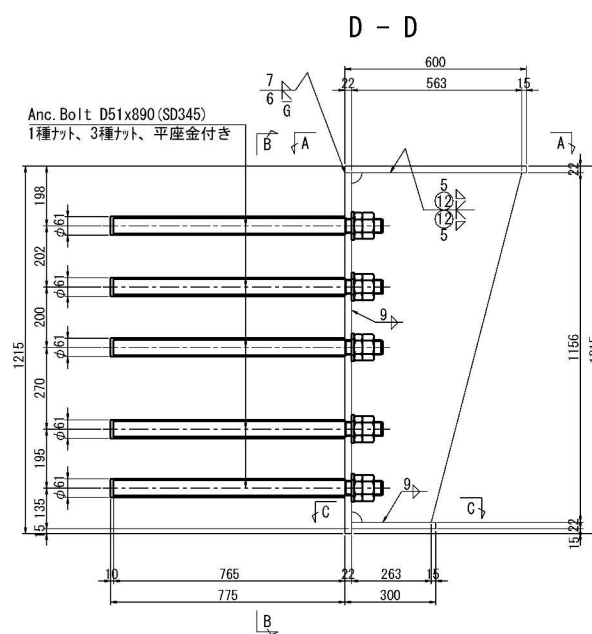
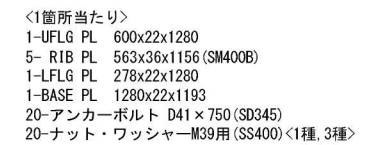
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その10)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

下り線 終点側 BP・A-2
脚付ブラケット

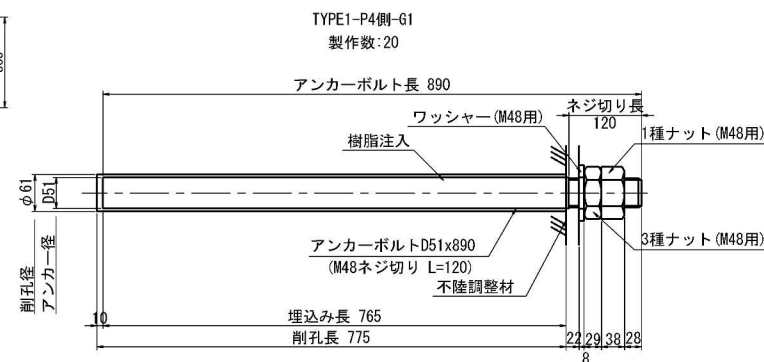
製作数：1箇所



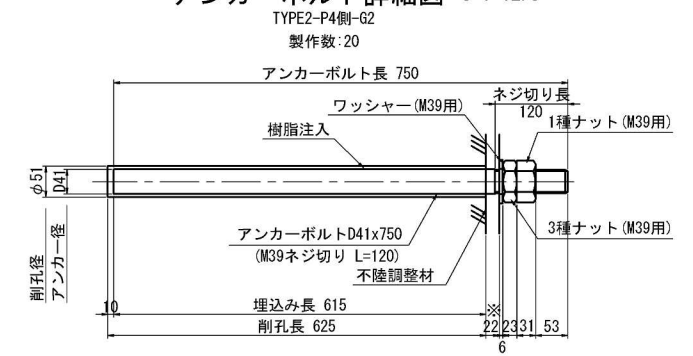
製作数：1箇所



TYPE1-P4側-G1



TYPE2-P4側-G2



※制震ダンパーのベースPL厚:60mm

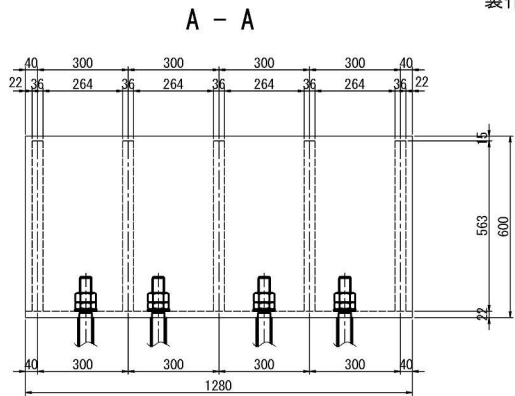
注記)

1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	P3橋脚支承改良工図(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

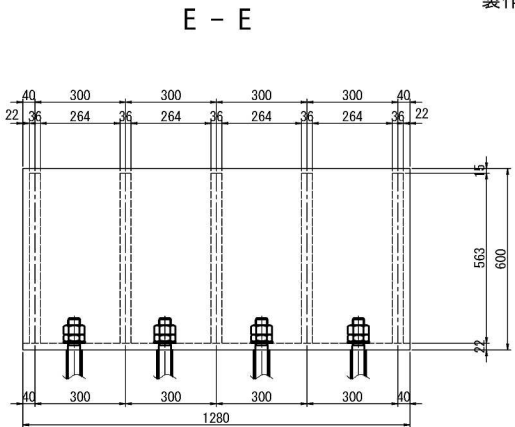
下り線 終点側 B P・A-2
脚付ブラケット

TYPE3-P4側-G3
製作数: 1箇所

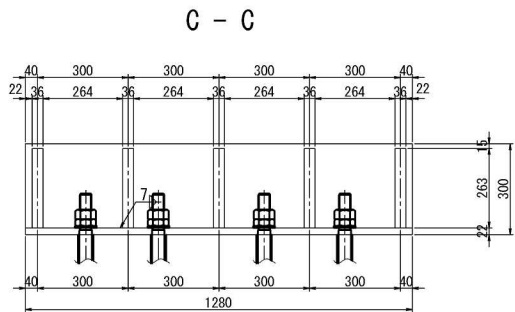
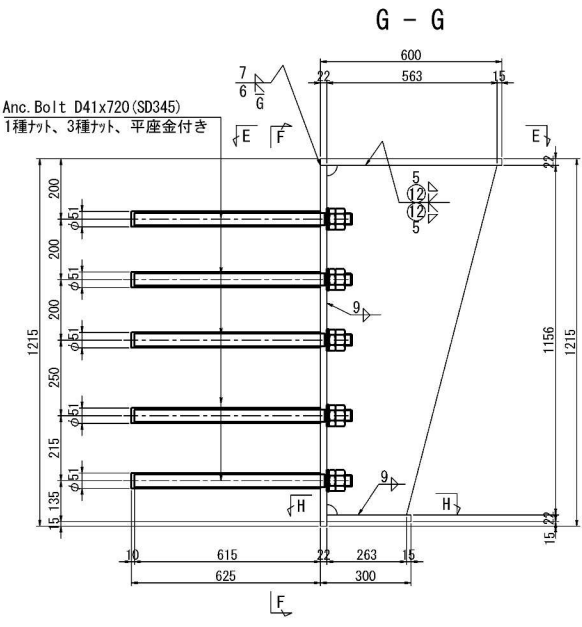
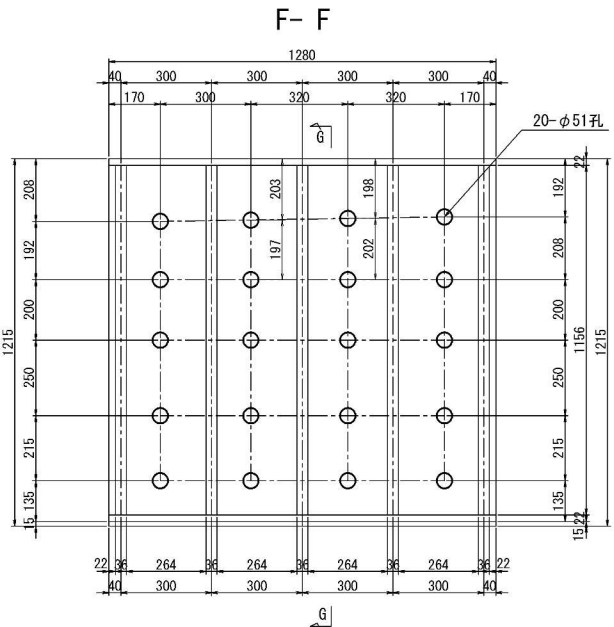
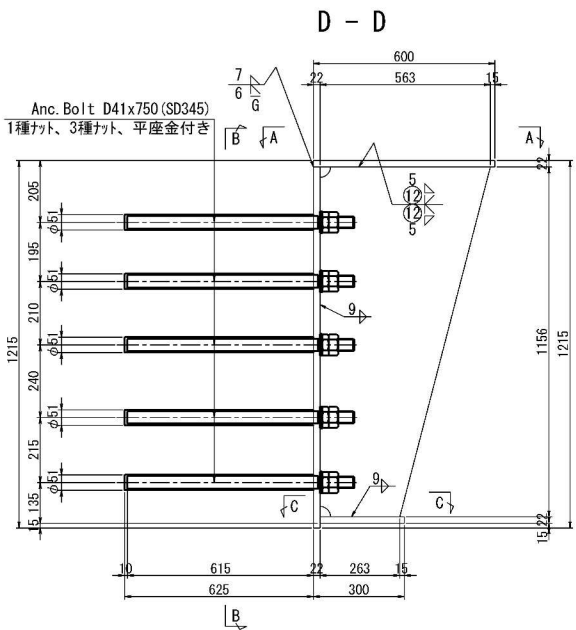
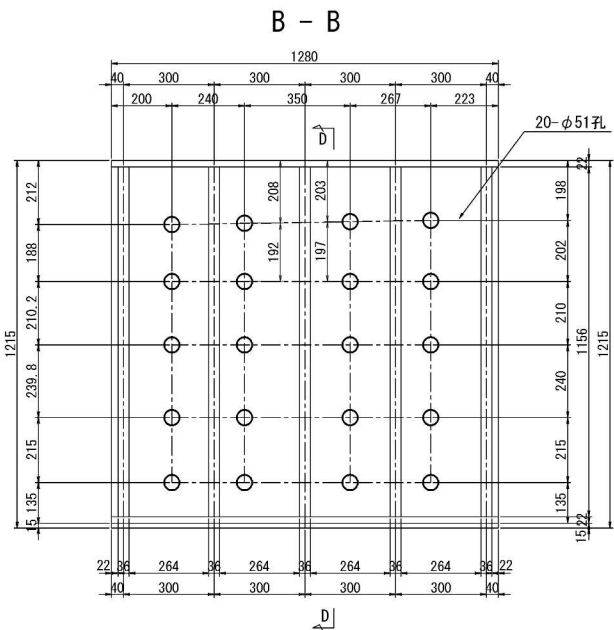


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×750 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>

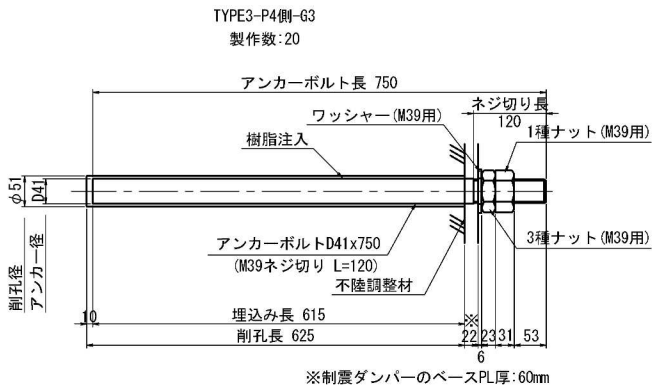
TYPE4-P4側-G4
製作数: 1箇所



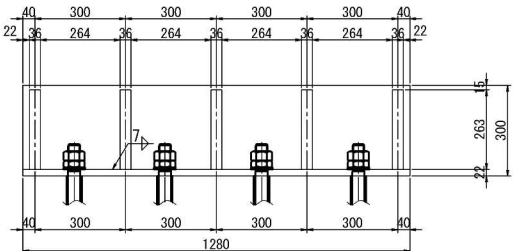
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>



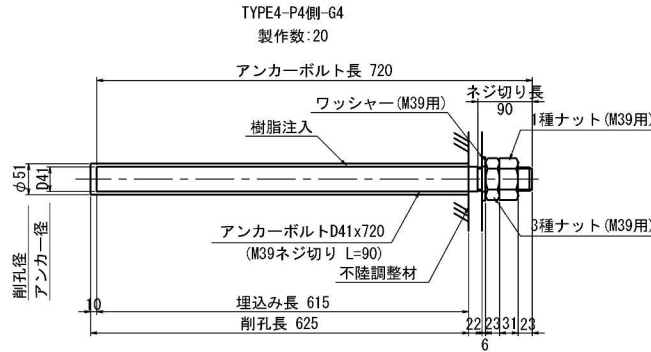
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



H - H



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

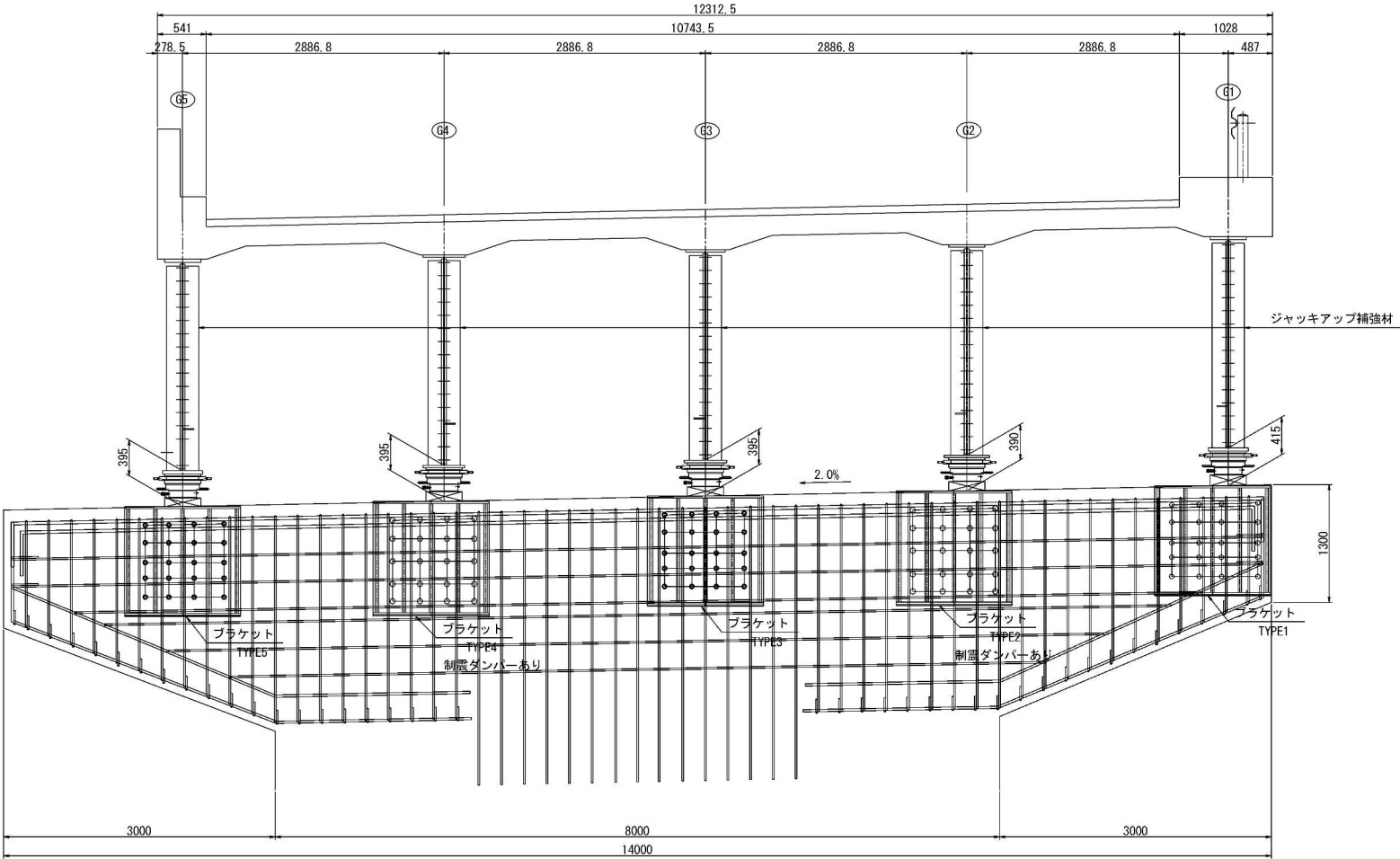


- 注記)
- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
 - 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚支承改良工図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 BP・A-3
支承改良工配置図

正面図
P5側

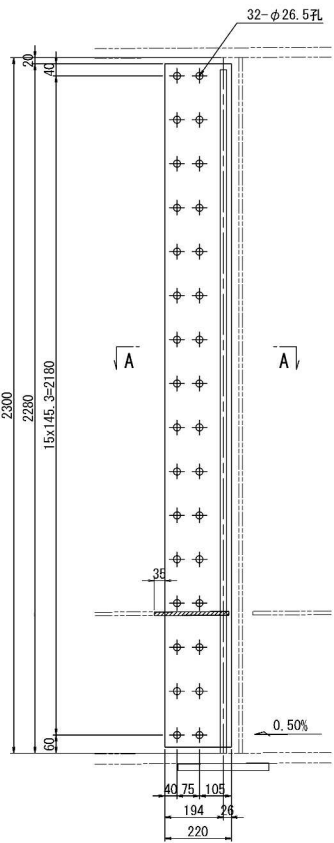


注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋		
	P4橋脚支承改良工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

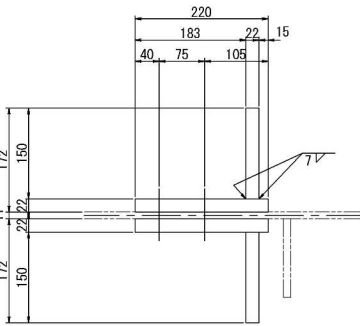
上り線 B・A-3
ジャッキアップ補強材

P3側-G1

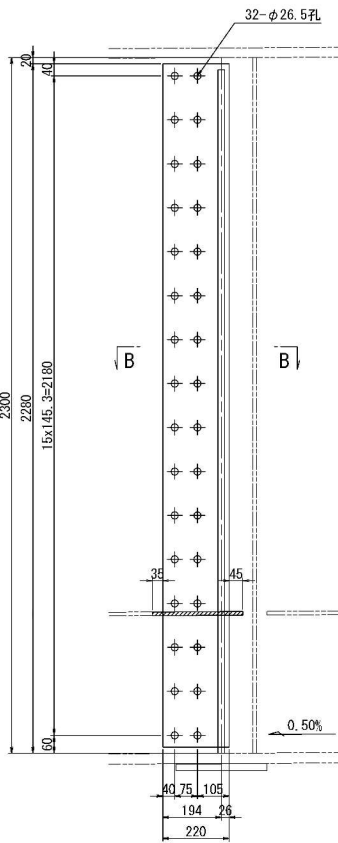


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x247 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

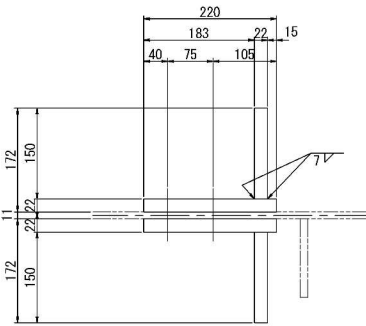


P5側-G1

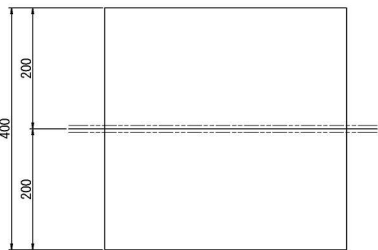
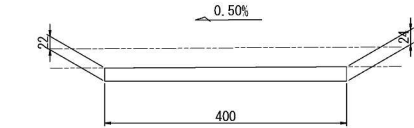


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x300 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5



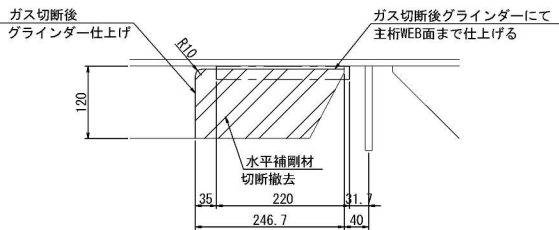
ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



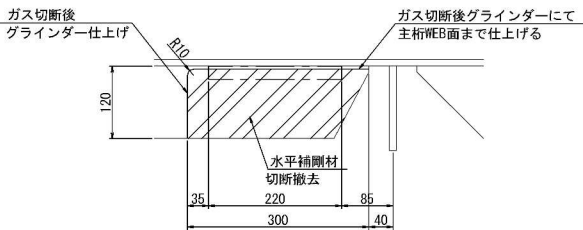
製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P3側-G1



P5側-G1

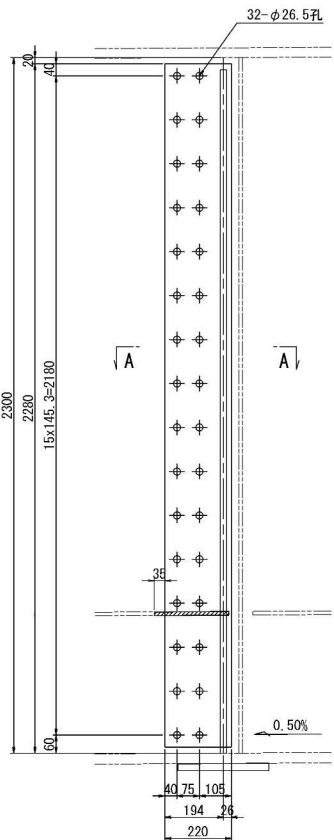


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

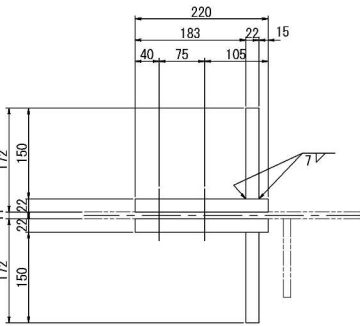
上り線 B・P・A-3
ジャッキアップ補強材

P3側-G2

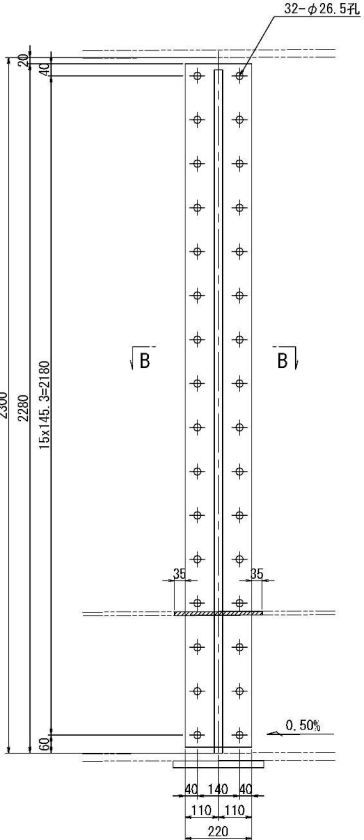


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x247 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

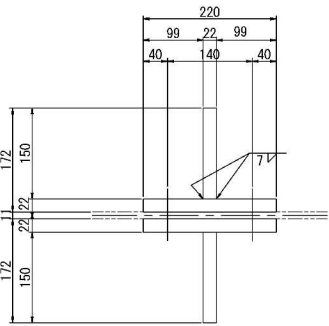


P5側-G2

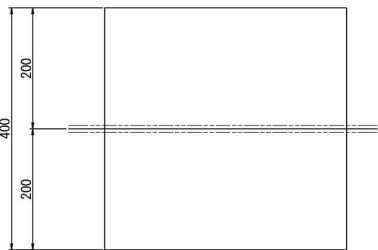
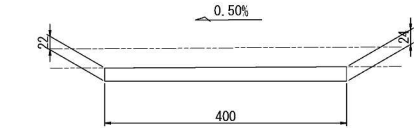


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5



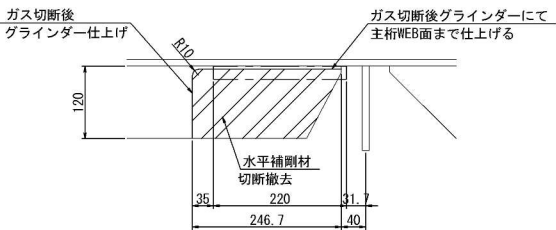
ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



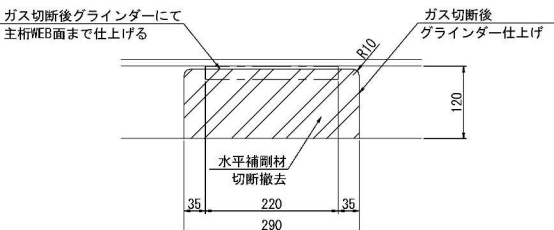
製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P3側-G2



P5側-G2

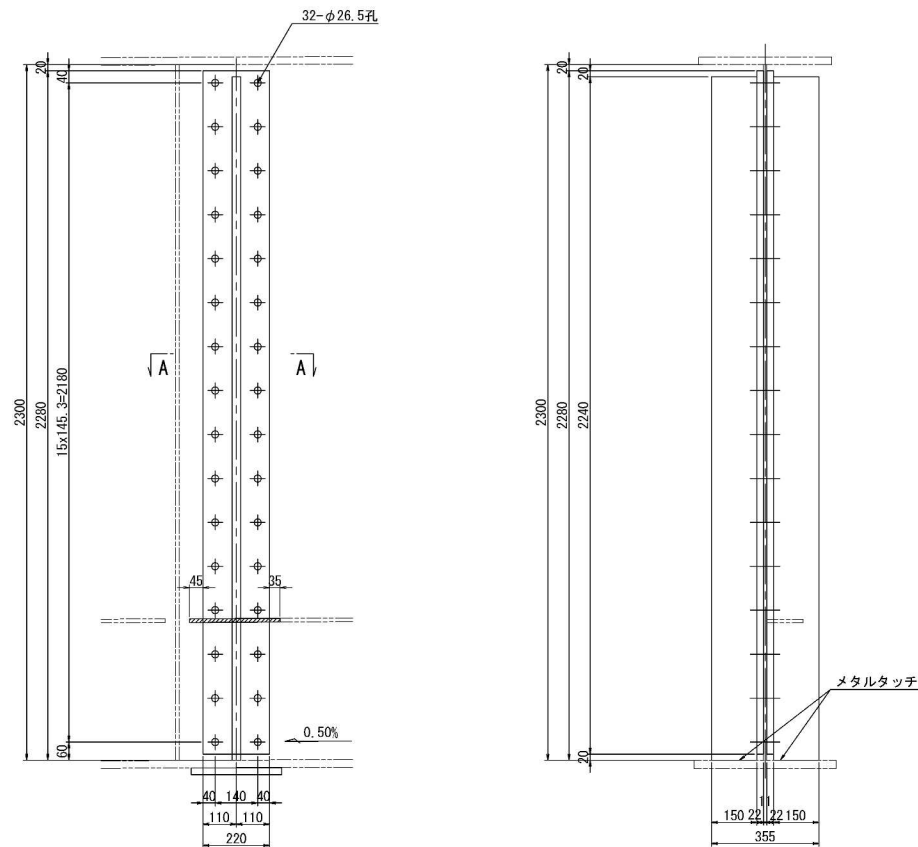


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

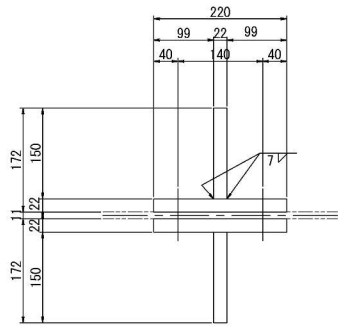
上り線 B・P・A-3
ジャッキアップ補強材

P3側-G3

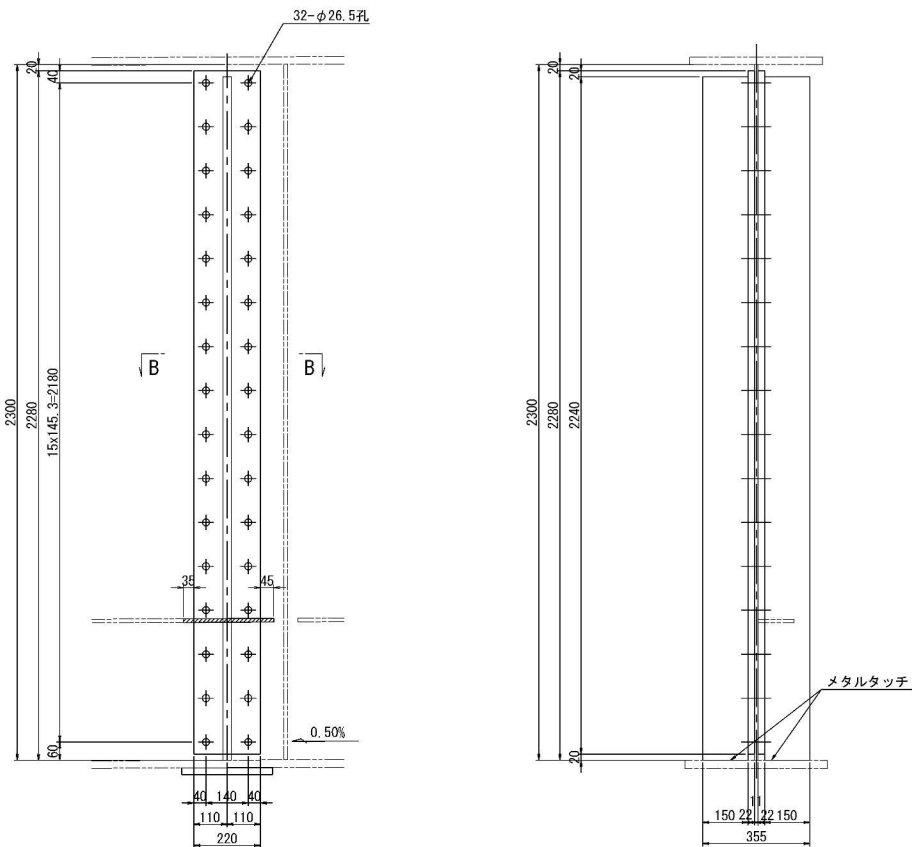


水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x300
材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

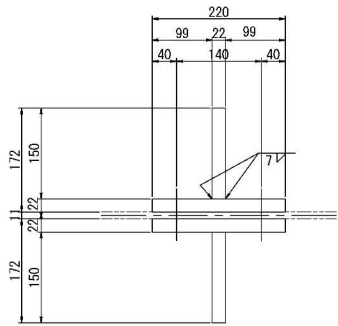


P5側-G3

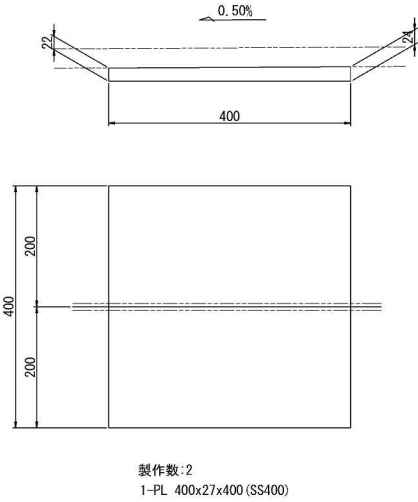


水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x300
材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

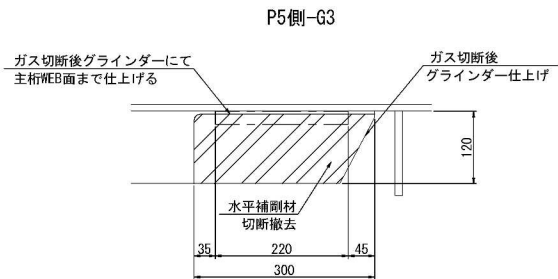
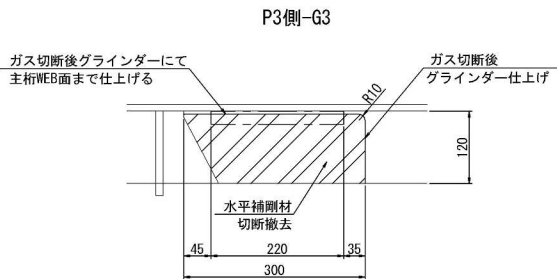
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

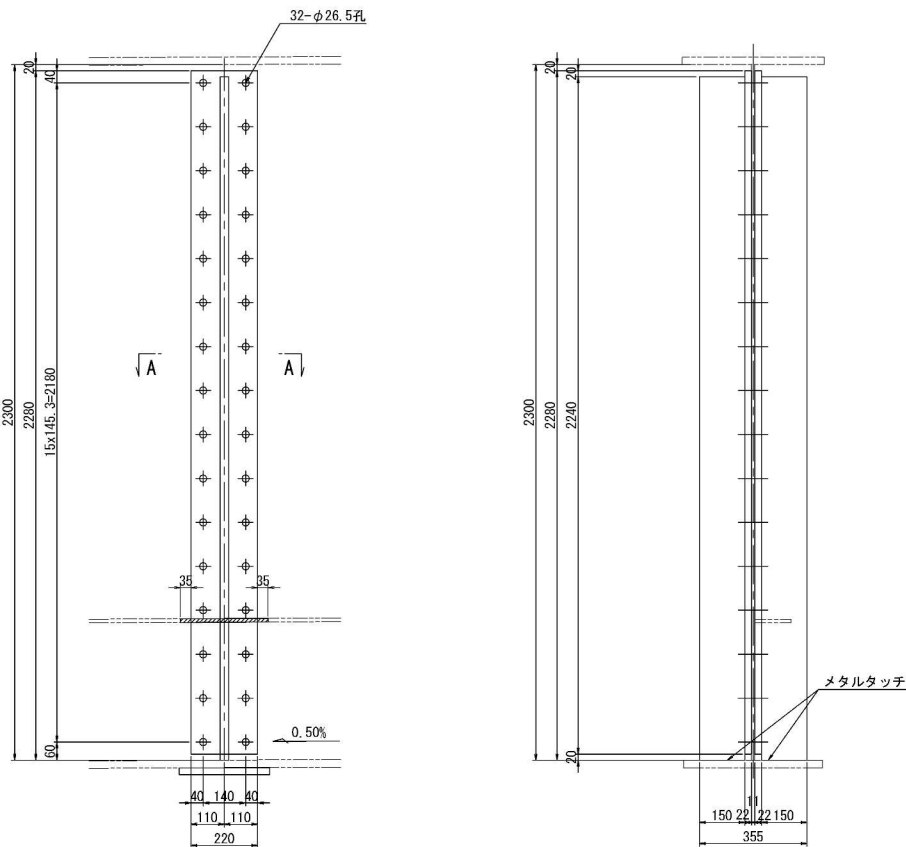


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

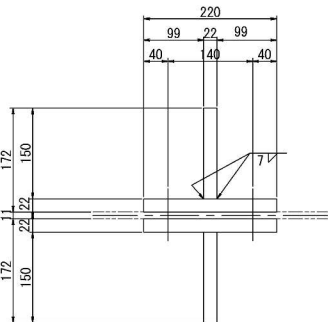
上り線 B P・A-3
ジャッキアップ補強材

P3側-G4

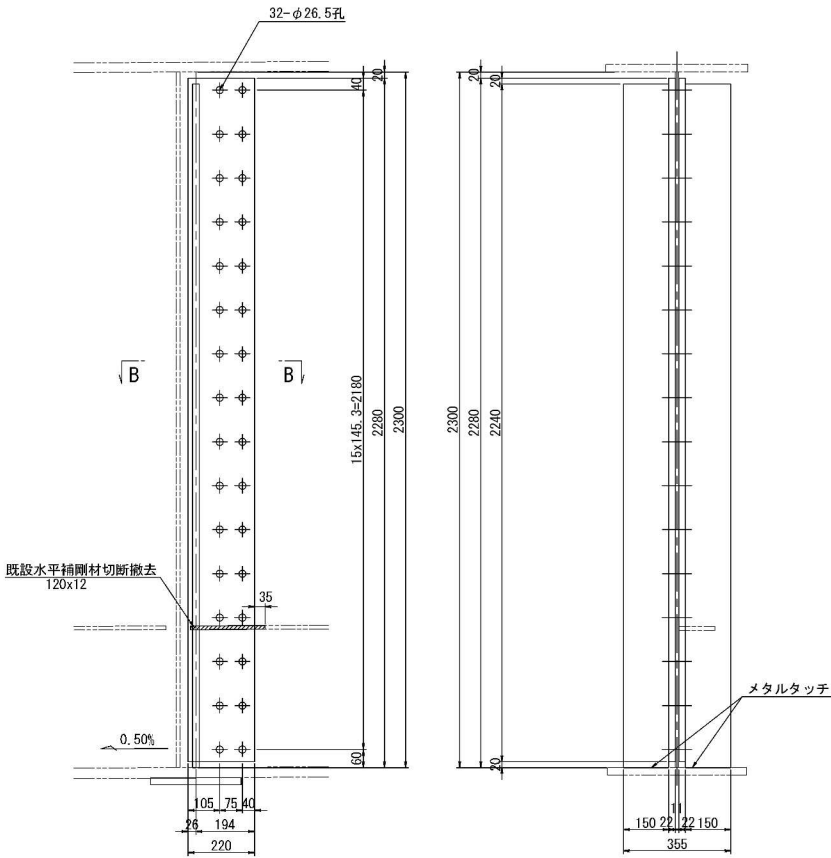


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

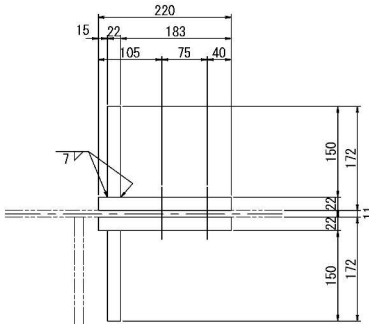


P5側-G4

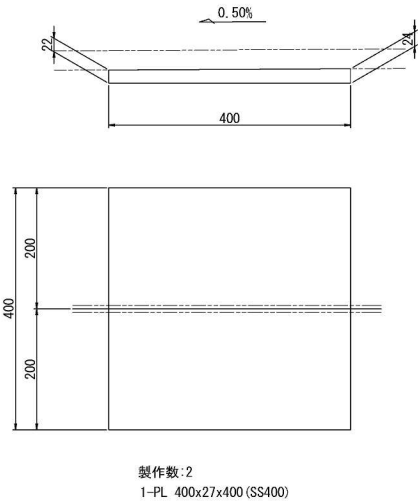


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x247 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

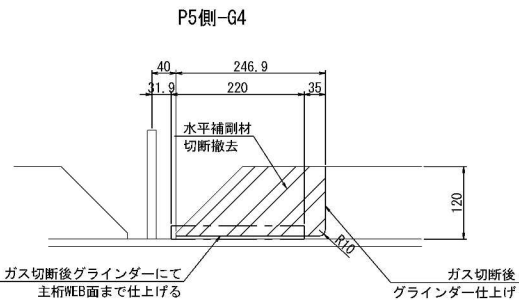
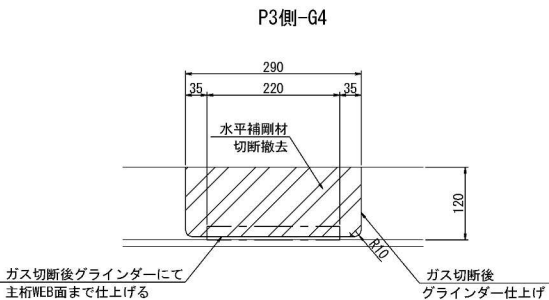


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

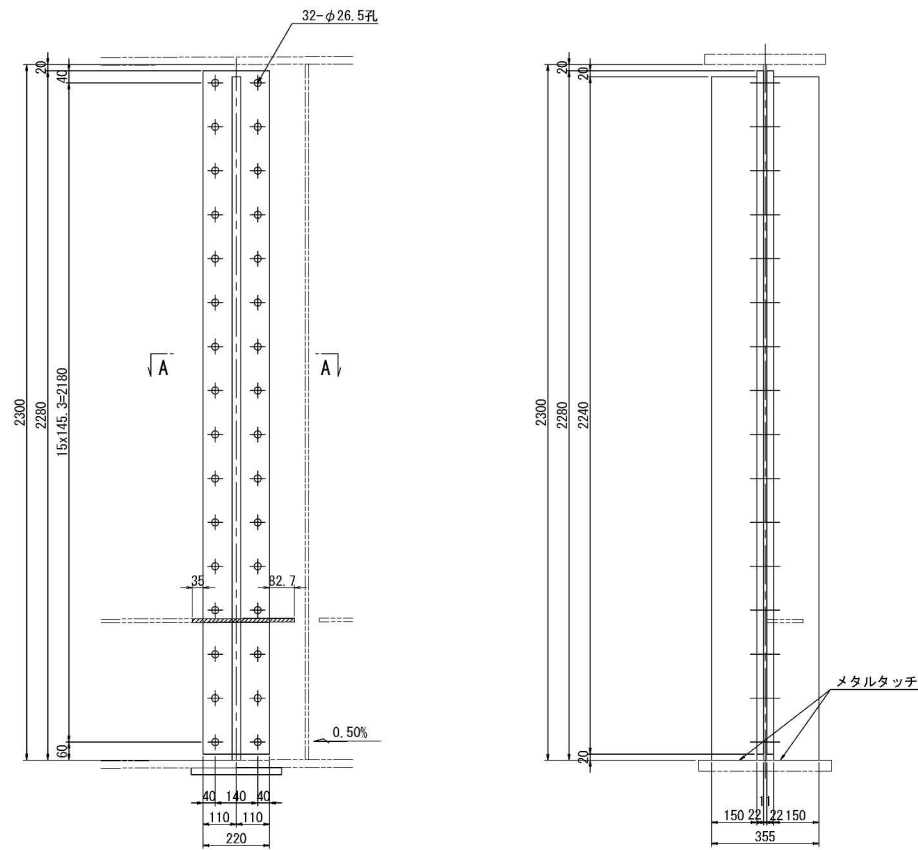


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

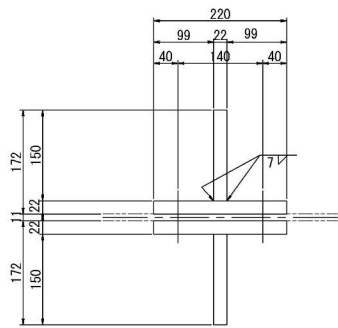
上り線 B P・A-3
ジャッキアップ補強材

P3側-G5

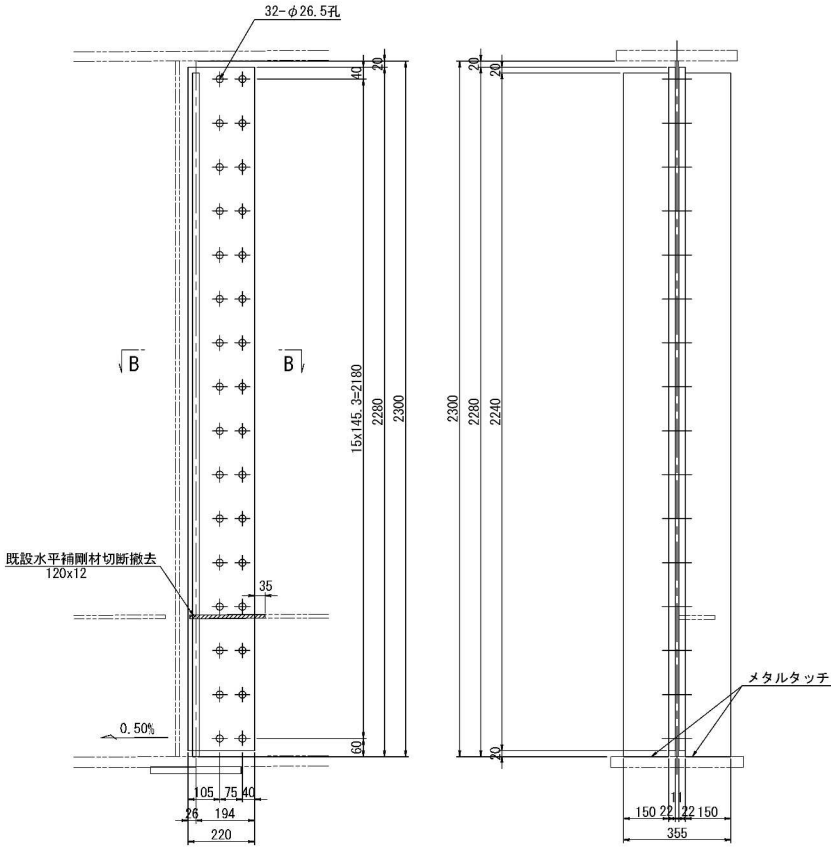


水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x338
材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

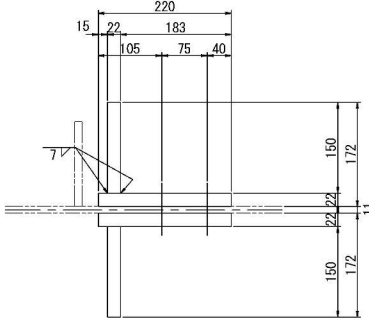


P5側-G5

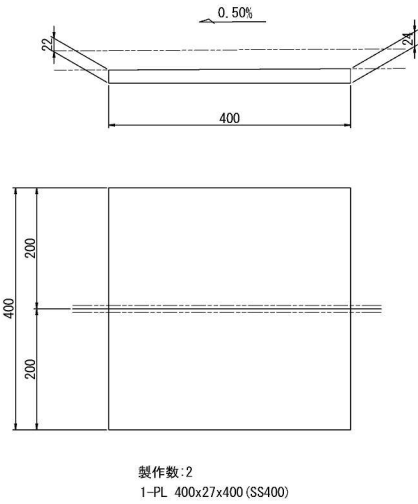


水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x248
材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

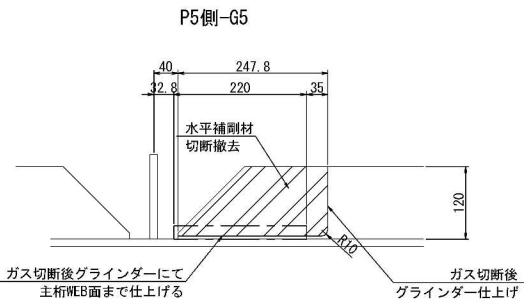
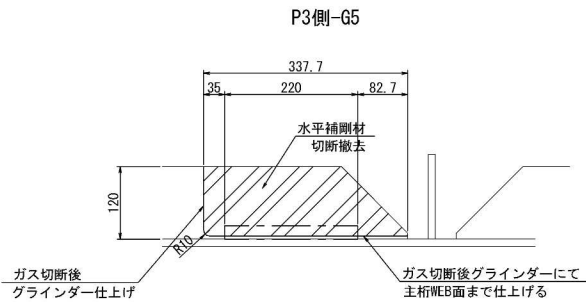
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



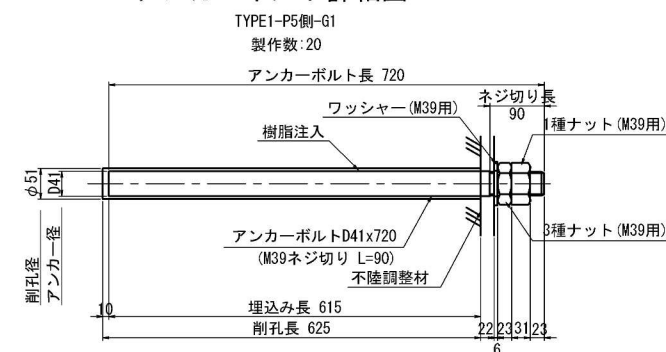
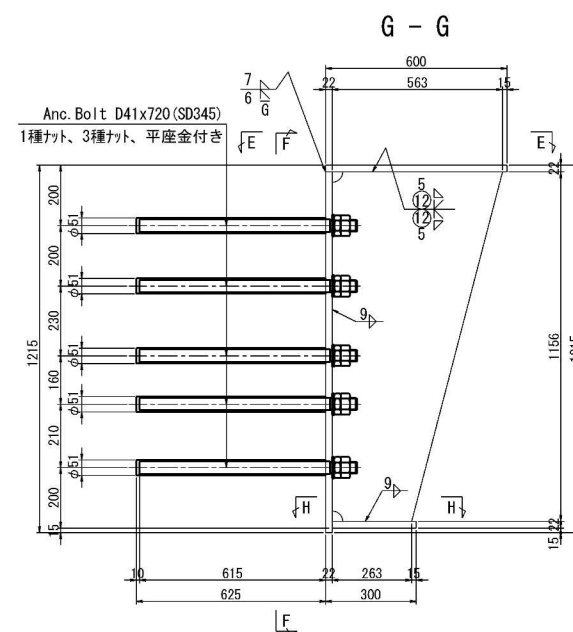
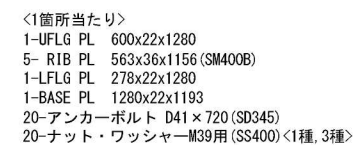
水平補剛材切断詳細 S=1:12.5



- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

TYPE1-P5側-G1
製作数：1箇所



- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 橋引馬瀬川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
P4橋脚支承改良工図(その8)			
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

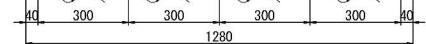
脚付ブラケット

製作数：1箇所

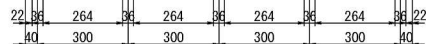
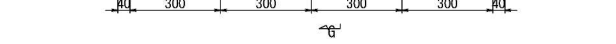
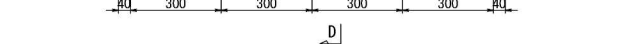


20-ナット・ワッシャーM48用(SS400)<1種, 3種>

製作数：1箇所



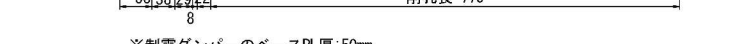
20-アンカーボルト D51×915 (SD345)



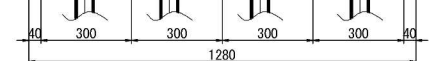
$S=1:12.5$

製作数:各20

製作数:各20



※制震ダンパーのベースPL厚:50mm

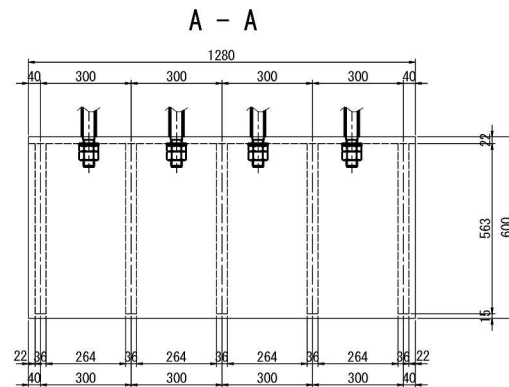


- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八 戸 自 動 車 道			
楢引馬瀬川橋脚震害補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支保改良工図(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

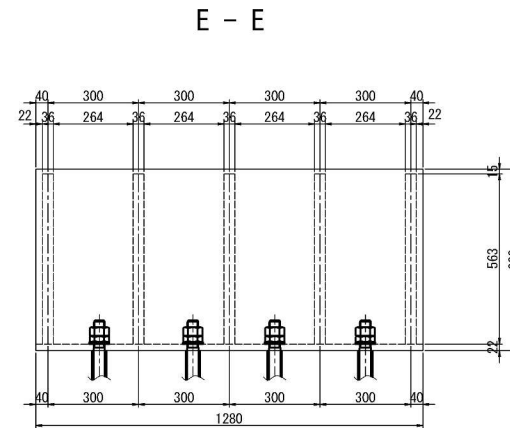
上り線 BP・A-3
脚付ブラケット

TYPE3-P3側-G3
製作数: 1箇所



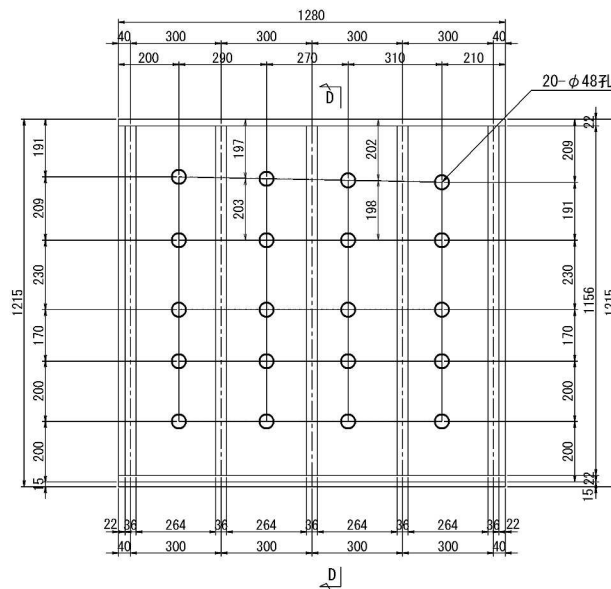
＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー M36用 (SS400)＜1種、3種＞

TYPE3-P5側-G3
製作数: 1箇所

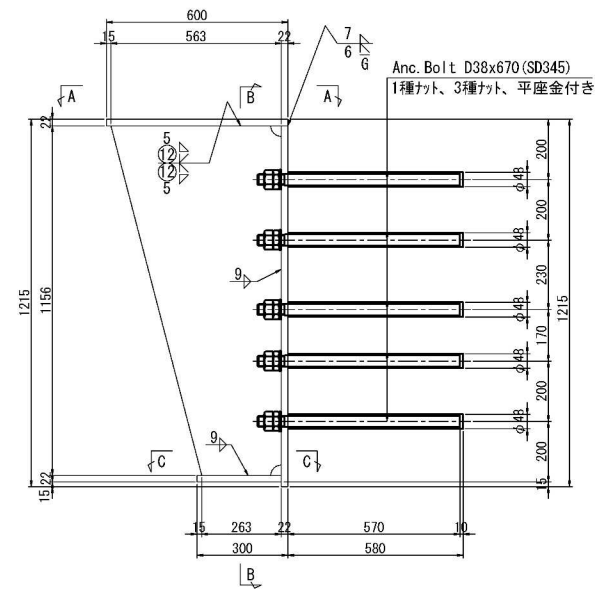


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- R1B PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1243
 20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー M36用 (SS400)＜1種, 3種＞

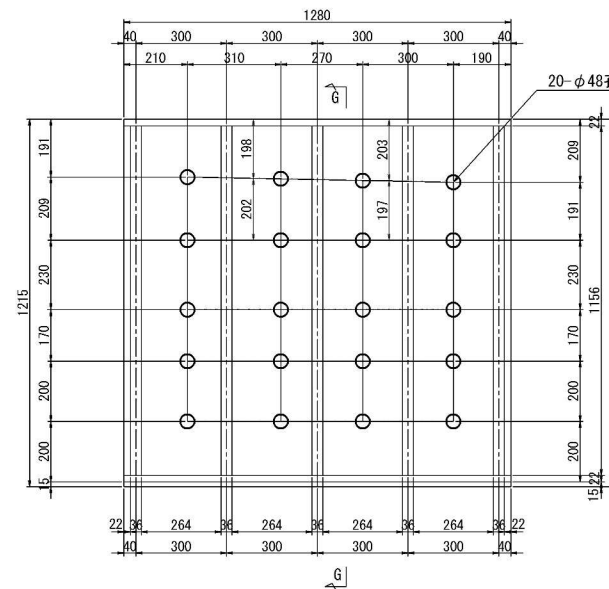
B - B



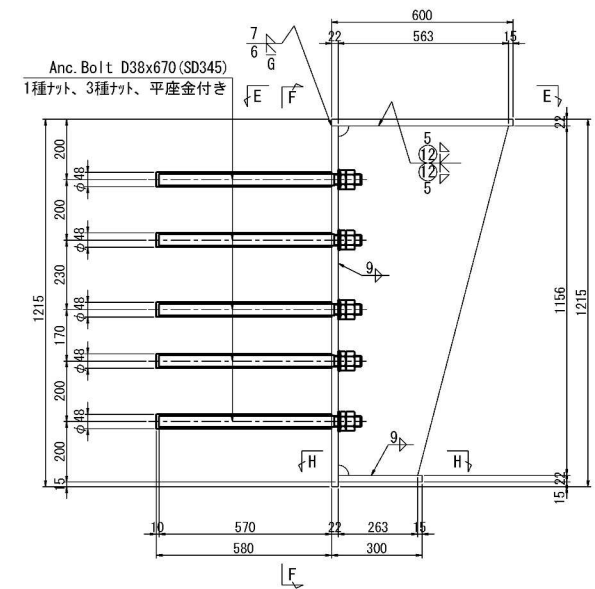
D - D



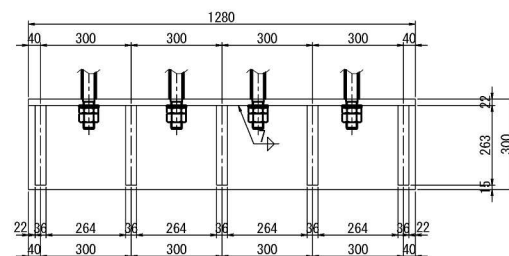
F- F



G - G

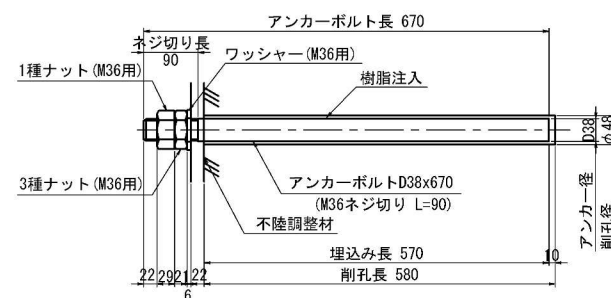
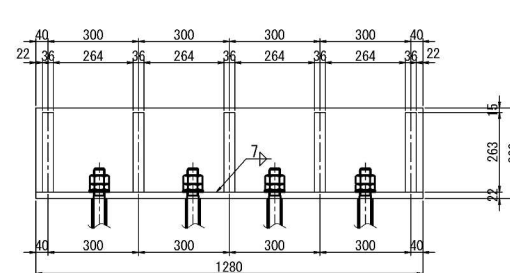


C - C



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE3-P3側-G3, P5側-G3
製作数:各20


$$\text{H} - \text{H}$$


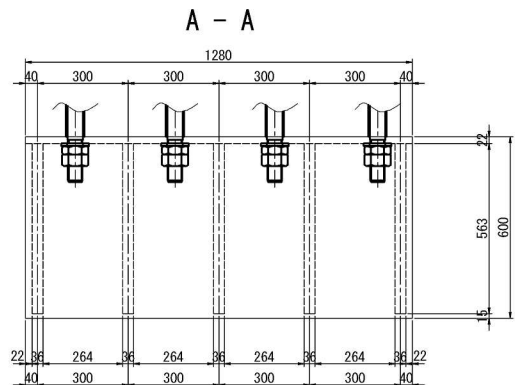
注記)

- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 磐引渡瀬川橋新築補強工事			
奥入瀬川橋		P4橋脚支保改良工図(その10)	
図面の種類			
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

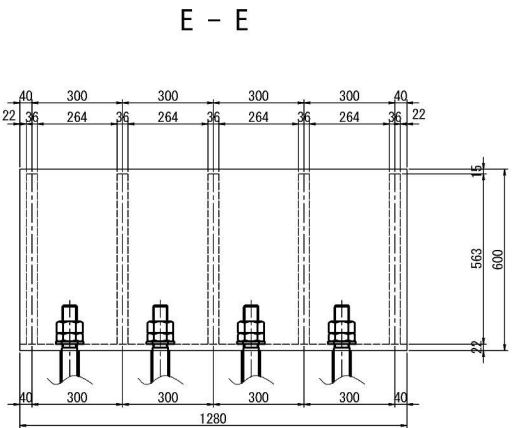
上り線 B P・A-3
脚付ブラケット

TYPE4-P3側-G4
製作数: 1箇所

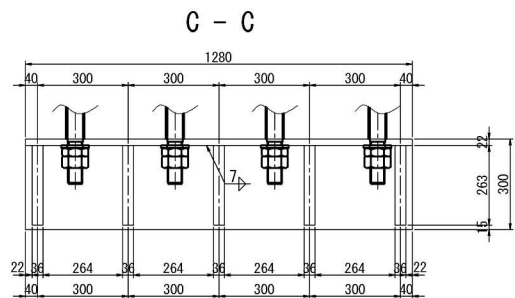
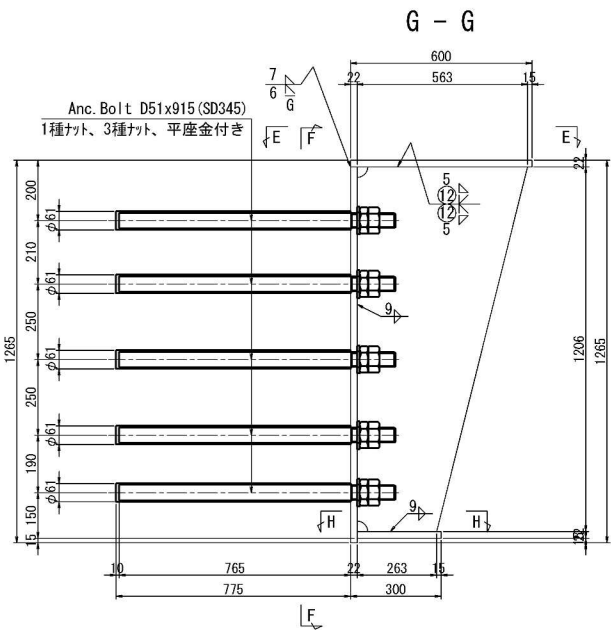
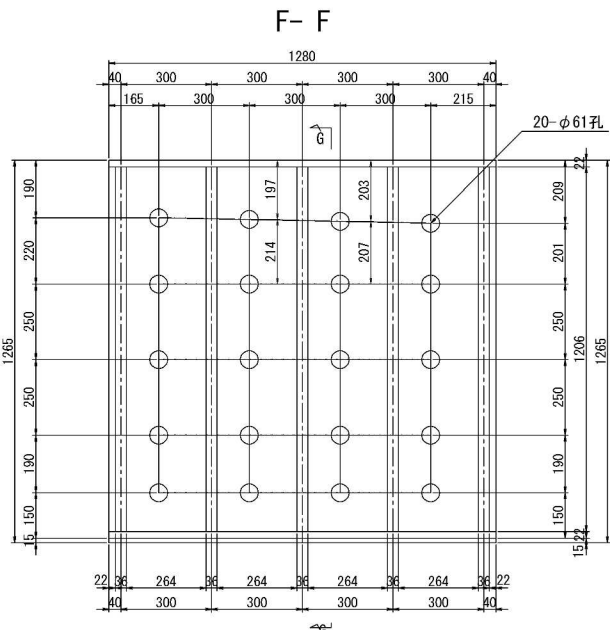
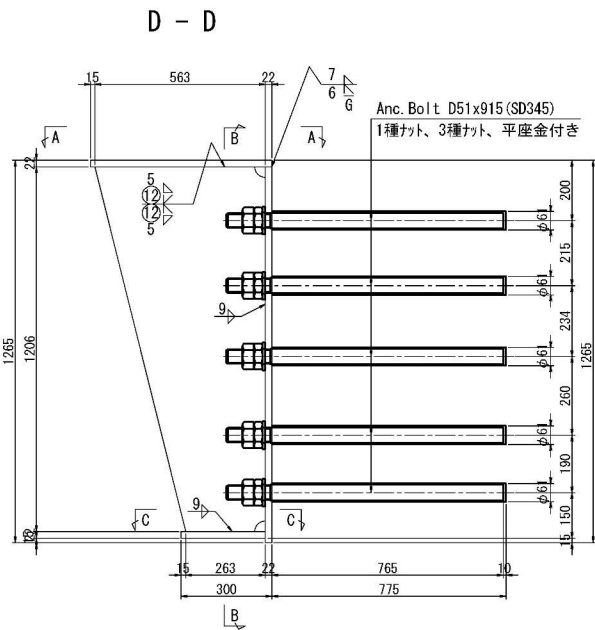
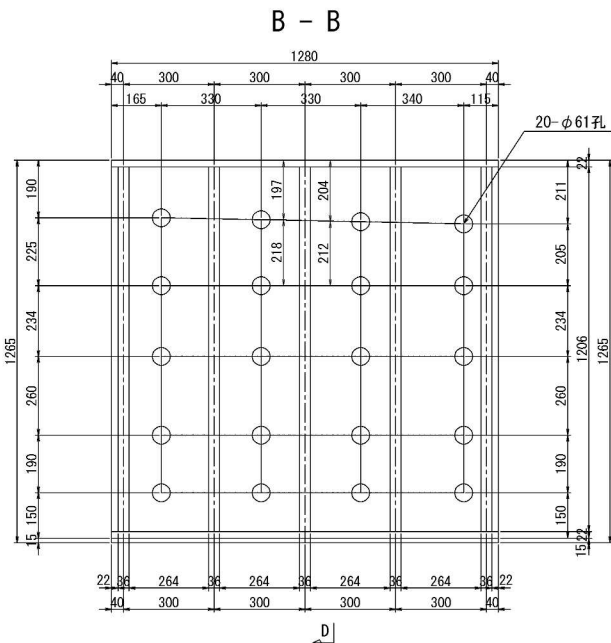


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1206 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1243
20-アンカーボルト D51x915 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM48用 (SS400)<1種, 3種>

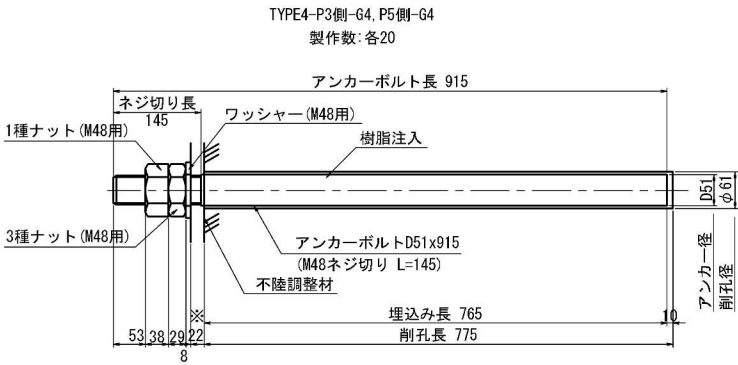
TYPE4-P5側-G4
製作数: 1箇所



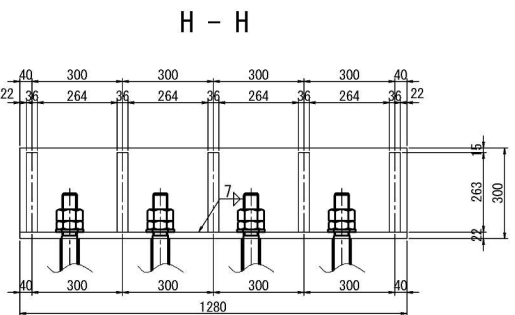
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1206 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1243
20-アンカーボルト D51x915 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM48用 (SS400)<1種, 3種>



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



※制震ダンパーのベースPL厚:50mm

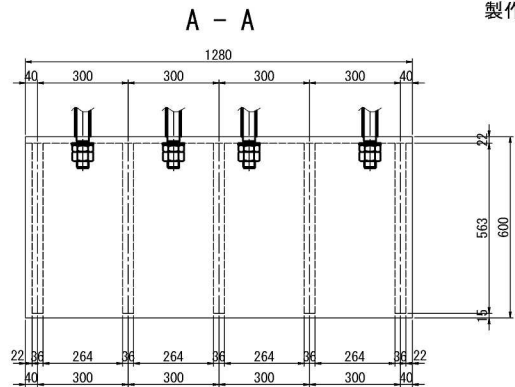


- 注記)
- 鉄筋調査後にアンカー位置を最終決定すること。
 - 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その11)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

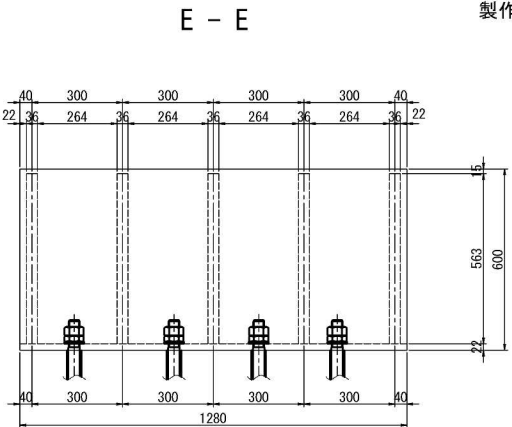
上り線 B・P・A-3
脚付ブラケット

TYPE5-P3側-G5
製作数: 1箇所



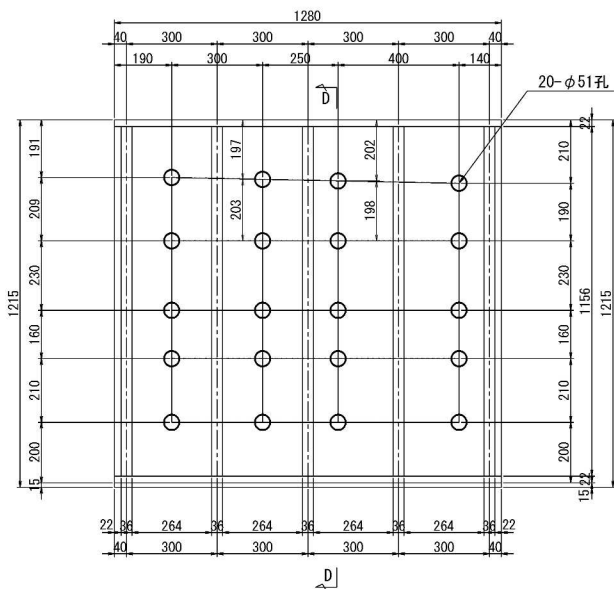
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41x720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>

TYPE5-P5側-G5
製作数: 1箇所

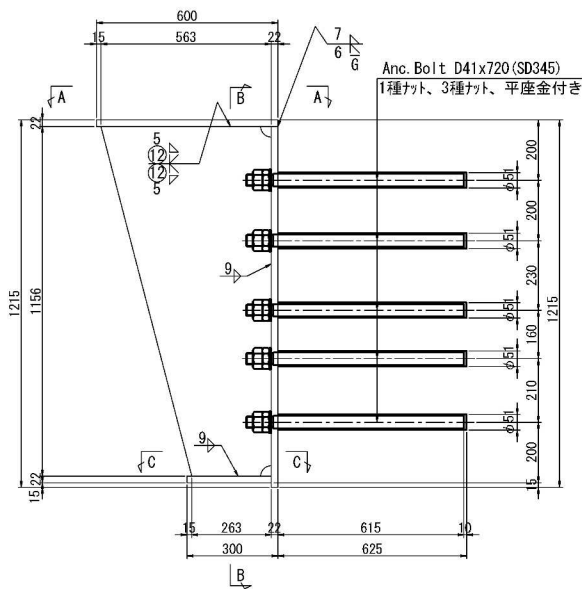


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38x670 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>

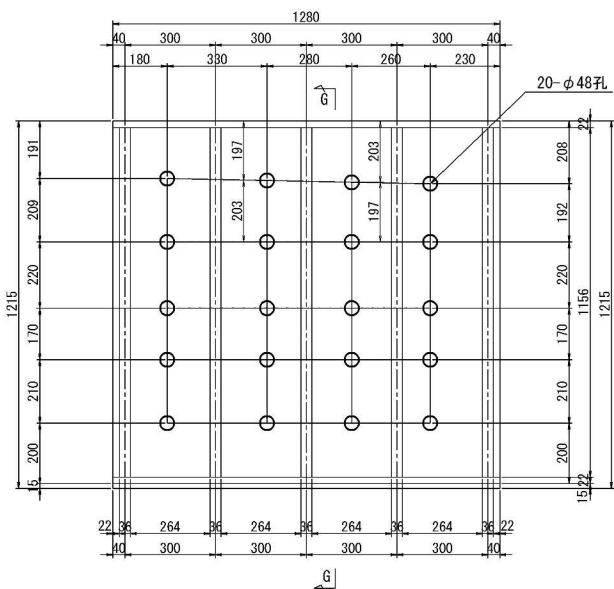
B - B



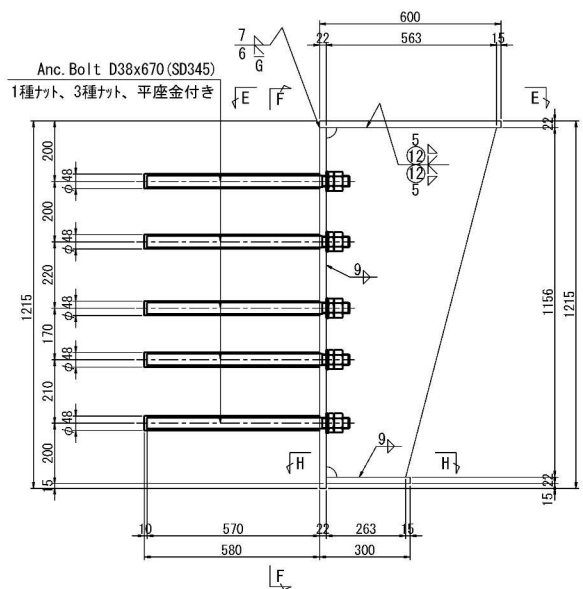
D - D



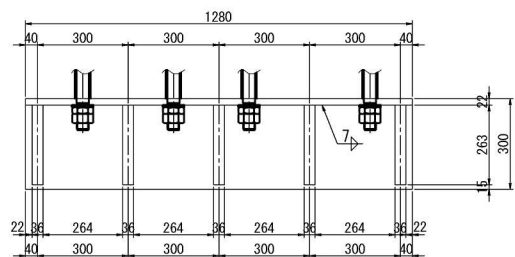
F - F



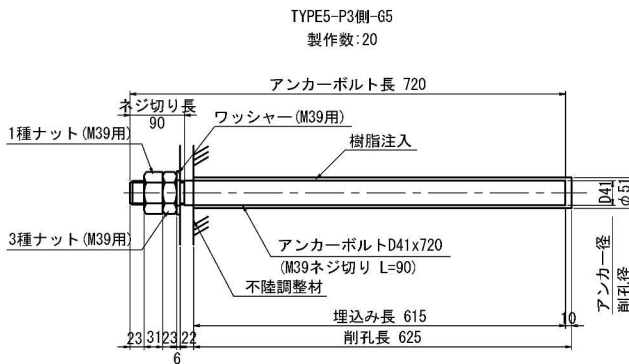
G - G



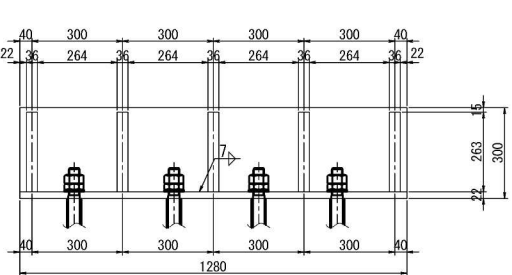
C - C



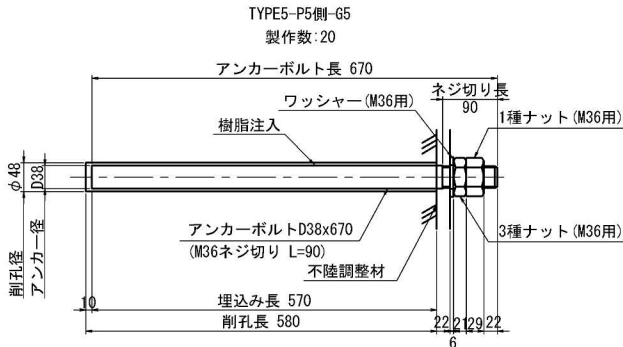
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



H - H



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

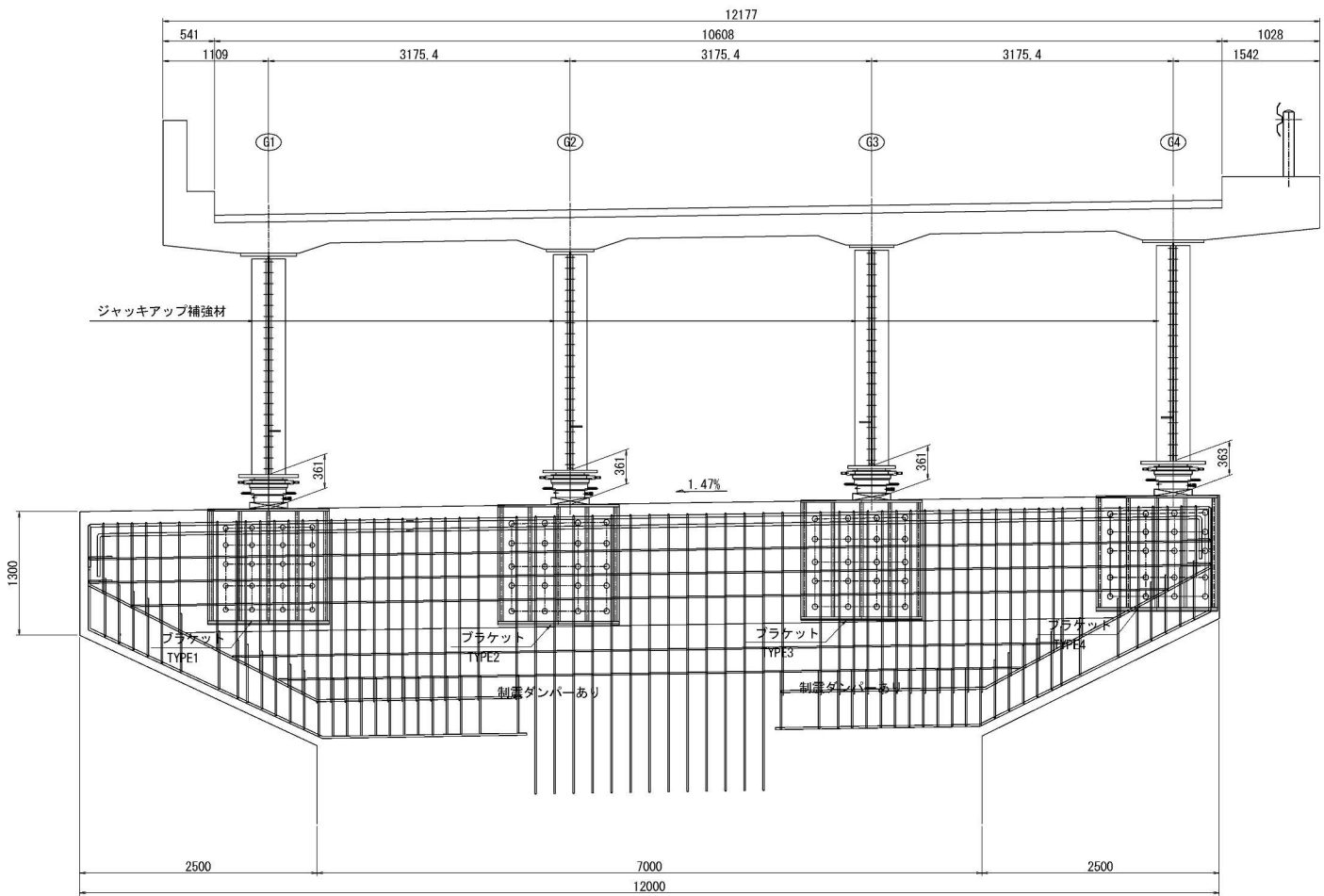


注記)
1. 鉄筋探索後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

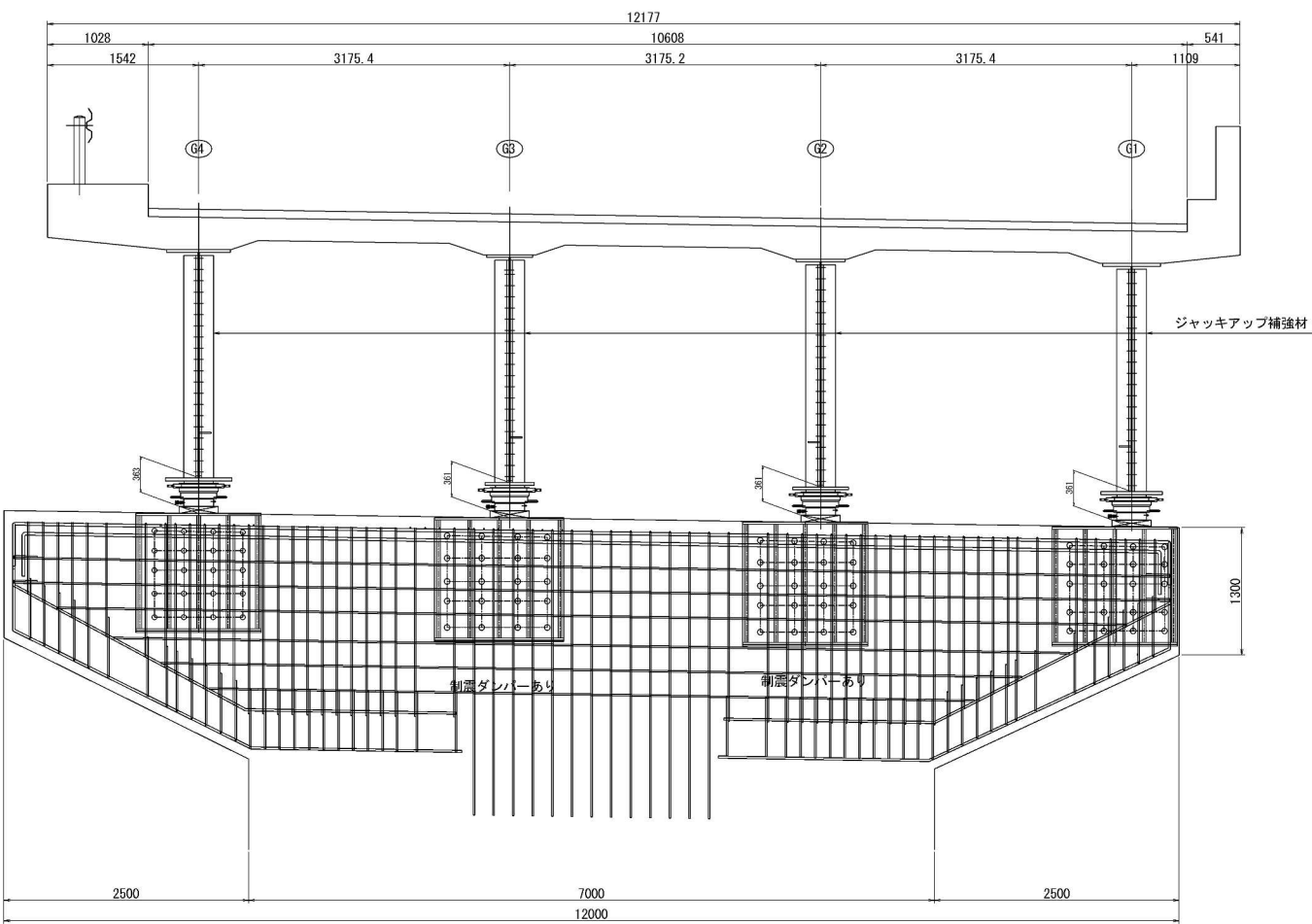
八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 B P・A-4
支承改良工配置図

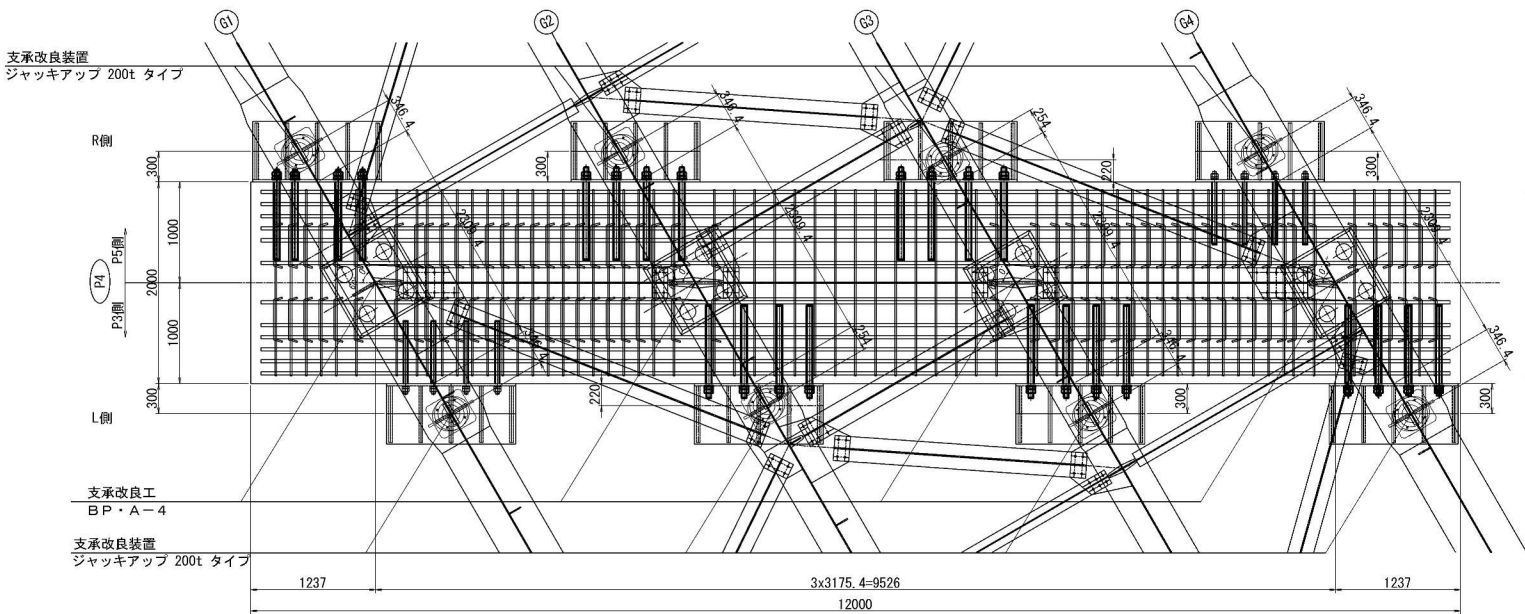
正面図
P3側



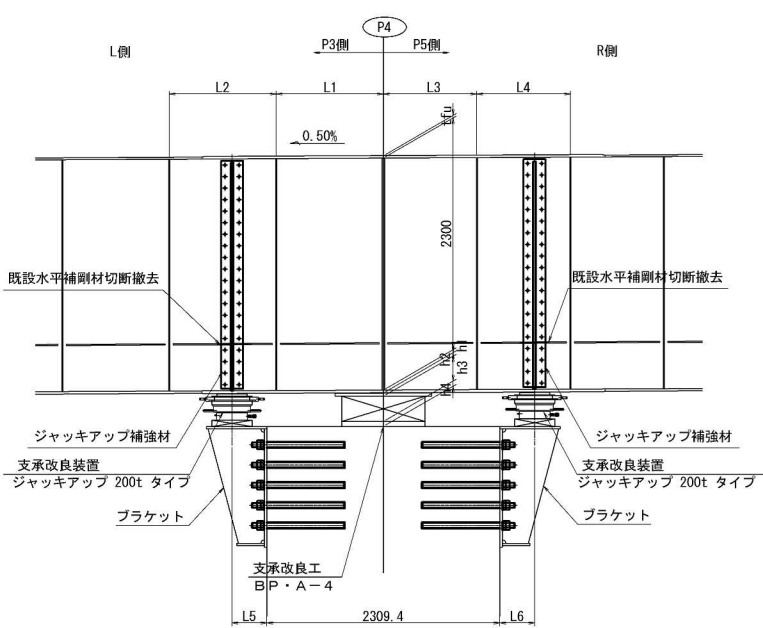
正面図
P5側



平面図



側面図



	L1	L2	L3	L4	L5	L6	tfu	h1	h2	h3	h4
G1	1325	1325	537	1290.75	346.4	346.4	28	32	34	265	30
G2	928	928	1062.5	1062.5	254	346.4	25	28	34	250	49
G3	1062.5	1062.5	928	928	346.4	254	25	28	34	250	49
G4	537	1350	1325	1325	346.4	346.4	30	34	34	265	30

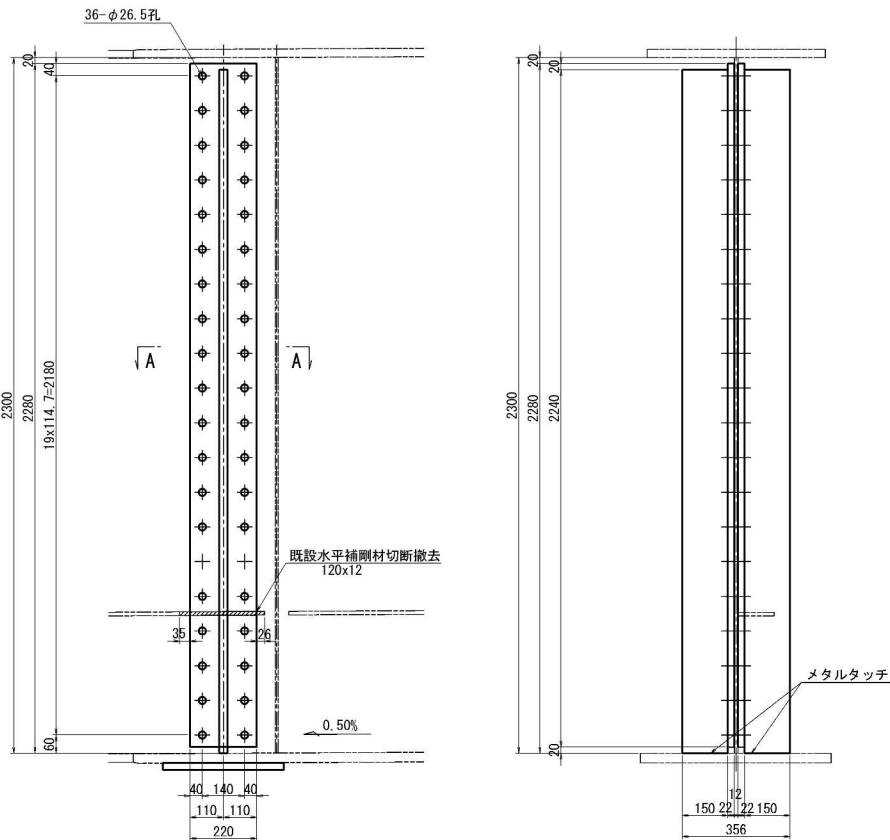
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下着撤去	SC46	箇所	4.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	4.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	4.0	撤去重量24kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	4.0	
アンカーボルト	SD345 D41 L=720mm	本	40.0	M39用1種N.W付
	SD345 D51 L=890mm	本	40.0	M48用1種N.W付
	SD345 D51 L=915mm	本	80.0	M48用1種N.W付
アンカー工	φ51 L=625mm	本	40.0	水平方向
	φ61 L=775mm	本	120.0	水平方向
鋼製プレート	図示	t	9.202	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	2.568	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.272	
現場孔明工	φ26.5	箇所	320.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x95(S10T)	本	320.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その13)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

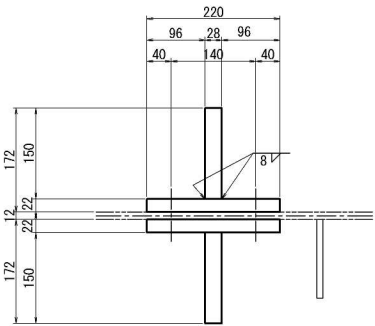
下り線 B P・A-4
ジャッキアップ補強材

P3側-G1

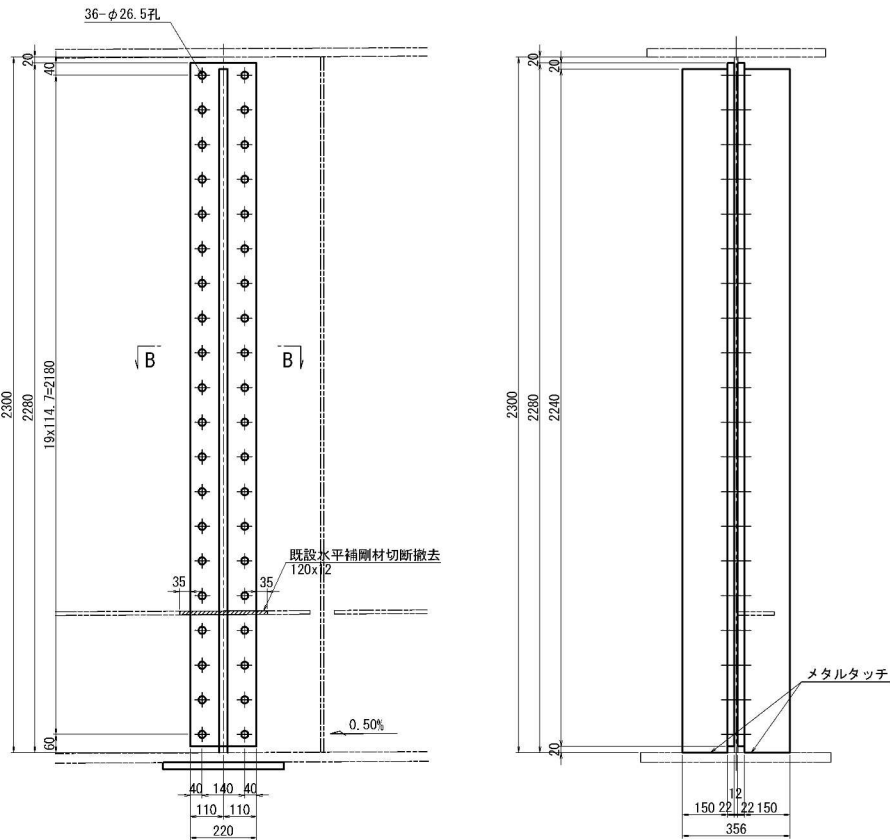


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x281 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

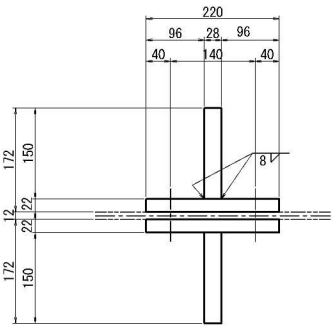


P5側-G1

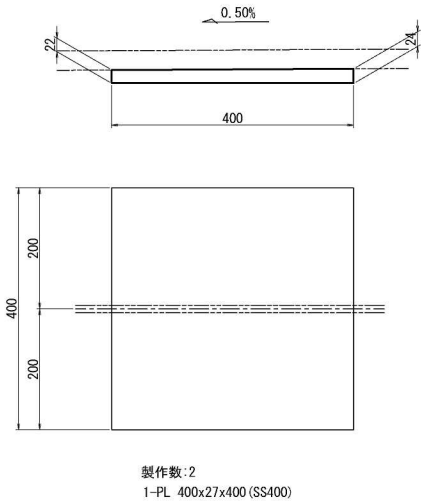


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

B - B S=1:12.5

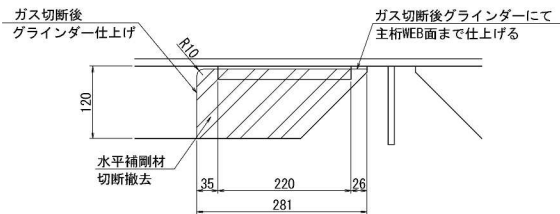


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5

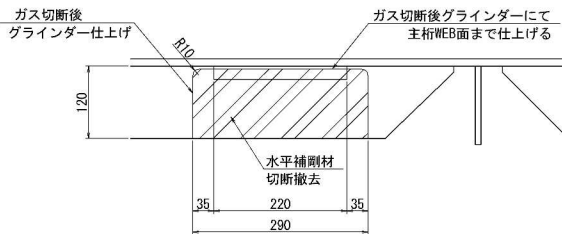


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P3側-G1



P5側-G1

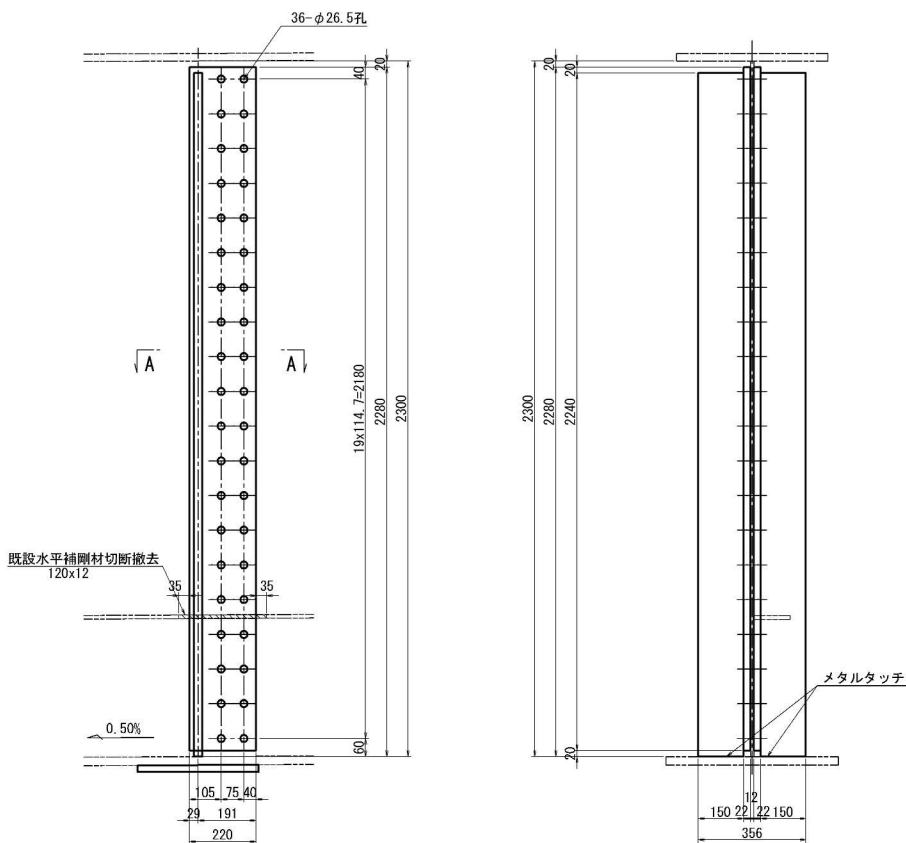


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

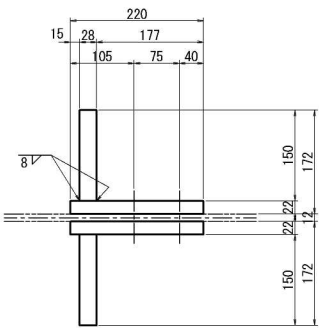
下り線 B P・A-4
ジャッキアップ補強材

P3側-G2

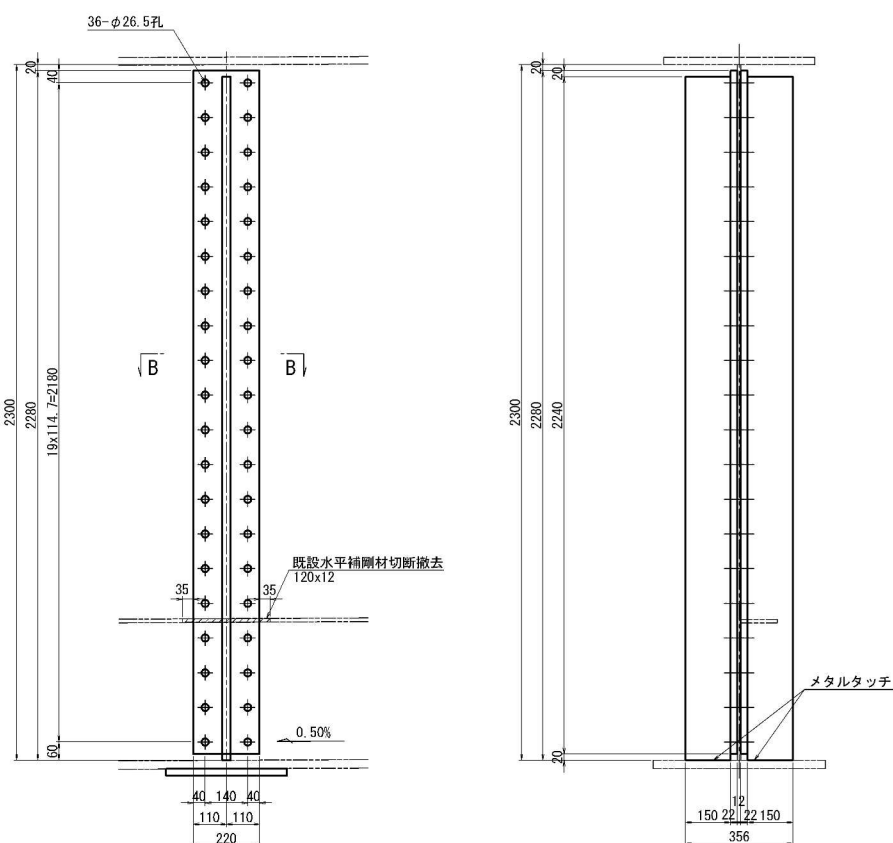


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

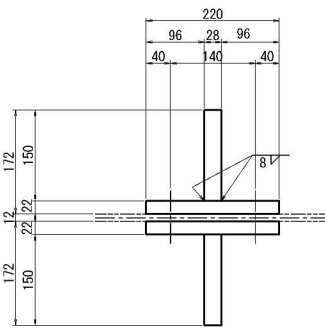


P5側-G2

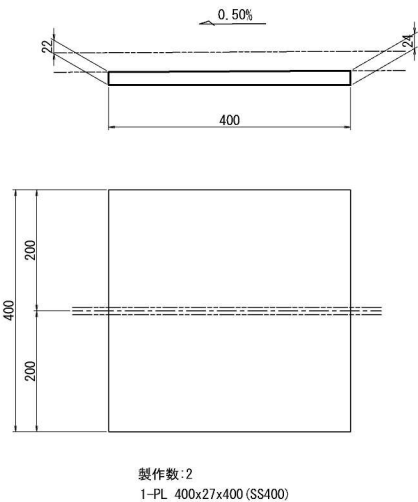


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

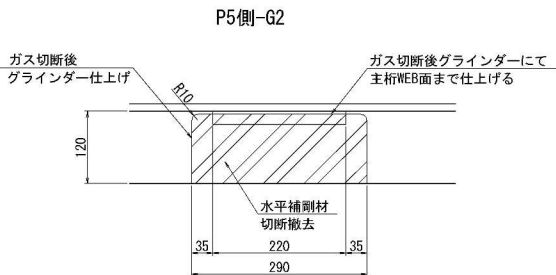
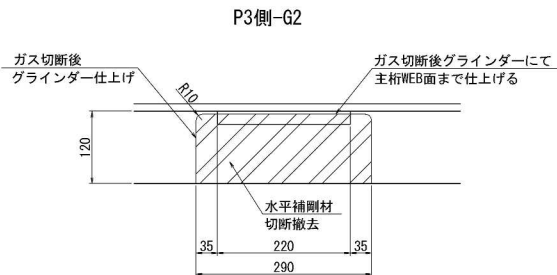
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

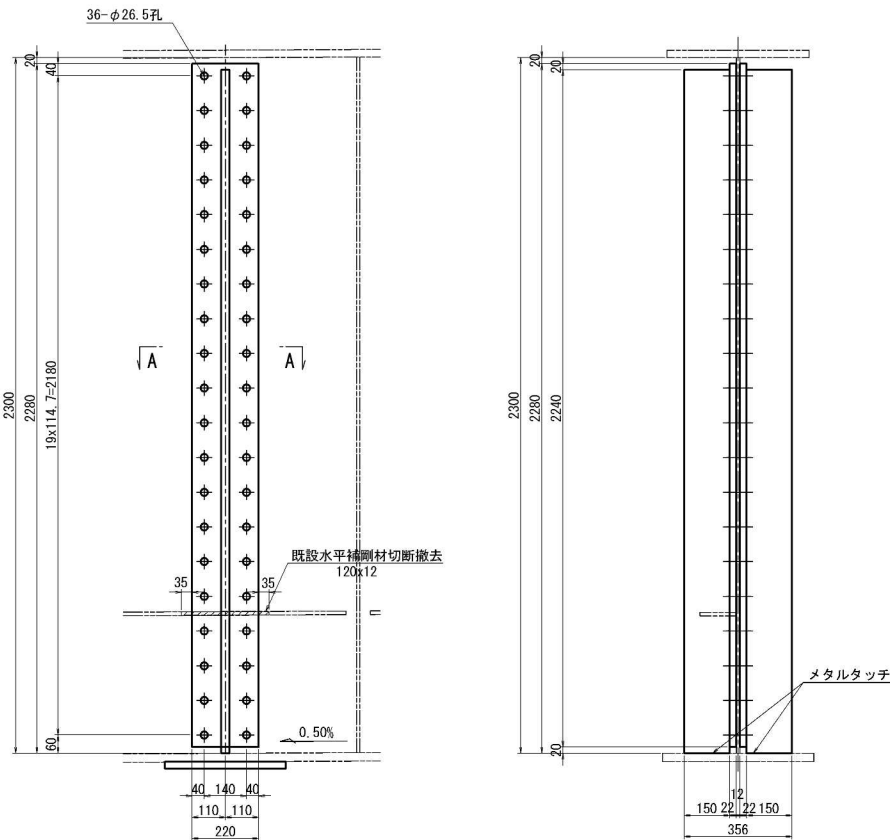


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

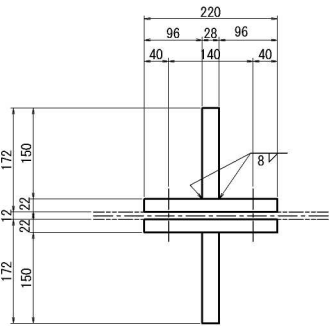
下り線 B P・A-4
ジャッキアップ補強材

P3側-G3

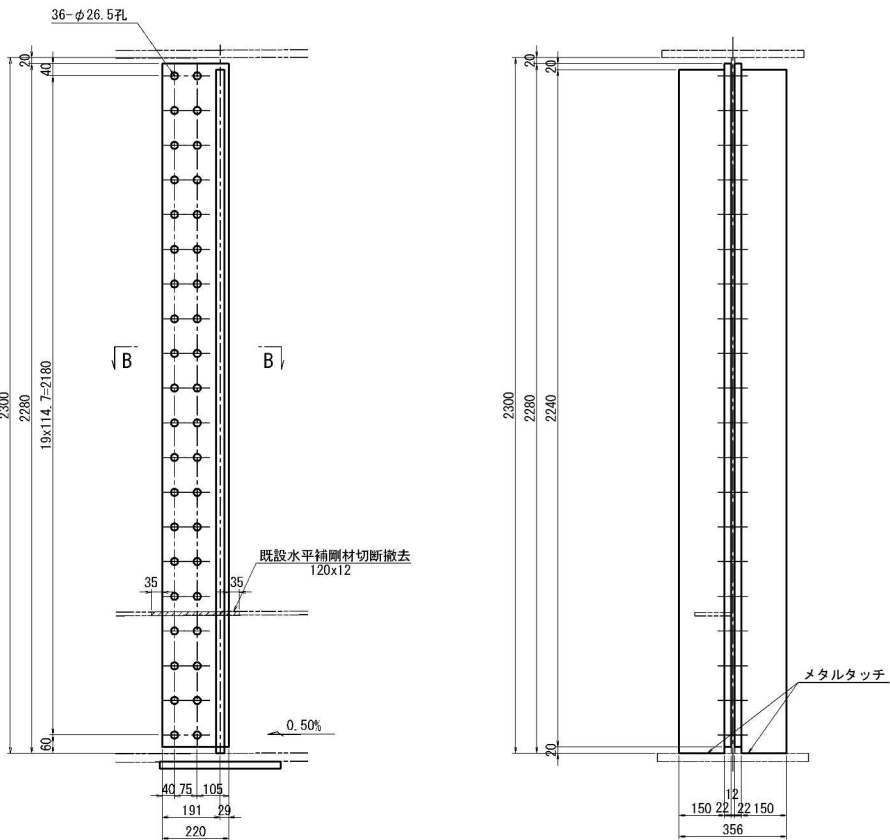


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

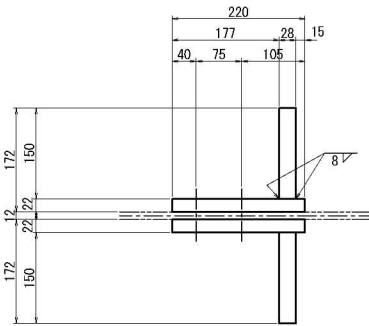


P5側-G3

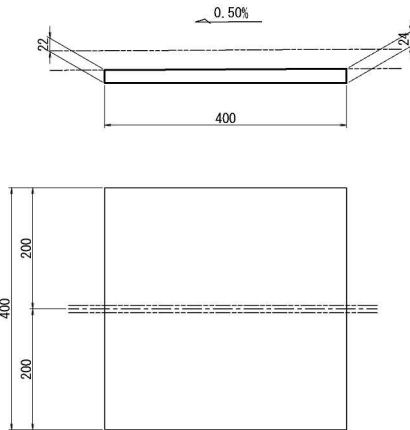


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

B - B S=1:12.5

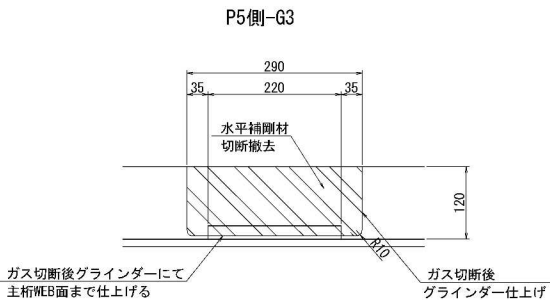
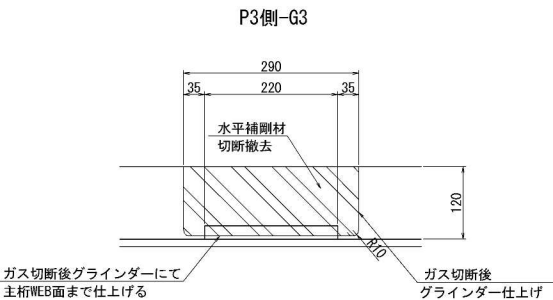


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

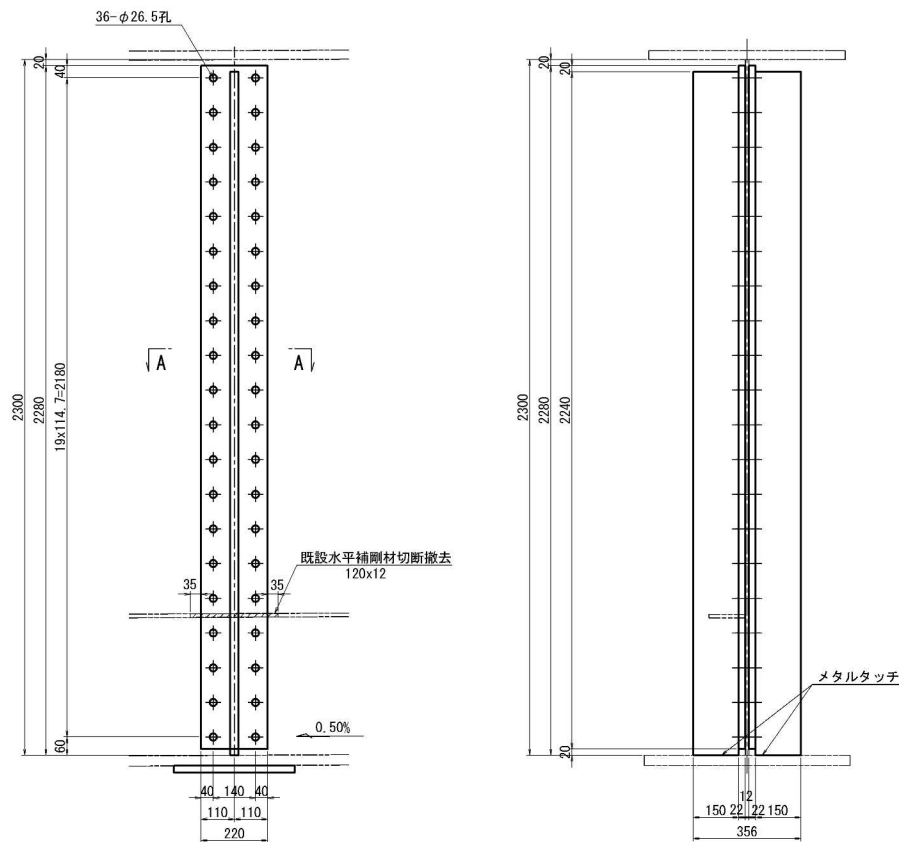


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その16)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

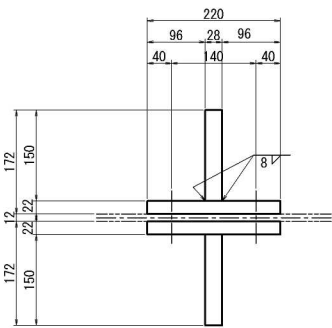
下り線 B P・A-4
ジャッキアップ補強材

P3側-G4

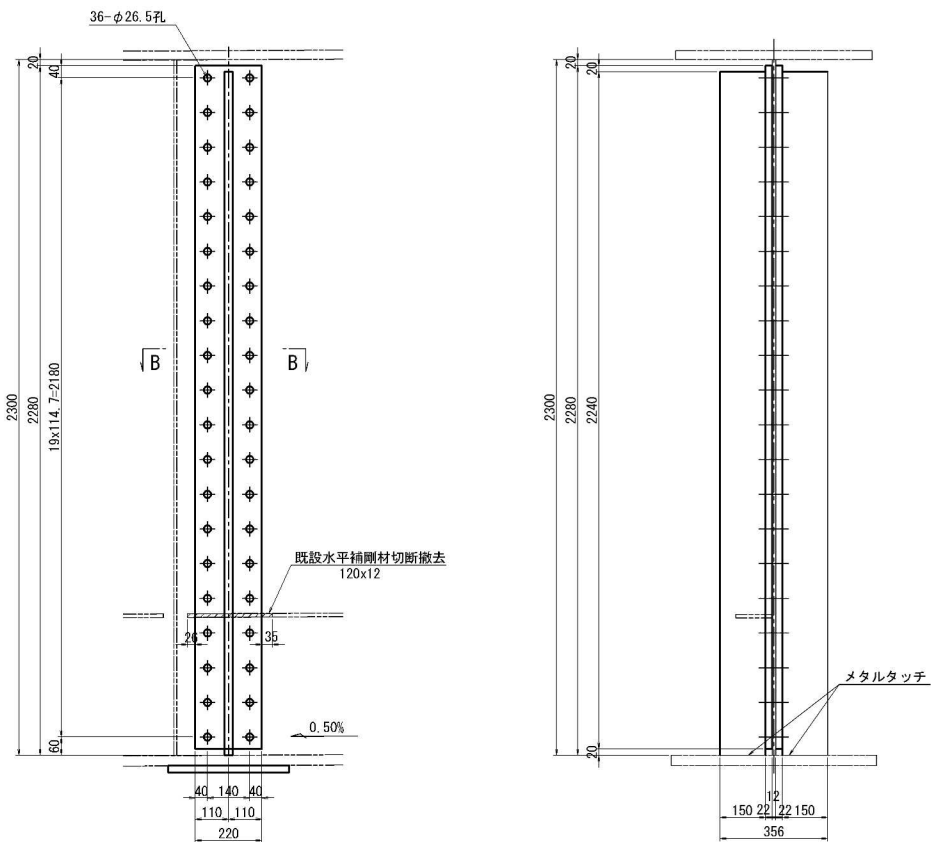


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

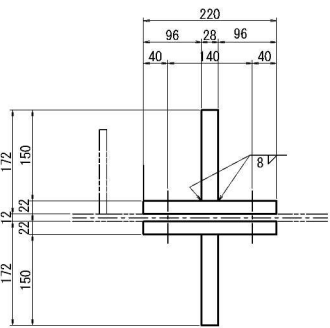


P5側-G4

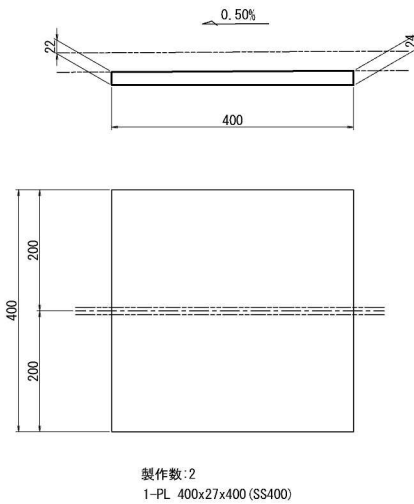


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x281 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

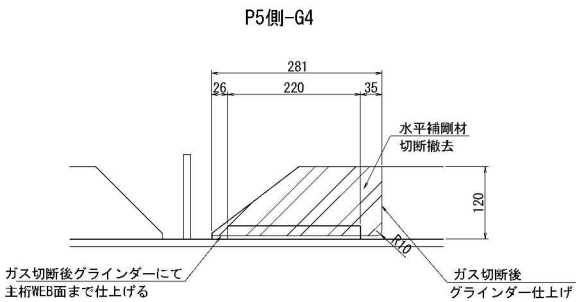
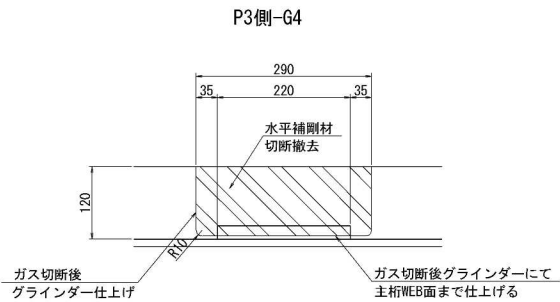
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



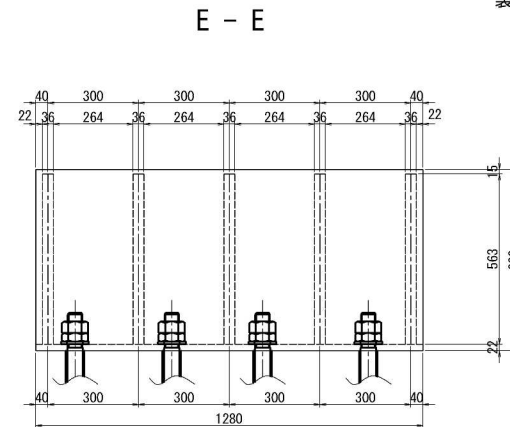
水平補剛材切断詳細 S=1:12.5



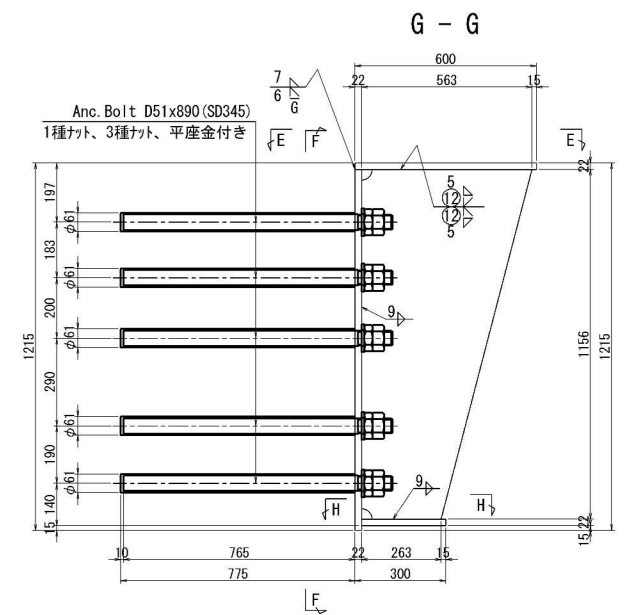
注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その17)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

TYPE1-P5側-G1
製作数：1箇所



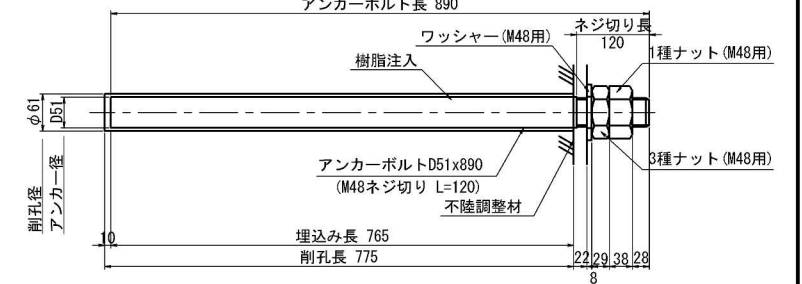
＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5-RIB PL 563x36x1156(SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D51×890(SD345)
 20-ナット・ワッシャーM48用(SS400)＜1種,3種＞



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE1-P5側-G1
製作数:20

アンカーボルト長 890



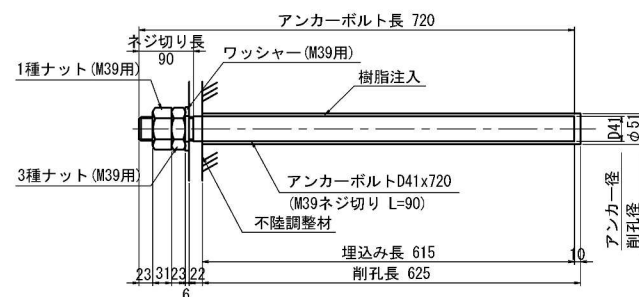
注記)

1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE1-P3側-G1
製作数:20

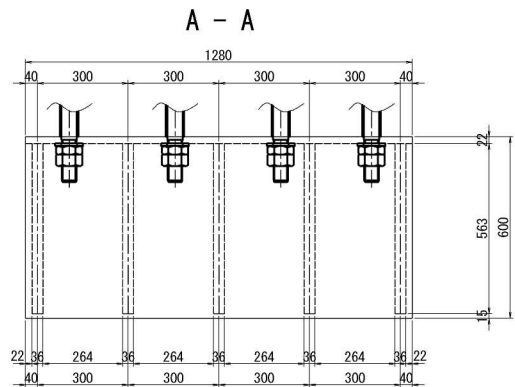
製作数:20



八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	P4構架支承改良工図(その18)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

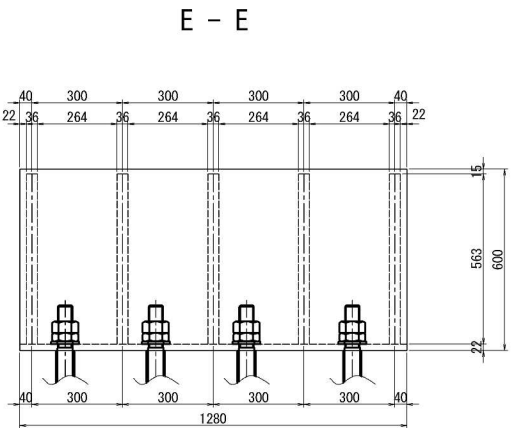
下り線 B P・A-4
脚付ブラケット

TYPE2-P3側-G2
製作数: 1箇所

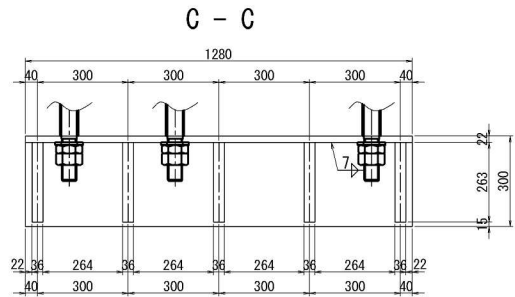
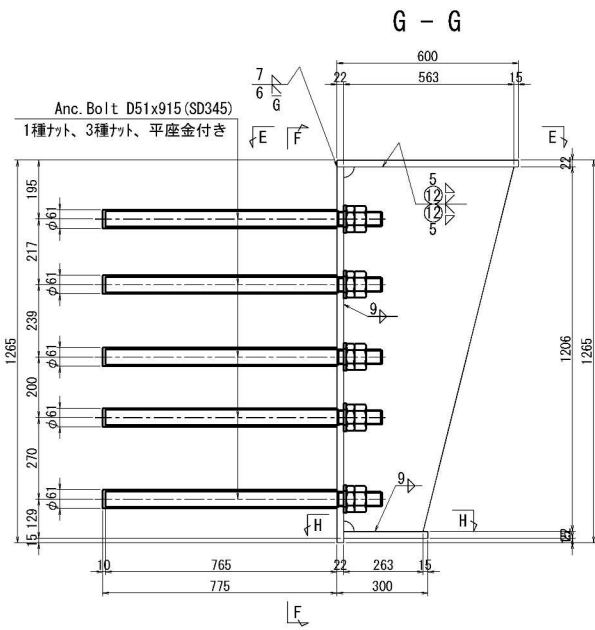
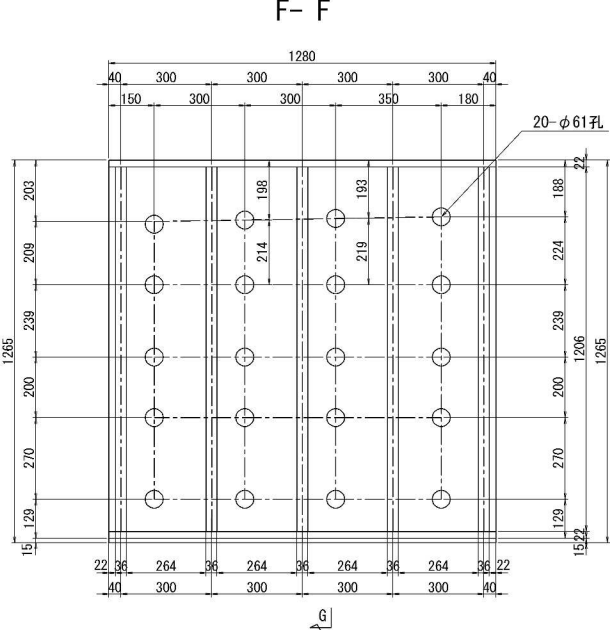
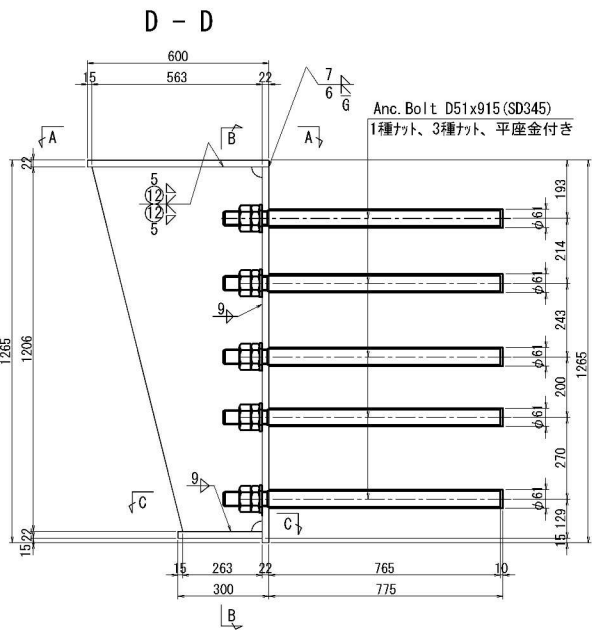
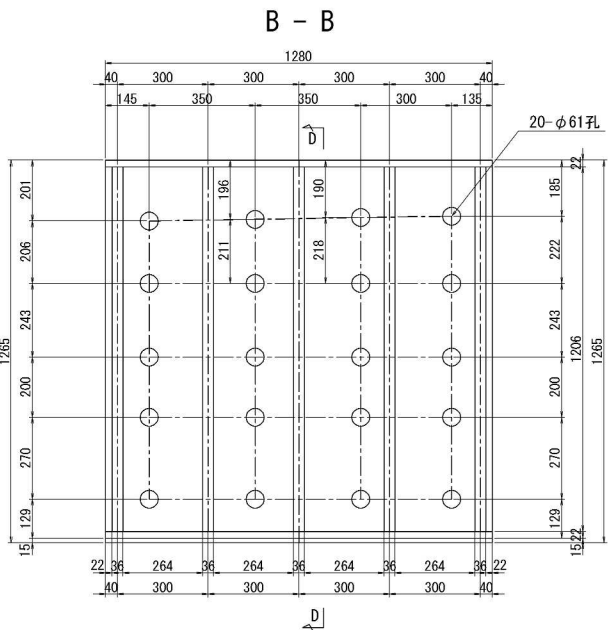


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1206 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1243
20-アンカーボルト D51x915 (SD345)
20-ナット・ワッシャー-M48用 (SS400) <1種, 3種>

TYPE2-P5側-G2
製作数: 1箇所

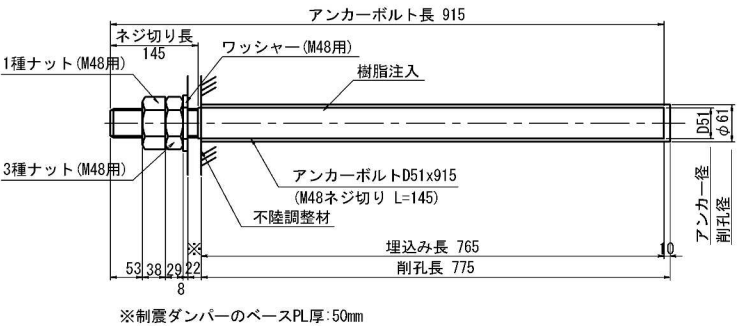


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1206 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1243
20-アンカーボルト D51x915 (SD345)
20-ナット・ワッシャー-M48用 (SS400) <1種, 3種>

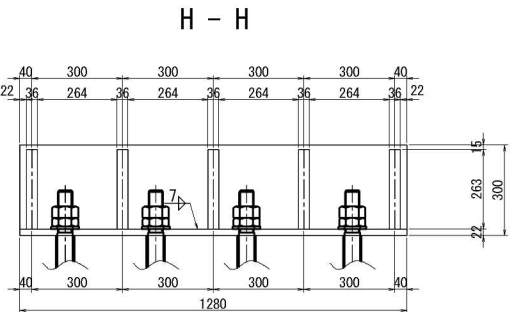


アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE2-P3側-G2, P5側-G2
製作数: 各20



※制震ダンパーのベースPL厚: 50mm

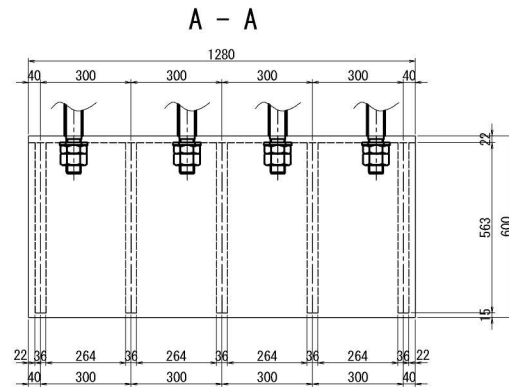


注記)
1. 鉄筋調査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P4橋脚支承改良工図(その19)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

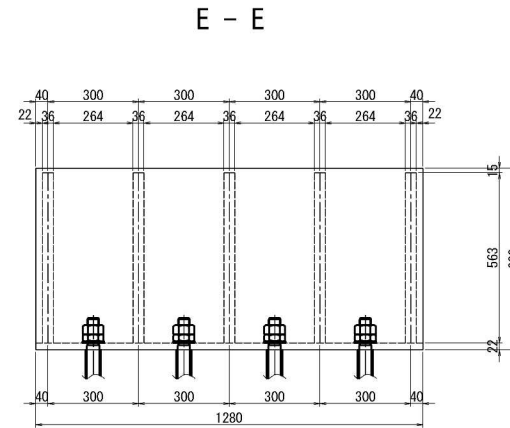
下り線 BP・A-4
脚付ブラケット

TYPE4-P3側-G4
製作数: 1箇所

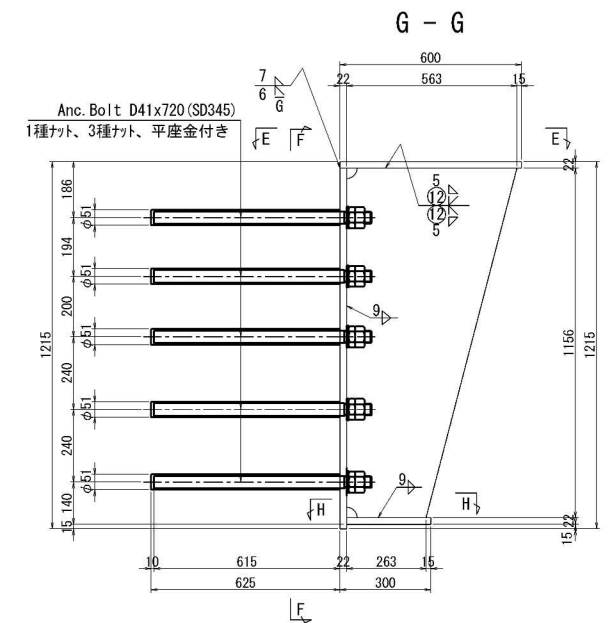
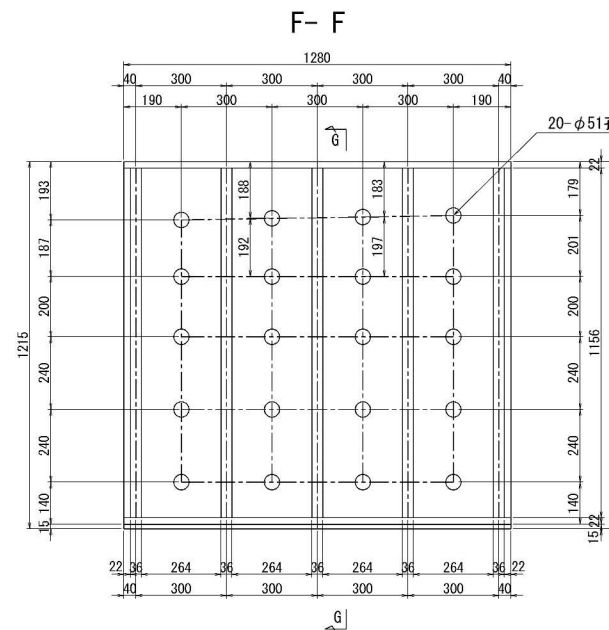
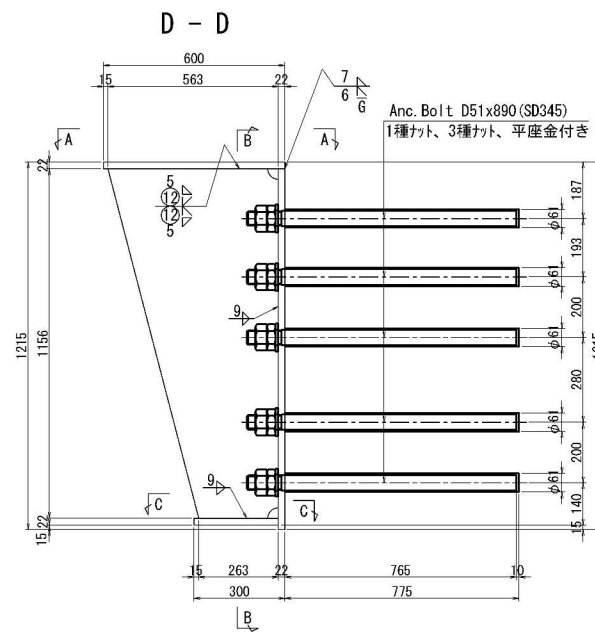
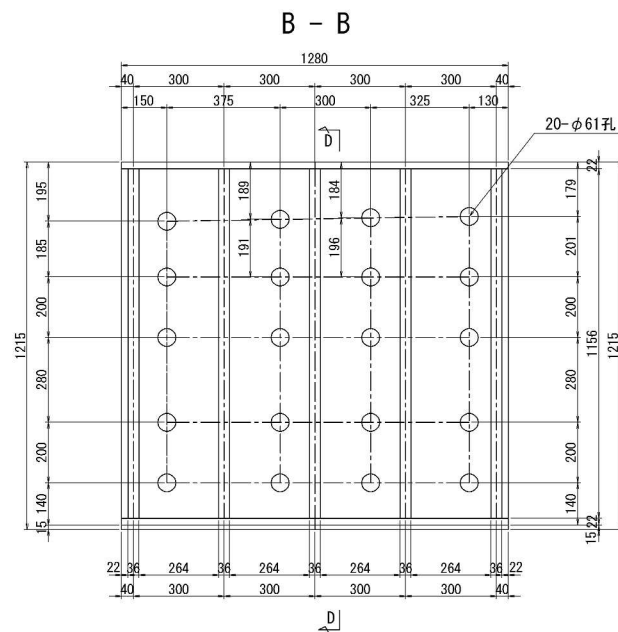


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D51×890 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー M48用 (SS400)＜1種、3種＞

TYPE4-P5側-G4
製作数：1箇所

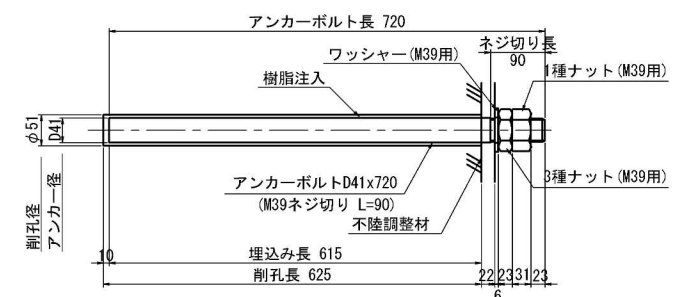


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D41×720 (SD345)
 20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) 1種, 3種＞



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE4-P5側-G4
製作数:20

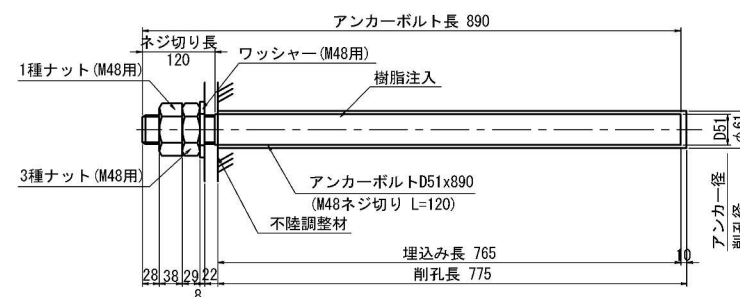


注記)

1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

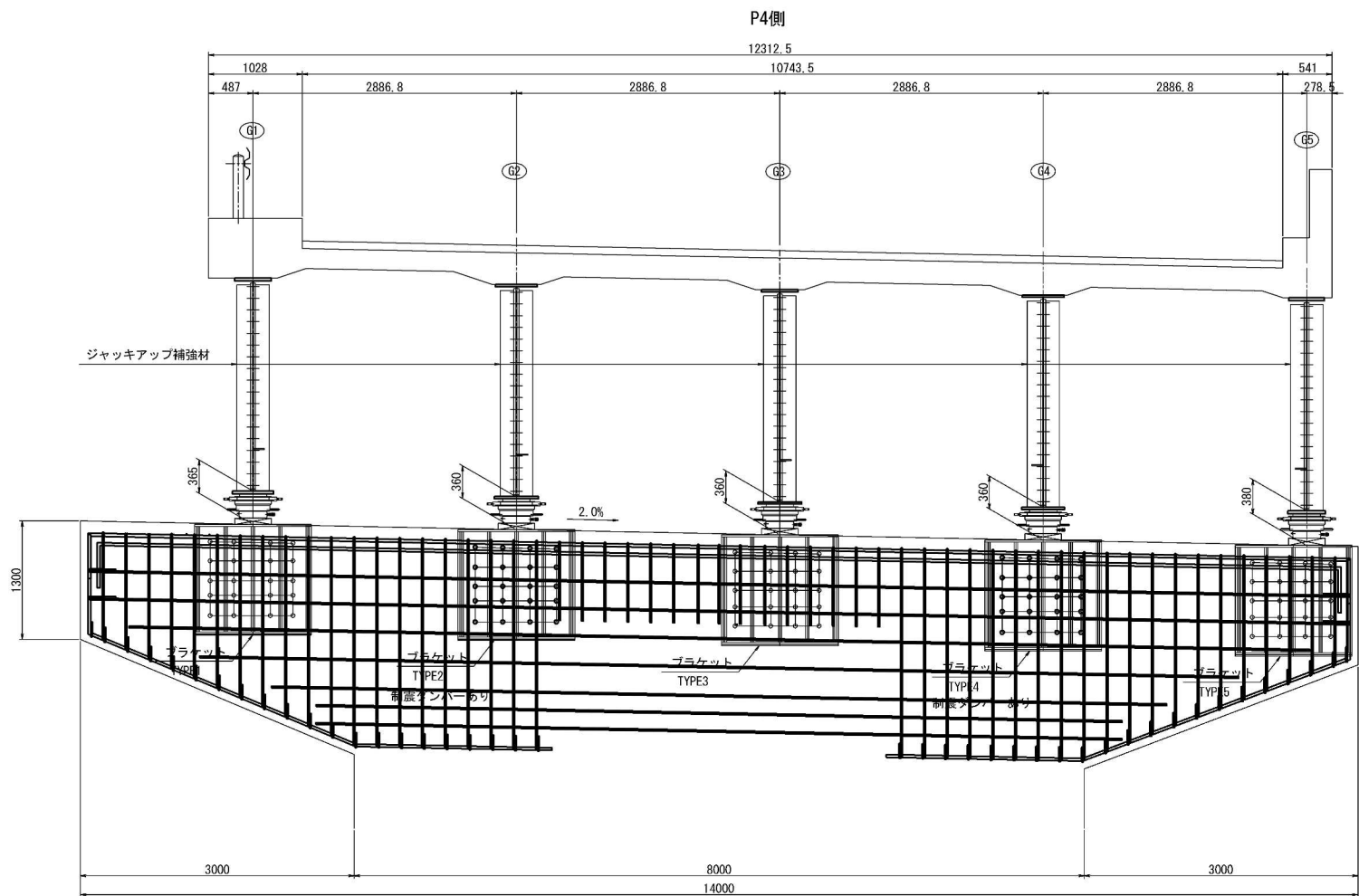
TYPE4-P3側-G4
製作数:20



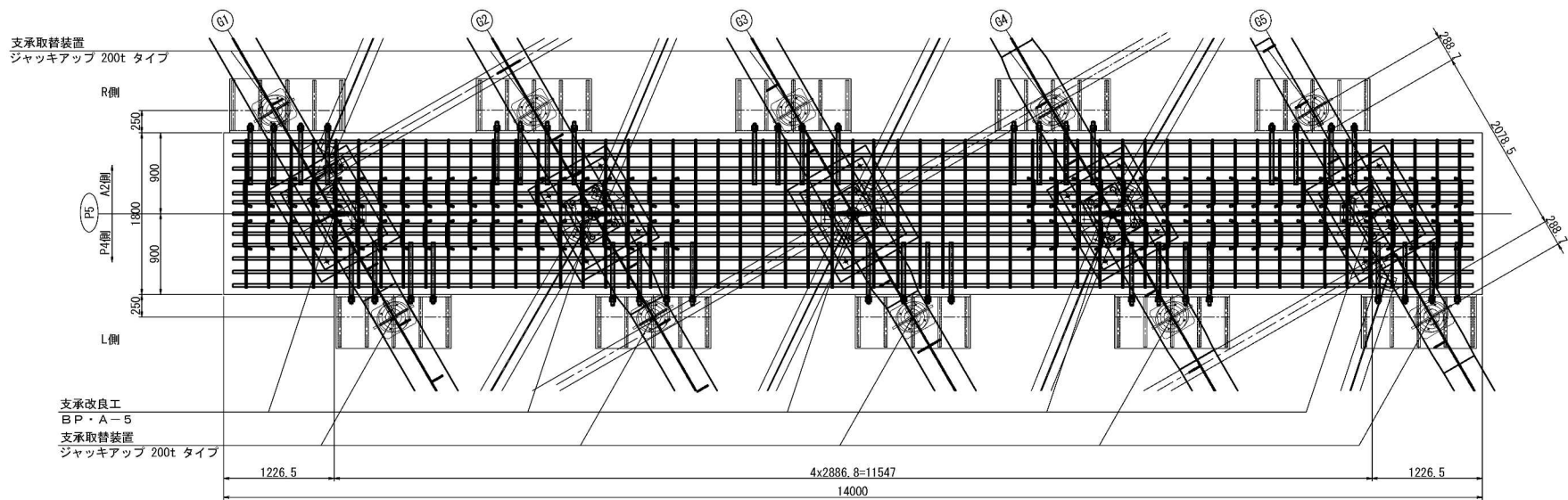
八戸自動車道 楢引川瀬川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	P4橋脚支承改良工図(その21)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-5
支承改良工配置図

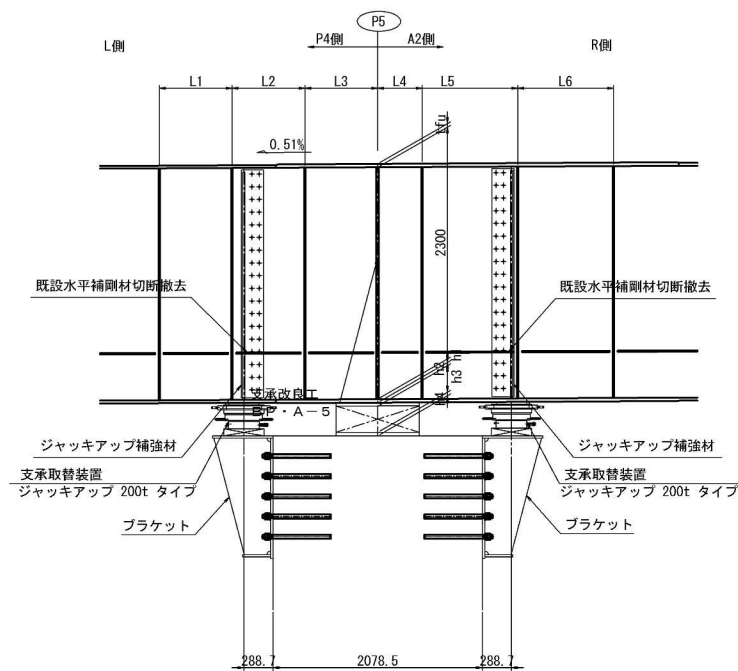
正面図



平面図



側面図



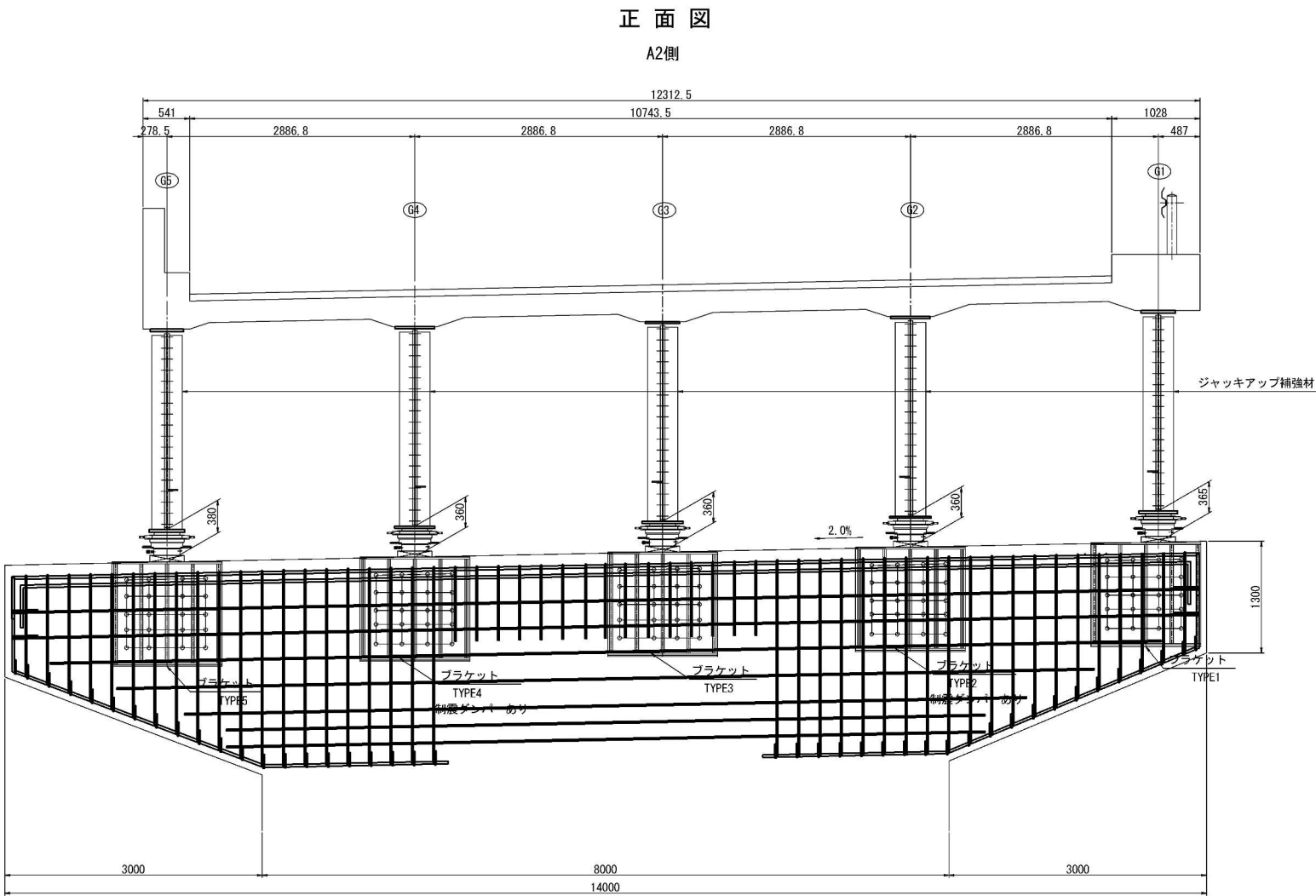
	L1	L2	L3	L4	L5	L6
G1	721.7	721.7	721.7	441	950	950
G2	850	721.7	721.7	467.6	467.6	950
G3	850	850	850	832.1	832.1	832.1
G4	1125	978	978	721.7	721.7	832.1
G5	1125	1125	513.8	721.7	721.7	721.7

	tfu	h1	h2	h3	h4
G1	34	34	35	235	61
G2	25	25	35	235	65
G3	25	25	35	235	65
G4	25	25	35	235	65
G5	32	36	40	235	69

単価表の項目		単位	数量	摘要
支承改良工	BP・A-5	箇所	5.0	
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下音撤去	SC46	箇所	5.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	5.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	4.1	撤去重量30kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	5.0	
アンカーボルト	SD345 D38 L=670mm	本	120.0	M36用1種N.W付
	SD345 D38 L=690mm	本	80.0	M36用1種N.W付
アンカー工	φ48 L=580mm	本	200.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	11.280	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	2.890	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.340	
現場孔明工	φ26.5	箇所	360.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x90(S10T)	本	360.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

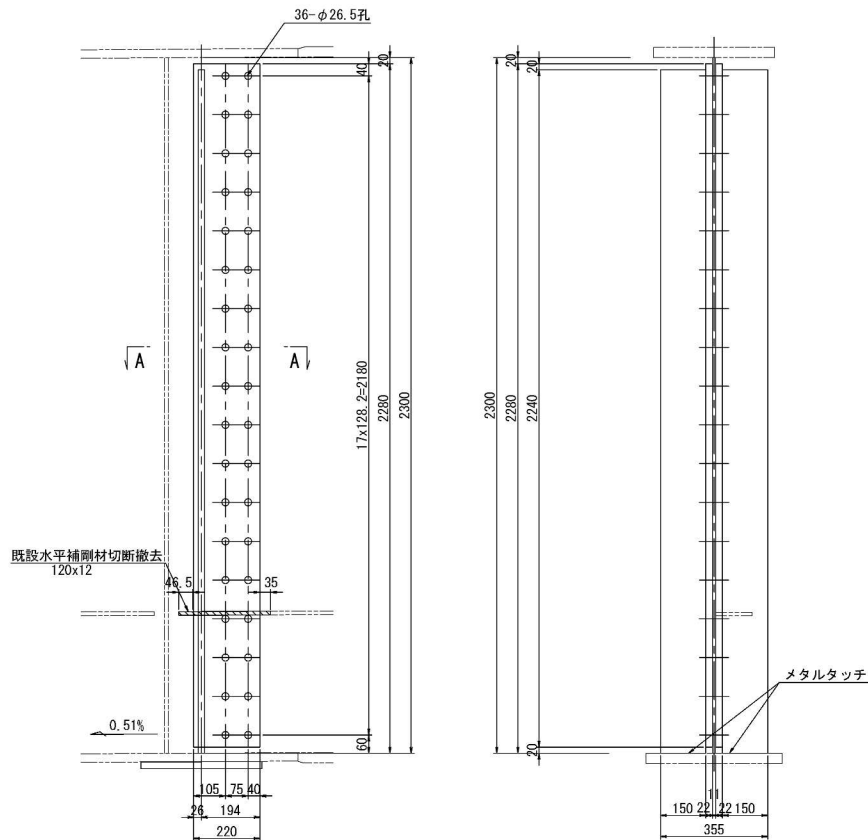


注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

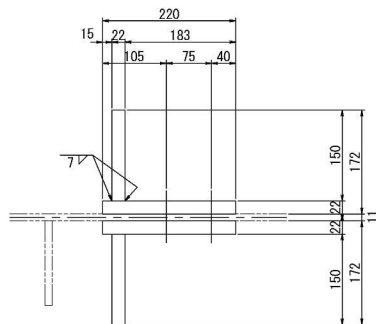
上り線 B P・A-5
ジャッキアップ補強材

P4側-G1

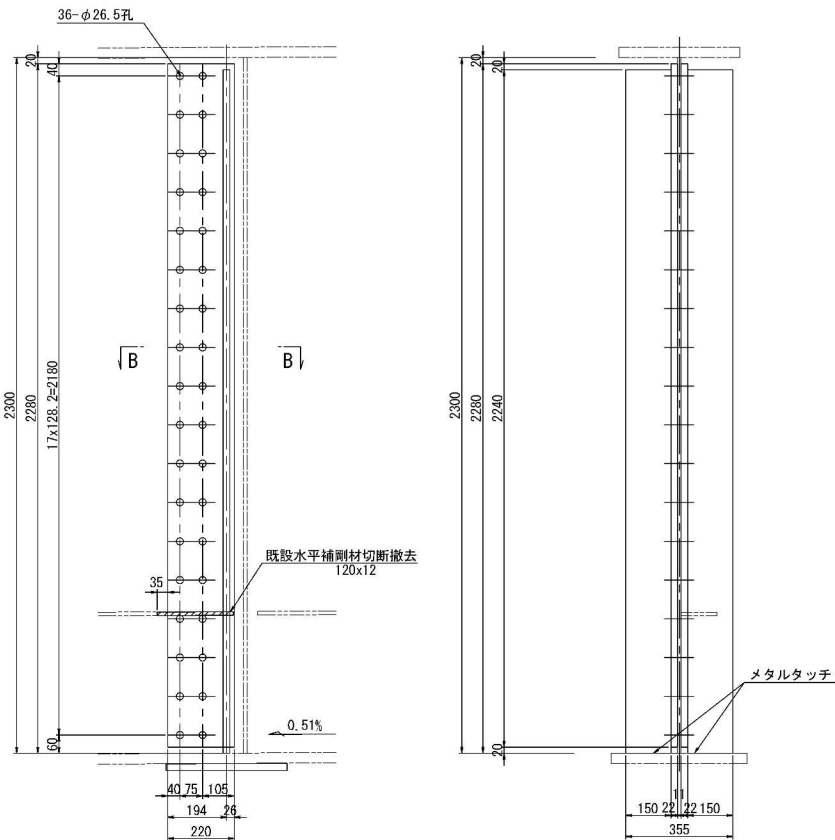


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x305 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260 36-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

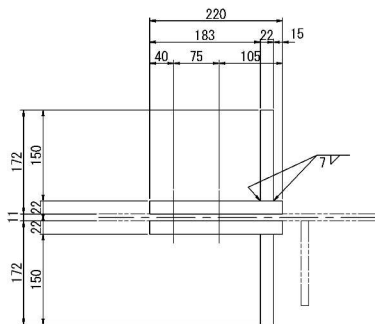


A2側-G1

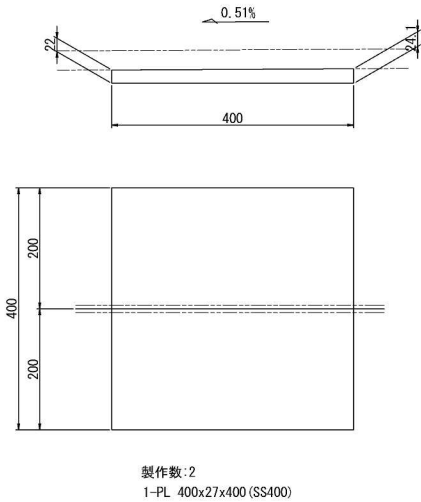


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x262 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260 36-TCB M22x90 (S10T)

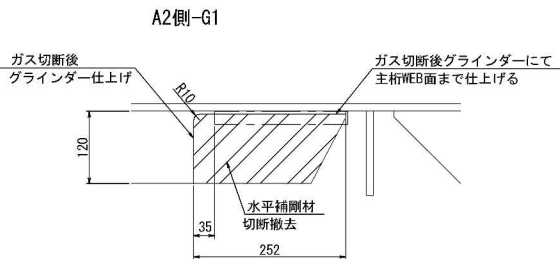
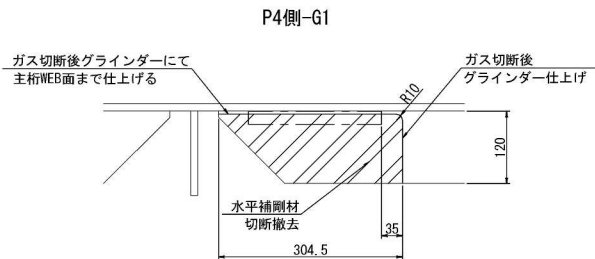
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

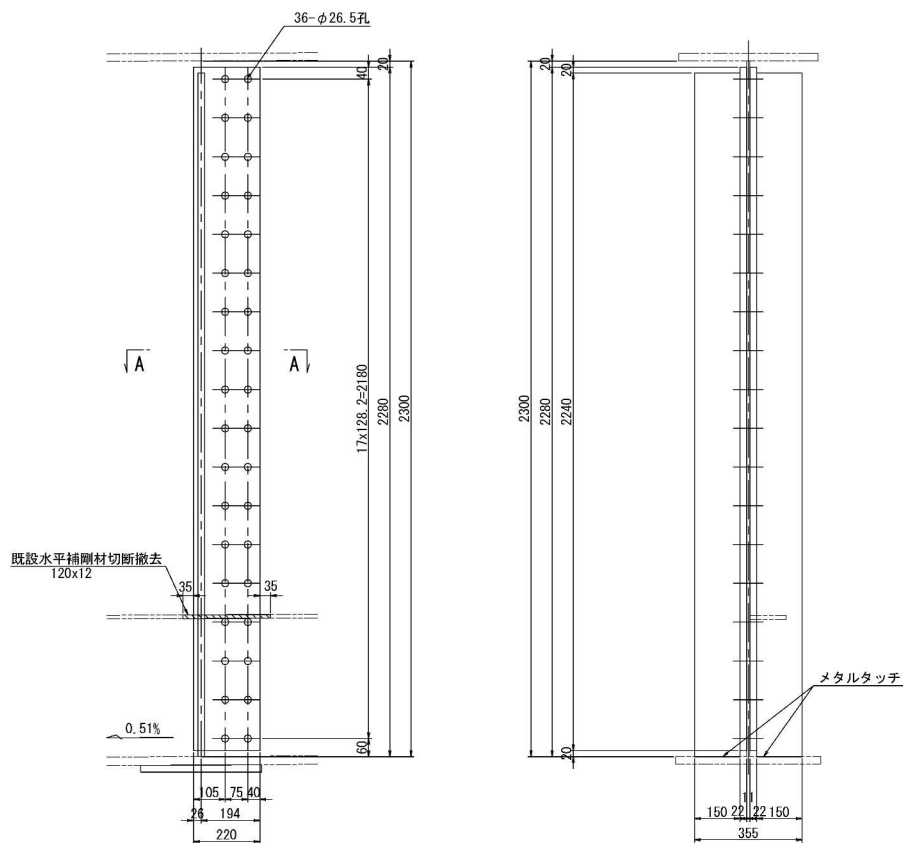


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

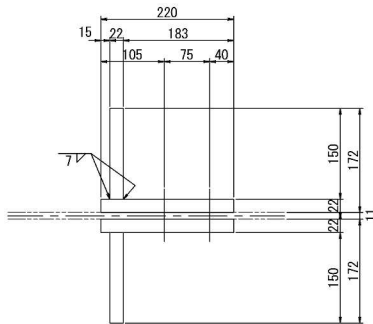
上り線 B P・A-5
ジャッキアップ補強材

P4側-G2

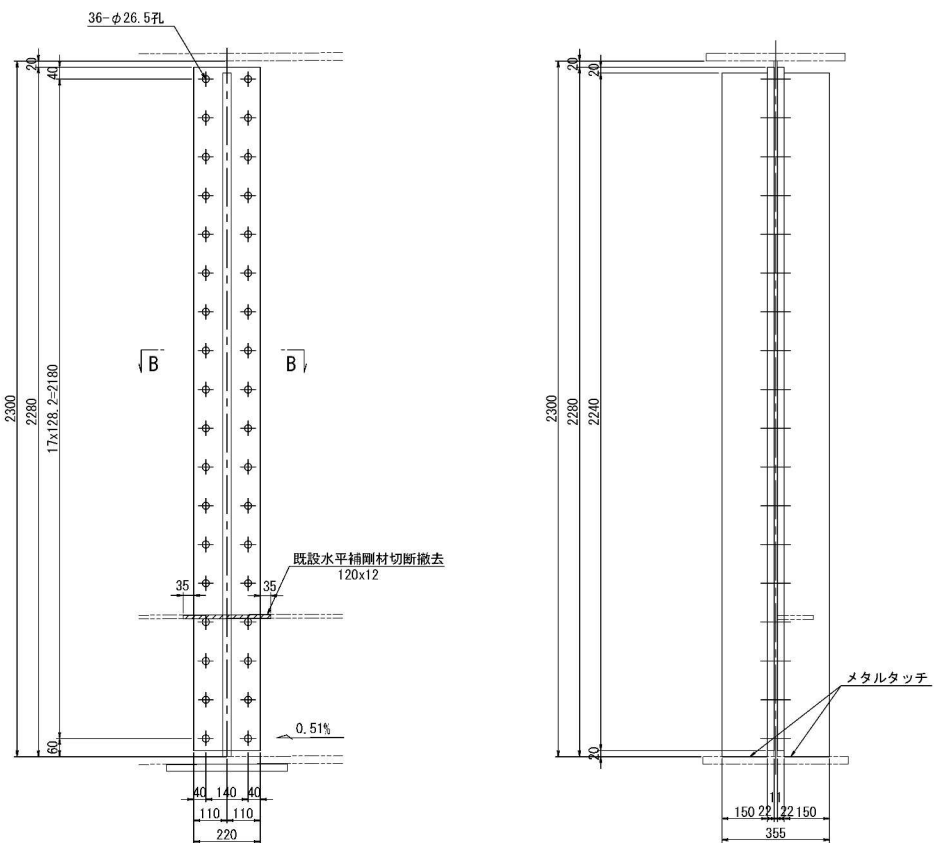


水平補剛材撤去材料:
1-PL 120x12x290
材料:(製作数:1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

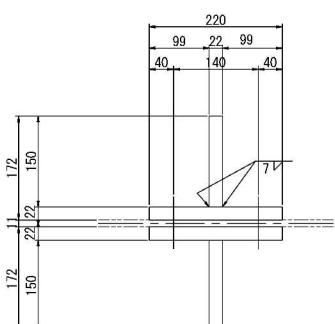


A2側-G2

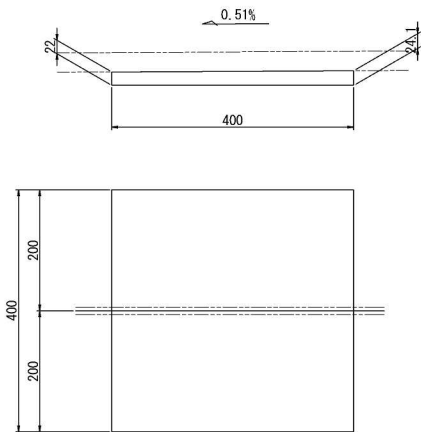


水平補剛材撤去材料:
1-PL 120x12x290
材料:(製作数:1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

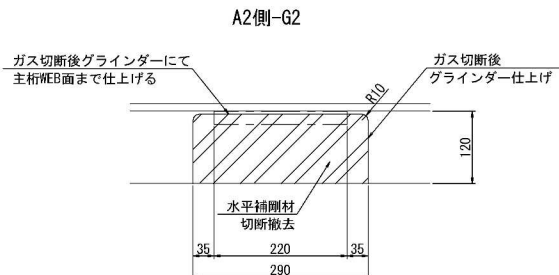
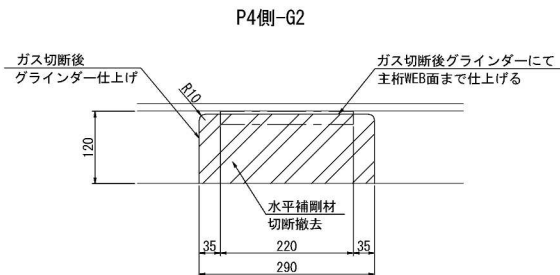


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

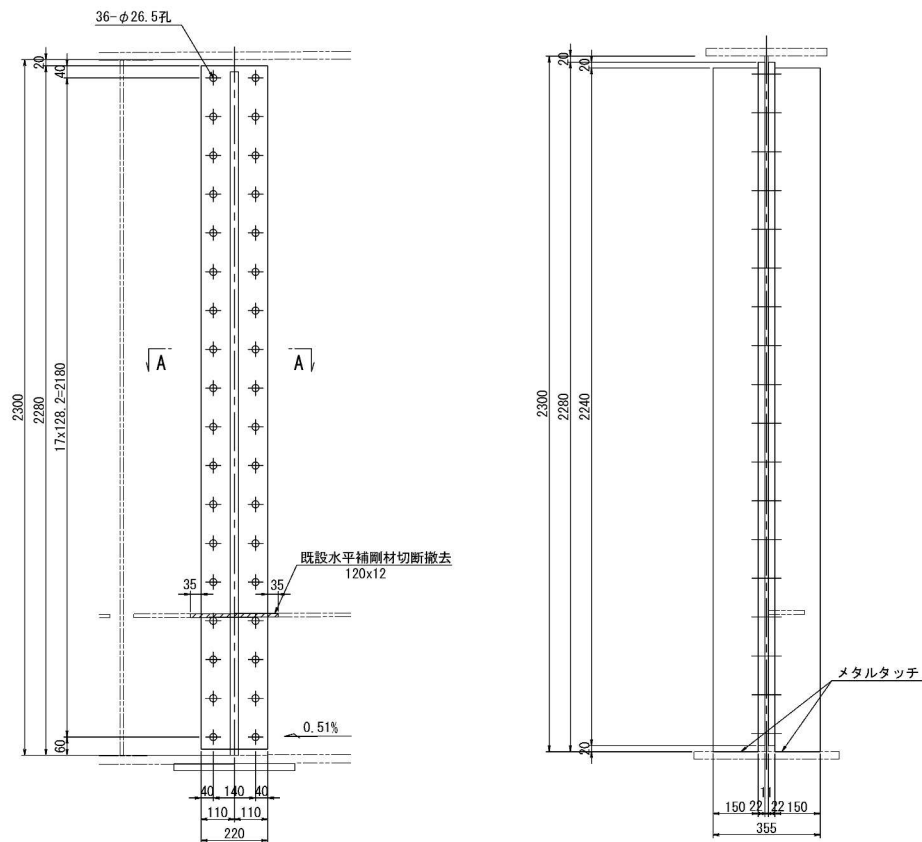


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

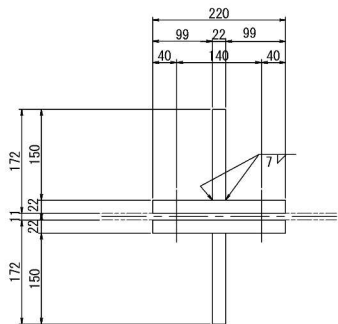
上り線 B P・A-5
ジャッキアップ補強材

P4側-G3

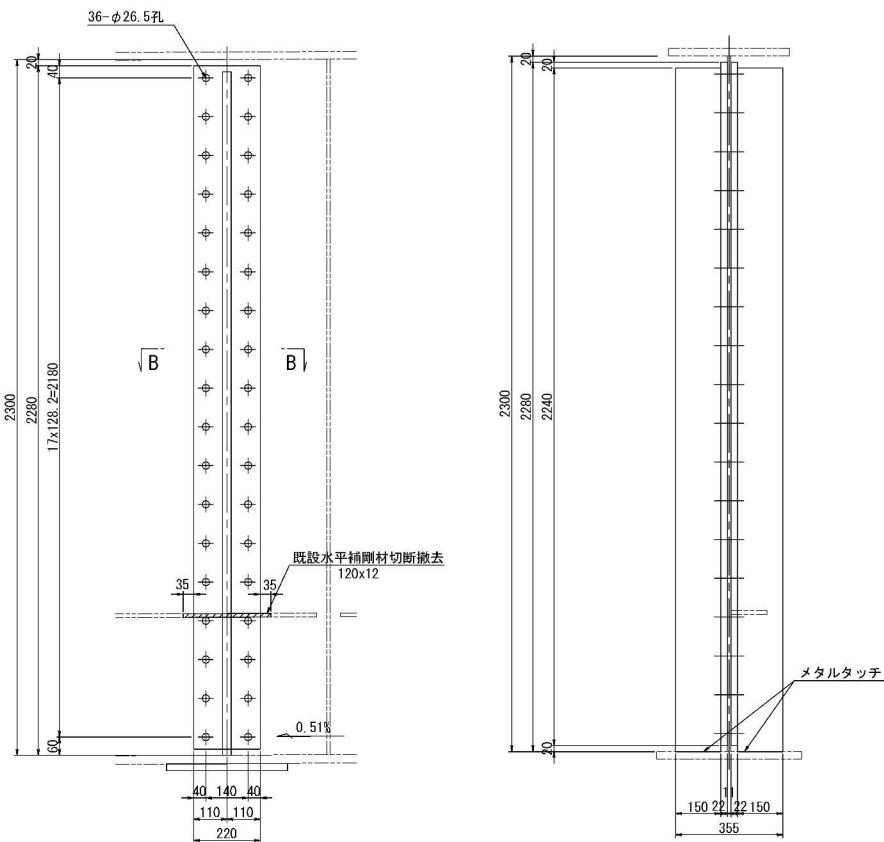


水平補剛材撤去材料 :
1-PL 120x12x290
材料 : (製作数 : 1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

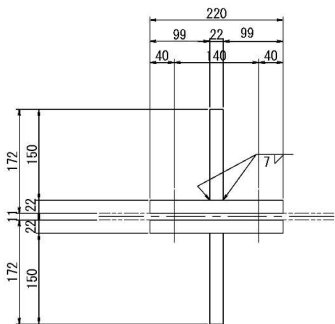


A2側-G3

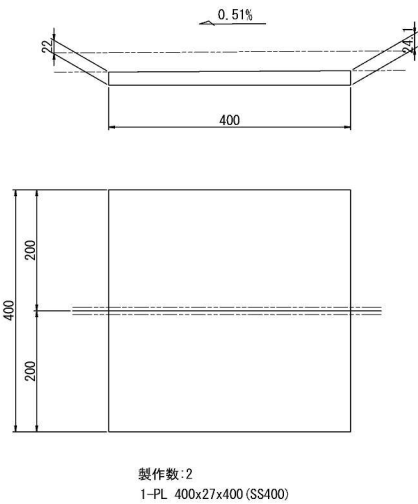


水平補剛材撤去材料 :
1-PL 120x12x290
材料 : (製作数 : 1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

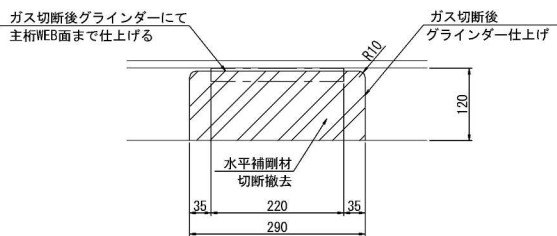


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5

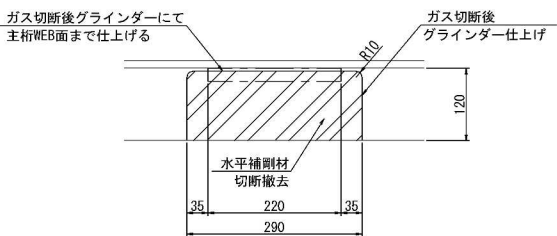


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P4側-G3



A2側-G3

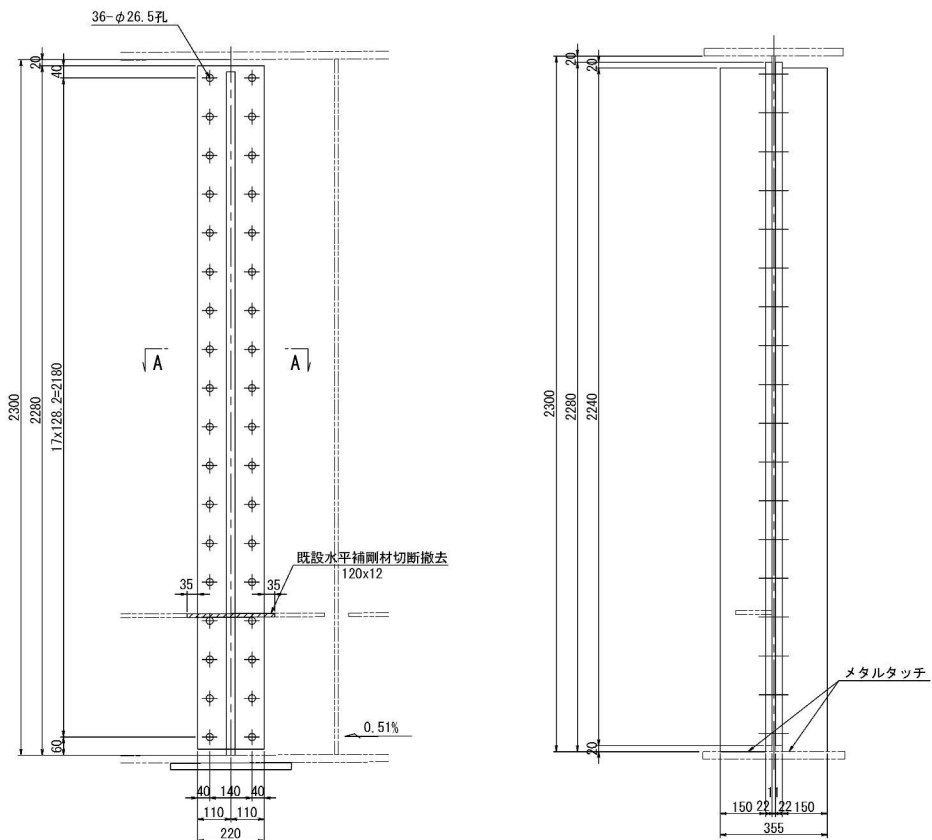


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-5
ジャッキアップ補強材

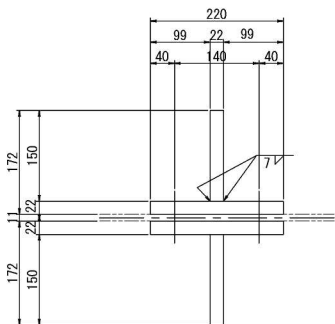
P4側-G4



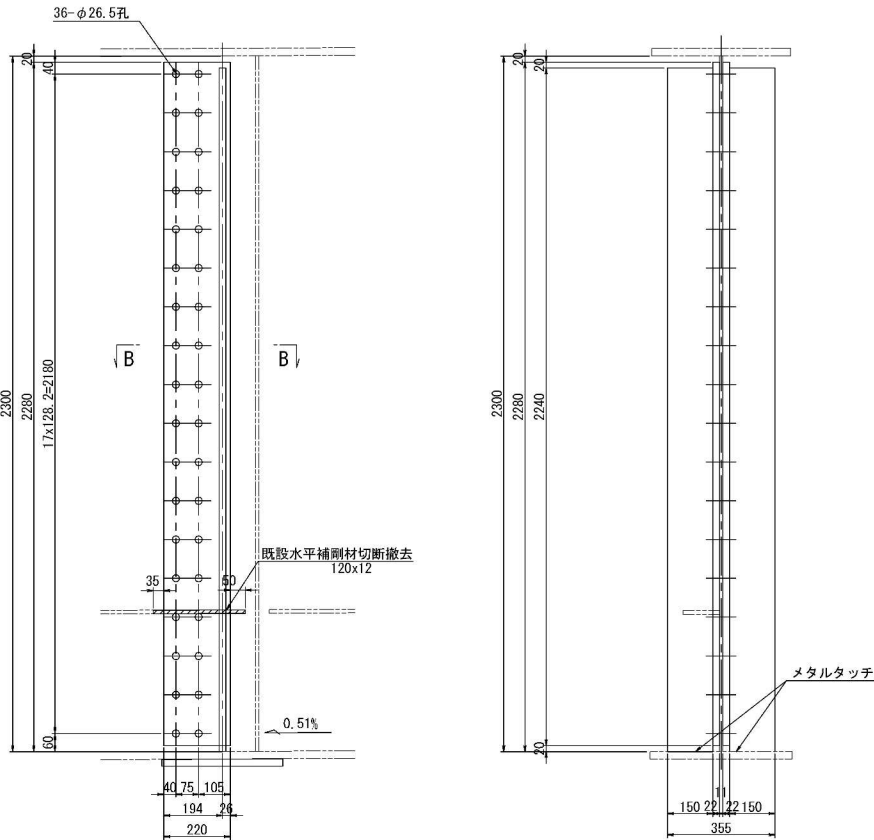
水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x290

材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5



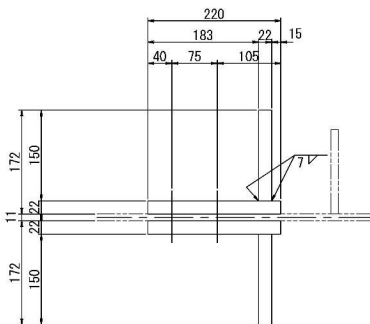
A2側-G4



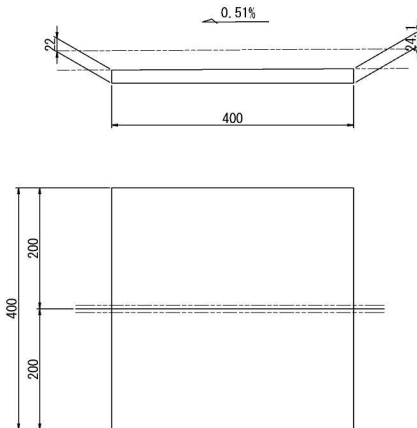
水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x305

材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

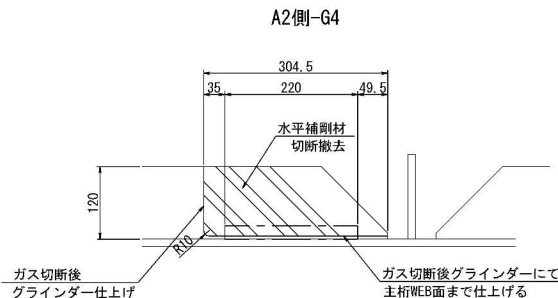
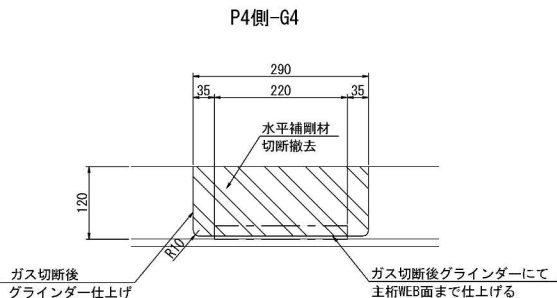


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5



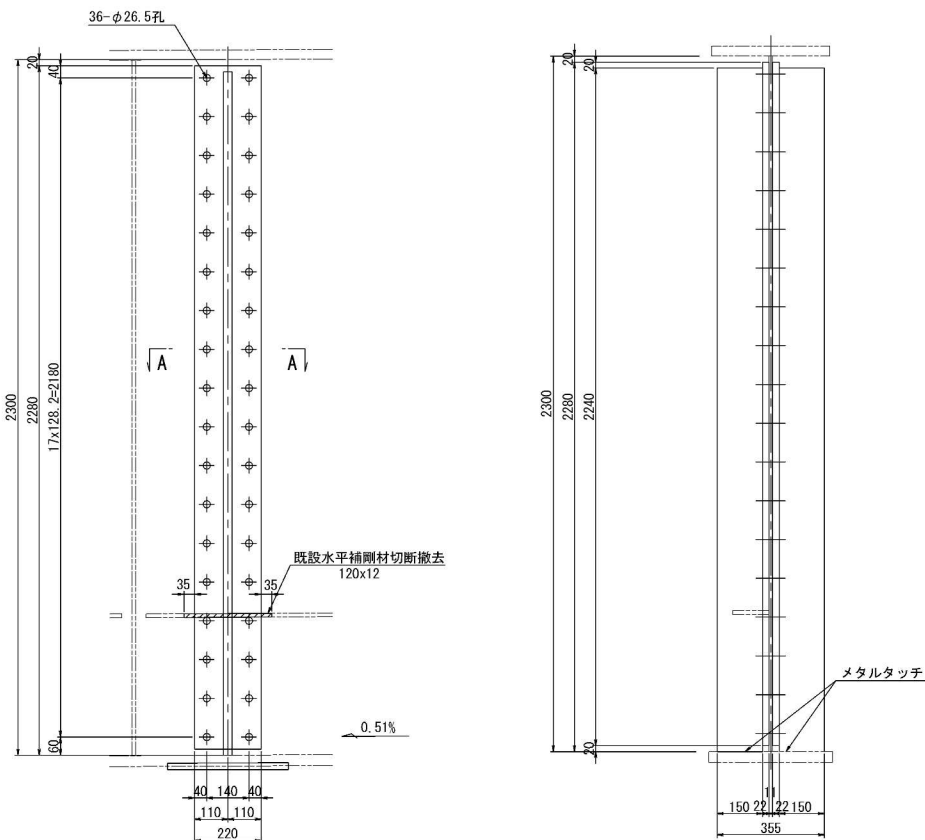
- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 B P・A-5

ジャッキアップ補強材

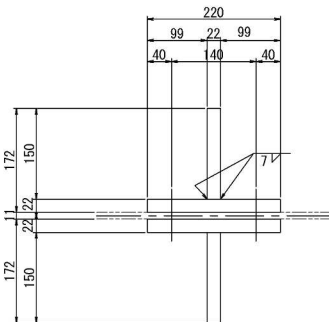
P4側-G5



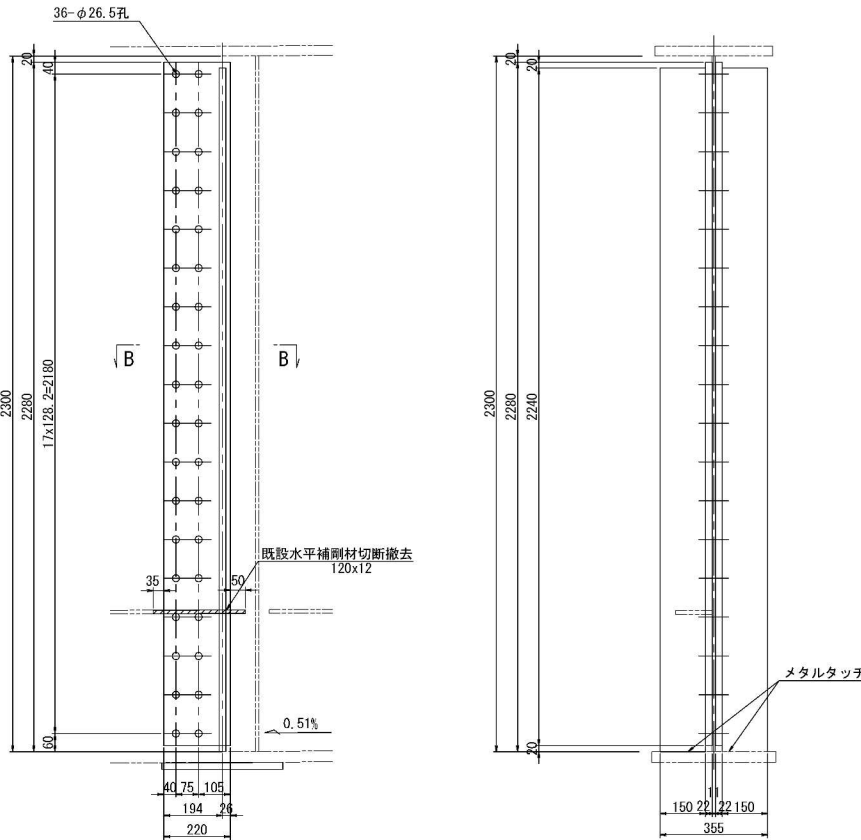
水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x290

材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5



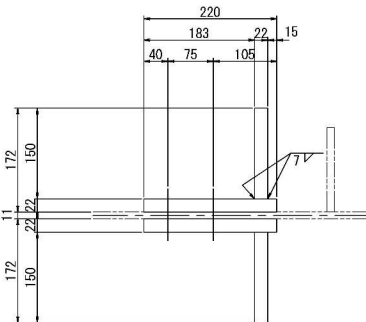
A2側-G5



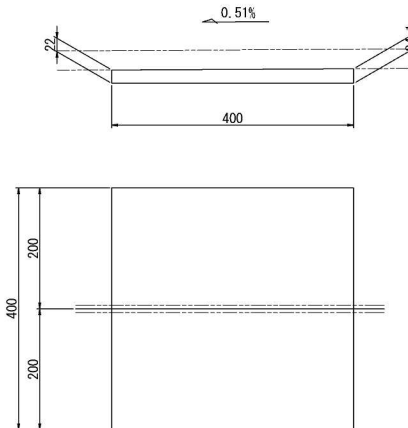
水平補剛材撤去材料：
1-PL 120x12x305

材料：(製作数：1箇所)
2-PL 220x22x2260
2-PL 150x22x2260
36-TGB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

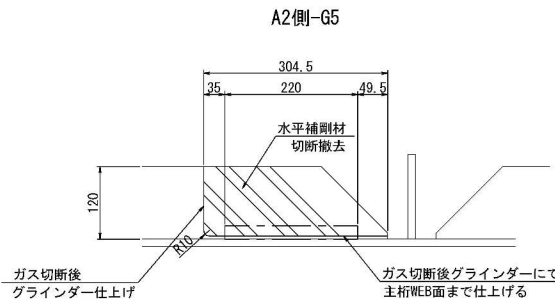
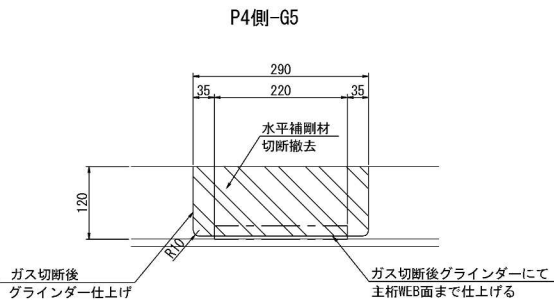


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



製作数:2
1-PL 400x27x400 (SS400)

水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

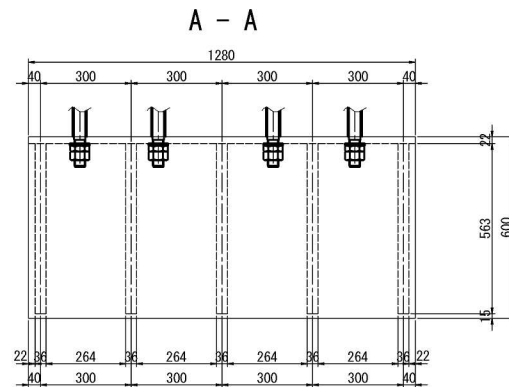


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

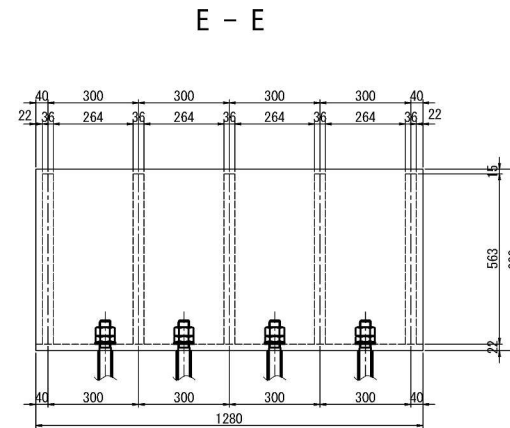
上り線 BP・A-5
脚付ブラケット

TYPE1-P4側-G1
製作数：1箇所

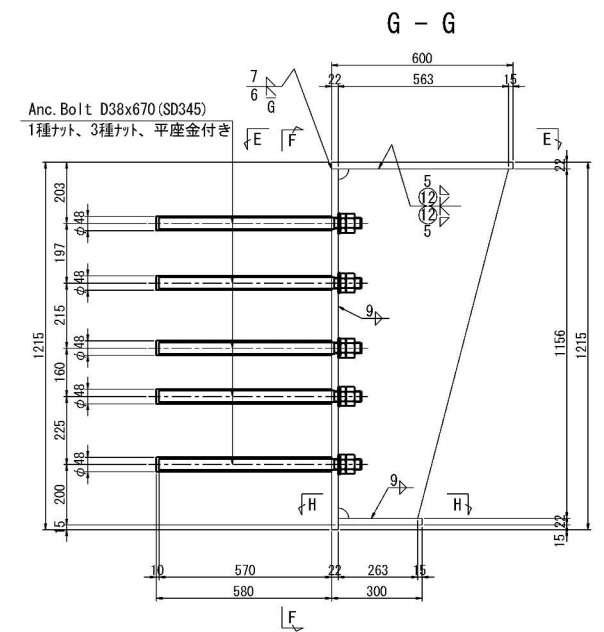
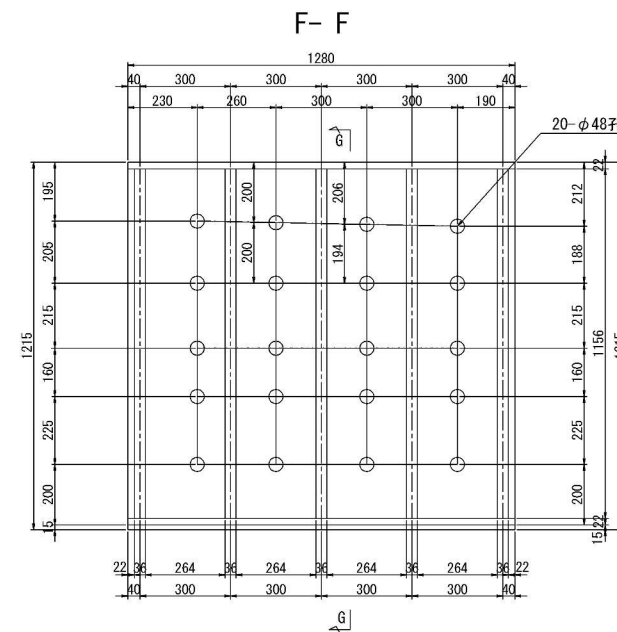
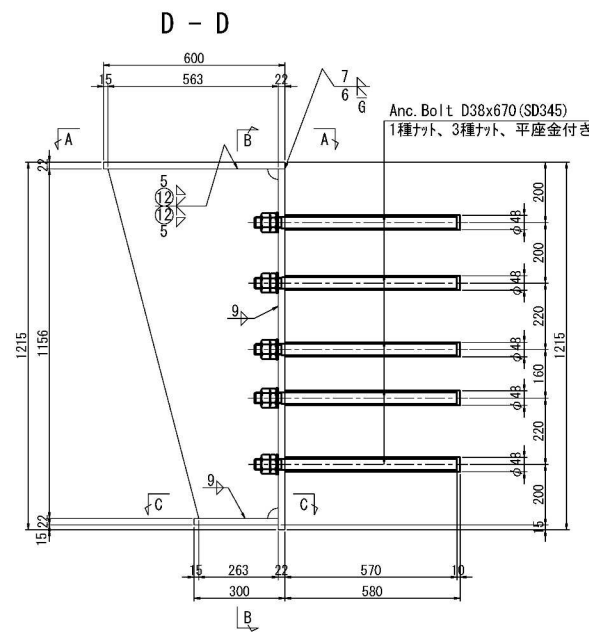
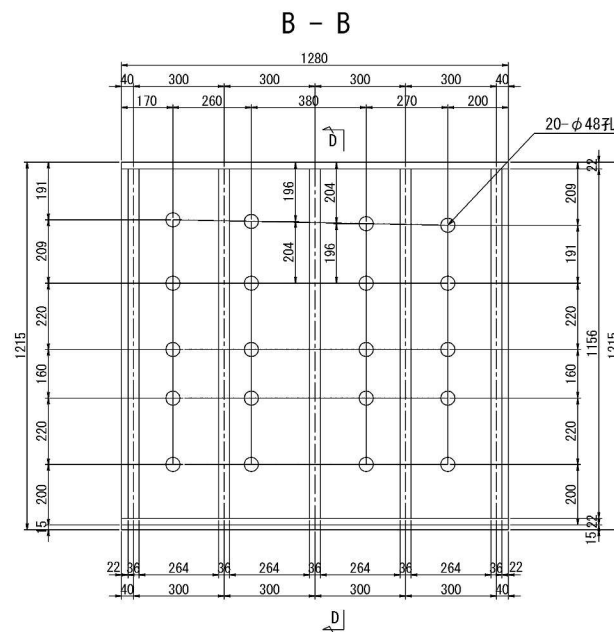


<1箇所当たり>
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38 x 670 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー-M36用 (SS400) <1種、3種>

TYPE1-A2側-G1
製作数: 1箇所

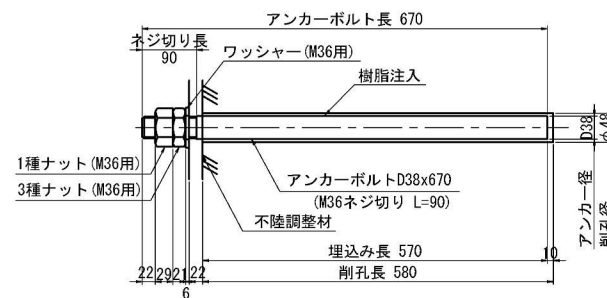
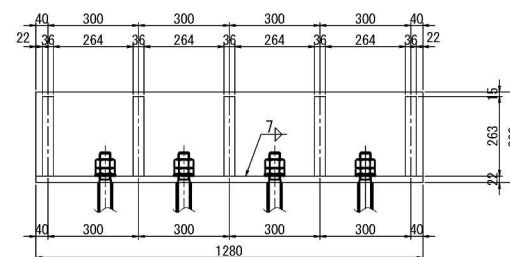


1<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
20-ナット・ワッシャー M36用 (SS400) <1種, 3種>



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE1-P4側-G1, A2側-G1
製作数:各20


$$\text{H} - \text{H}$$


注記)

1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

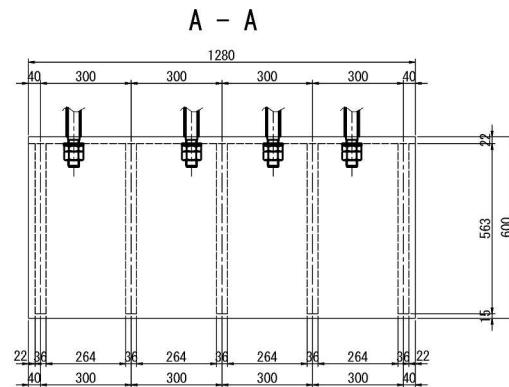
八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋		P5橋脚支承改良工図 (その8)	
図面の種類	P5橋脚支承改良工図 (その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名	〃		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-5

脚付ブラケット

TYPE3-P4側-G3

製作数：1箇所



＜1箇所当たり＞

1-UFLG PL 600x22x1280

5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)

1-LFLG PL 278x22x1280

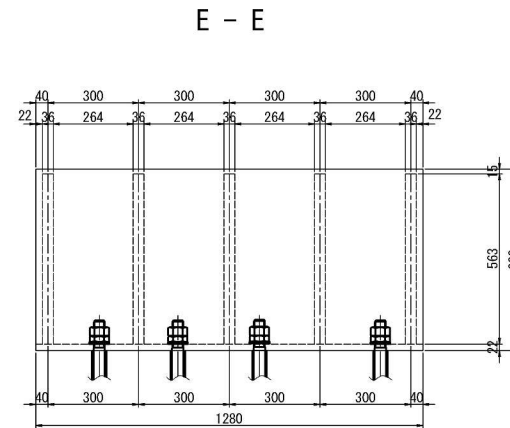
1-BASE PL 1280x22x1193

20-アンカーボルト D38×670 (SD345)

20-ナット・ワッシャーM36用(SS400)<1種, 3種>

TYPE3-A2側-G3

製作数：1箇所



＜1箇所当たり＞

1-UFLG PL 600x22x1280

5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)

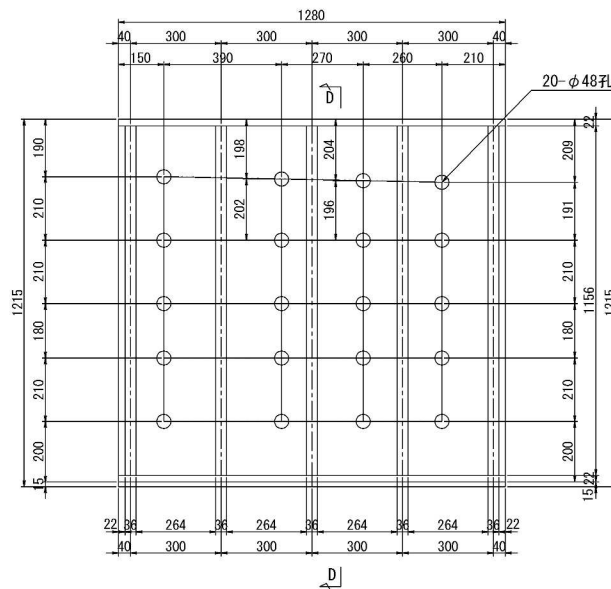
1-LFLG PL 278x22x1280

1-BASE PL 1280x22x1193

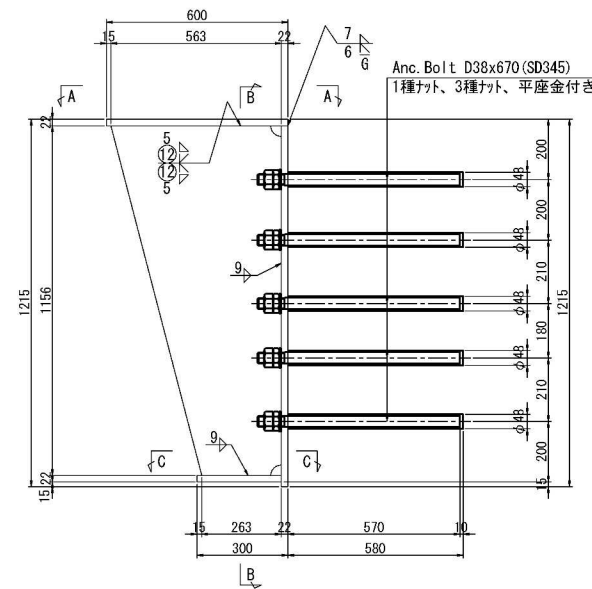
20-アンカーボルト D38×670 (SD345)

20-ナット・ワッシャーM36用(SS400)〈1種, 3種〉

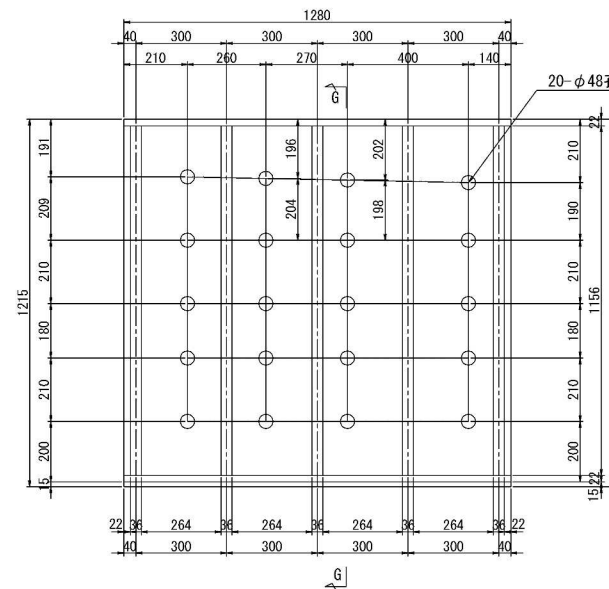
B - B



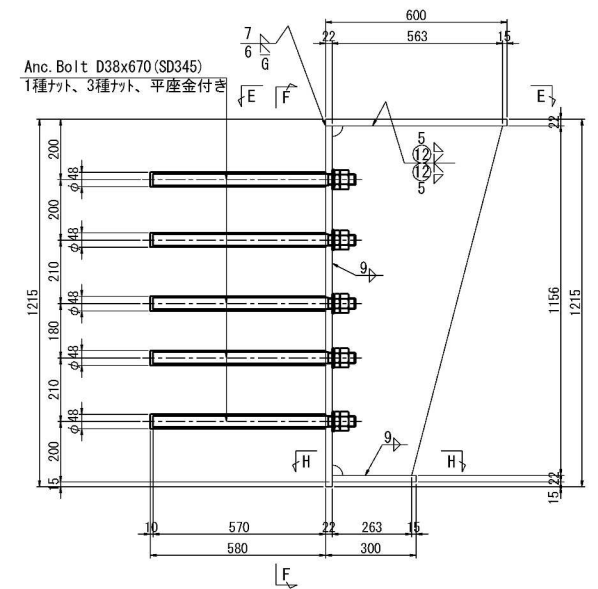
D - D



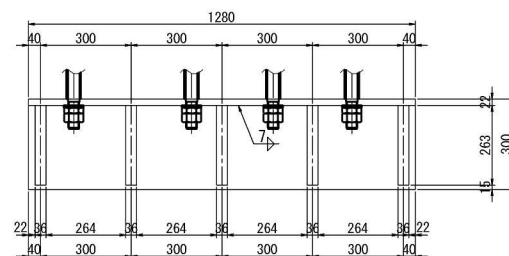
F- F



G - G



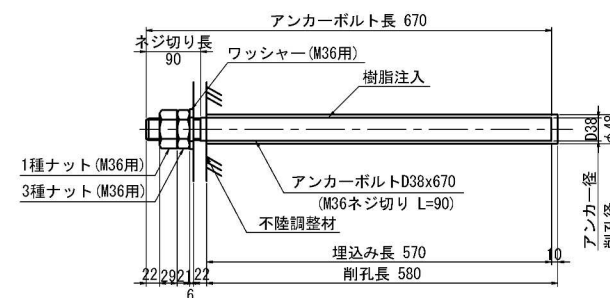
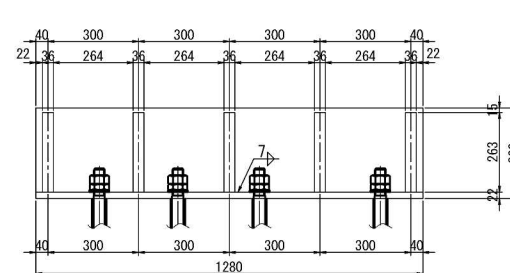
C - C



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE3-P4側-G3, A2側-G3

製作数:各20


$$\text{H} - \text{H}$$


注記)

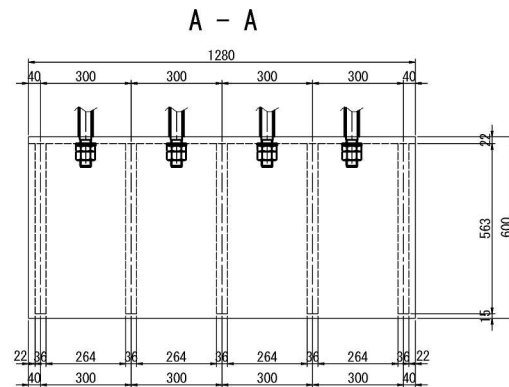
1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋		P5橋脚支承改良工図(その9)	
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名		株式会社オリエンタルコンサルタンツ	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所	

上り線 BP・A-5

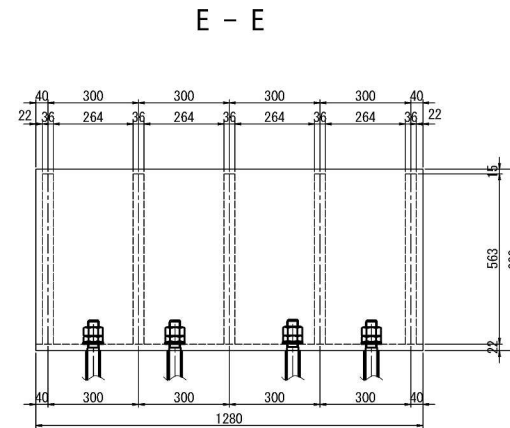
脚付ブラケット

TYPE5-P4側-G5



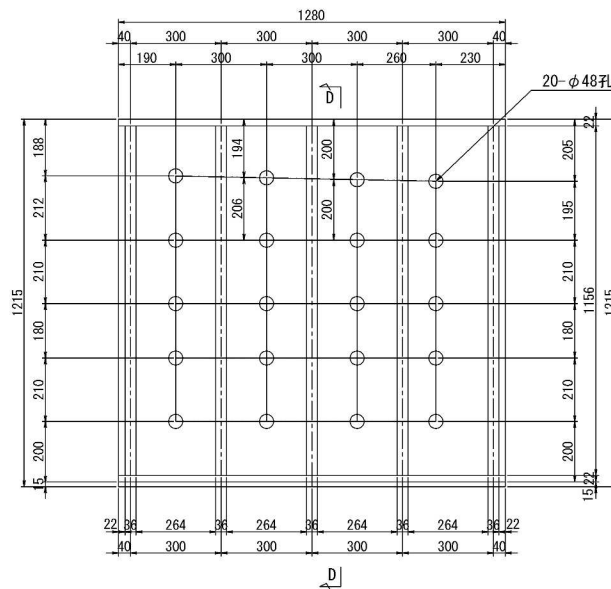
＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
 20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400)＜1種, 3種＞

TYPE5-A2側-G5

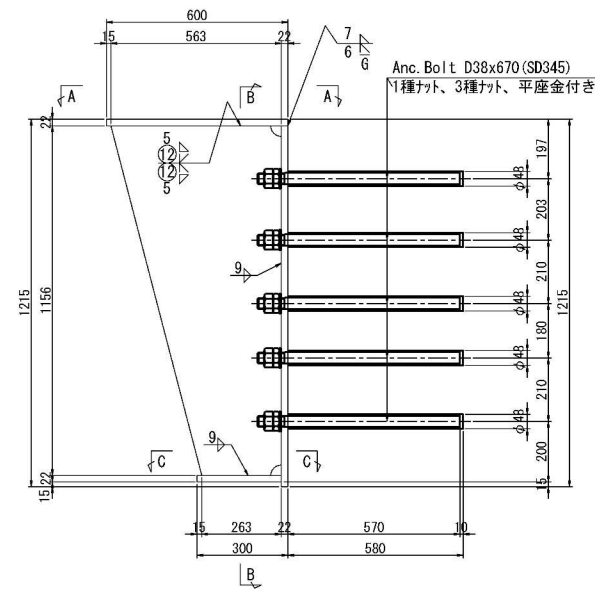


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- R1B PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー M36用 (SS400)＜1種, 3種＞

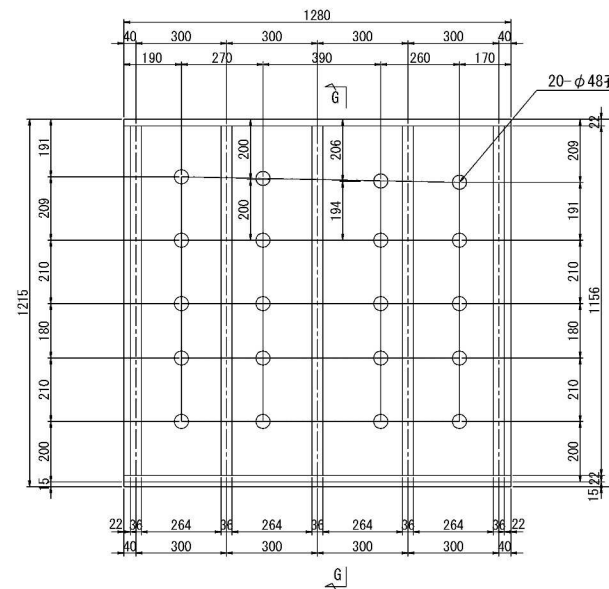
B - B



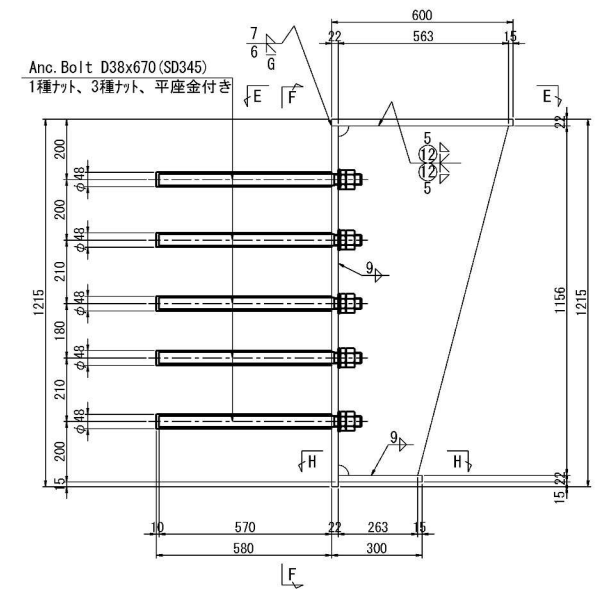
D - D



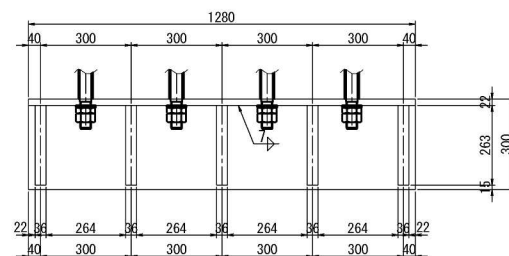
F- F



G - G

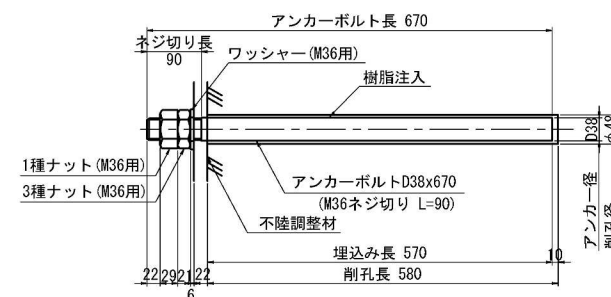
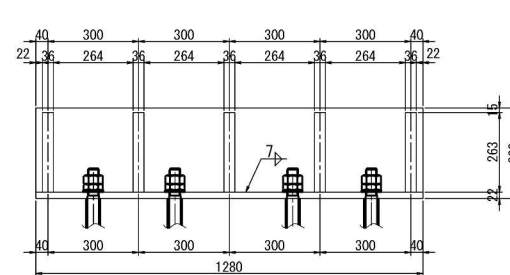


C - C



S=1 : 12.5

製作数:各20


$$\text{H} - \text{H}$$


注記)

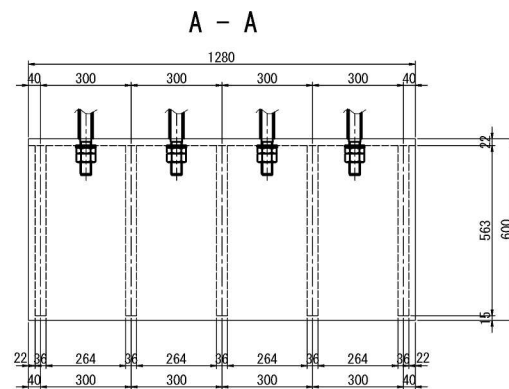
1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 磐引渡瀬川橋新築補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支改良工図(その10)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-5

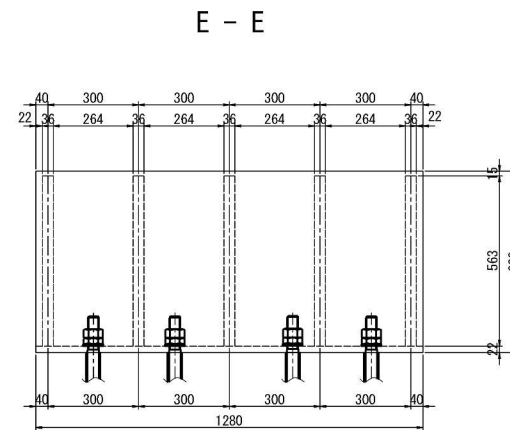
脚付ブラケット

製作数：1箇所

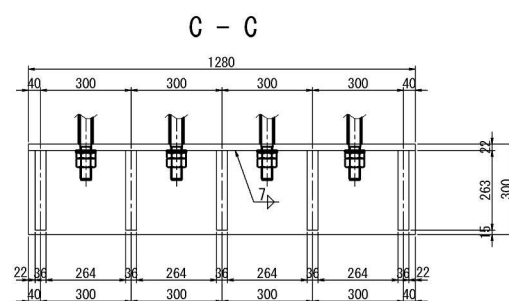
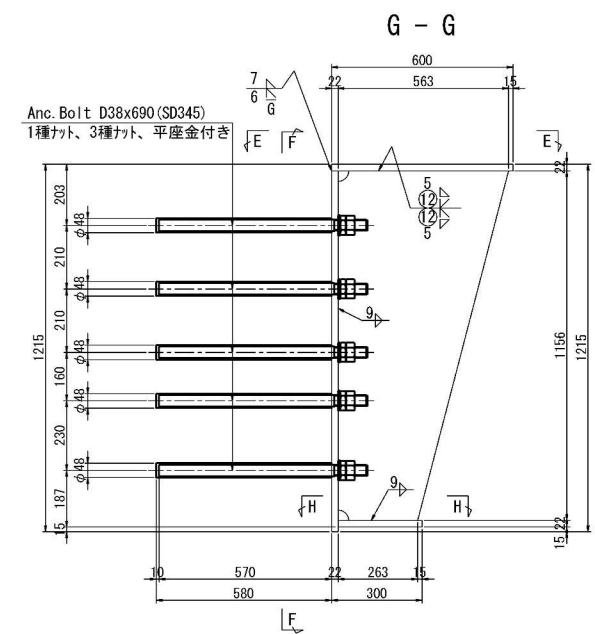
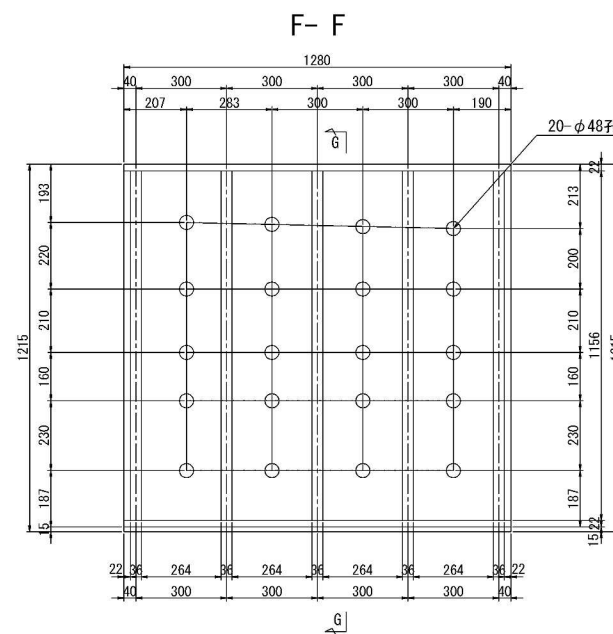
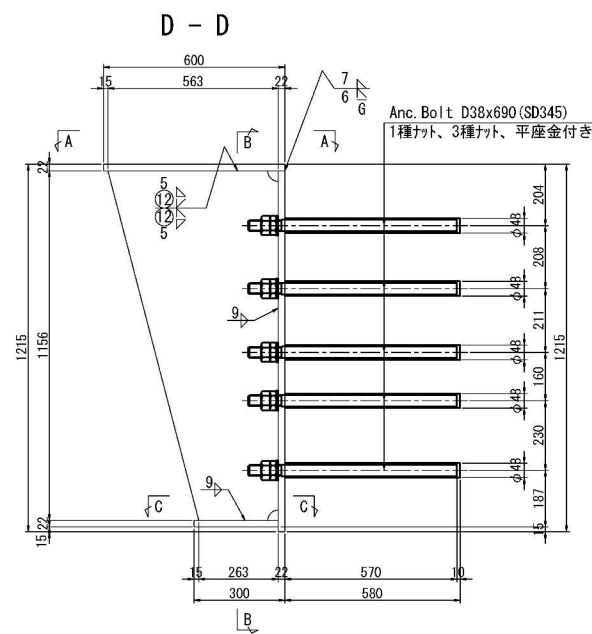
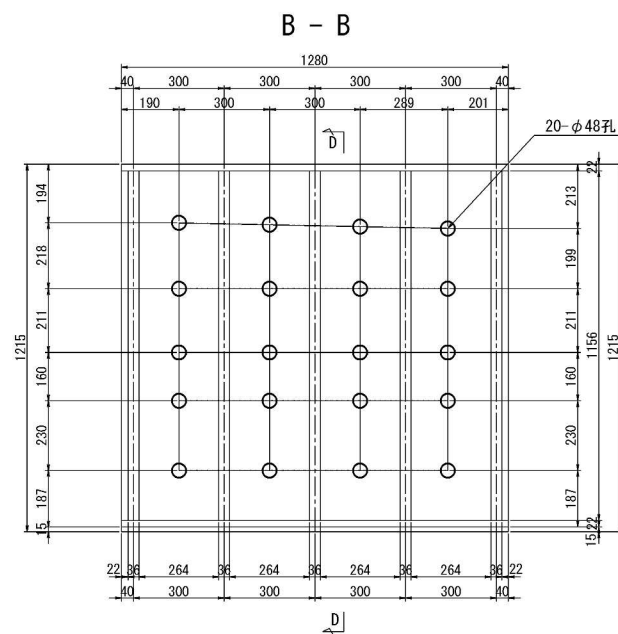


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38×690 (SD345)
 20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400)＜1種, 3種＞

製作数：1箇所



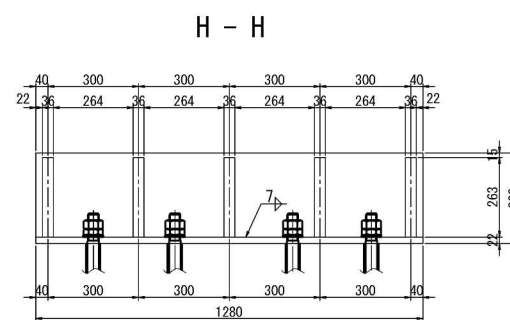
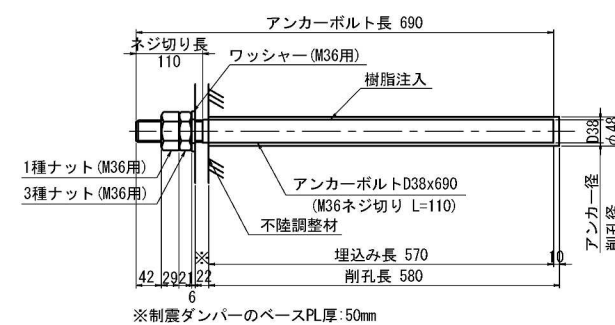
<1箇所当たり>
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D38×690 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー-M36用 (SS400) <1種, 3種>



S=1:12.5

製作数:各20

製作数:各20



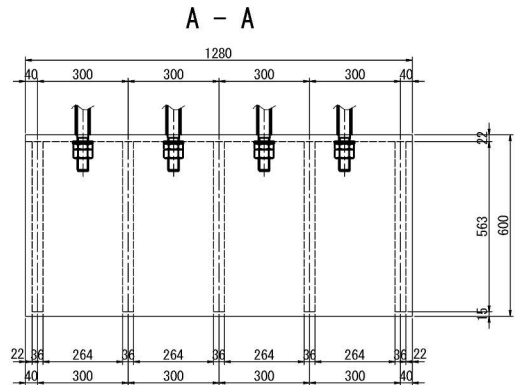
注記)

- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八 戸 自 動 車 道 栃引瀧淵川橋新震補強工事			
図面の種類		奥入瀬川橋 P5橋脚支改良工図(その11)	
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

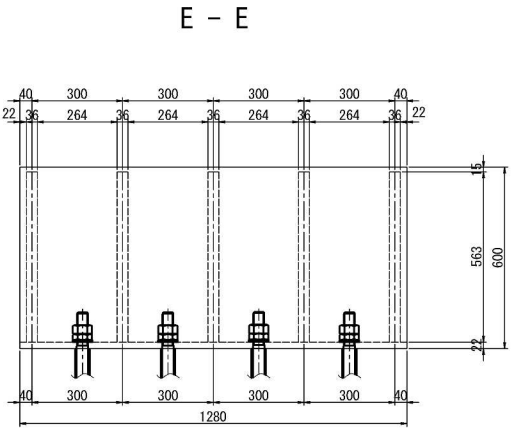
奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その12) S=1:25
上り線 BP・A-5
脚付ブラケット

TYPE4-P4側-G4
製作数: 1箇所

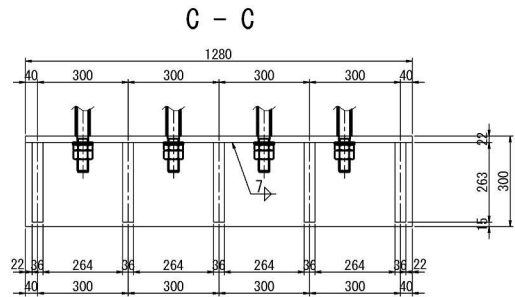
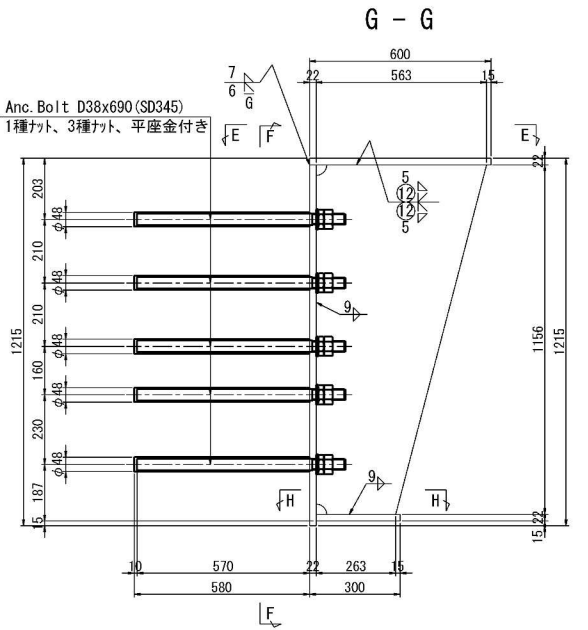
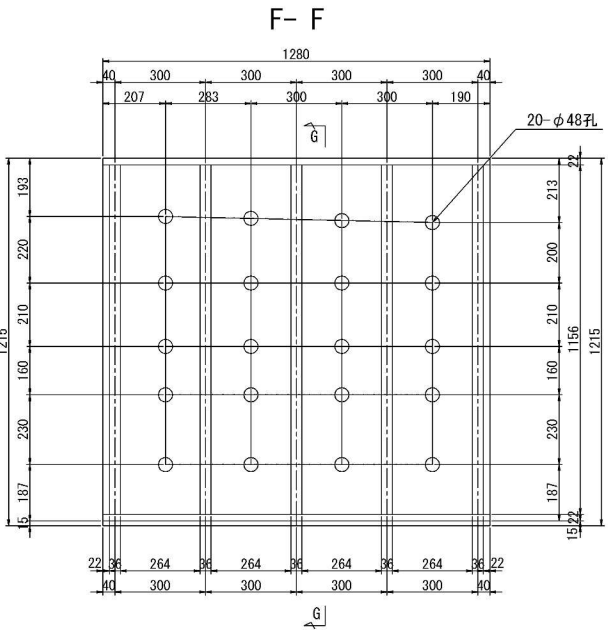
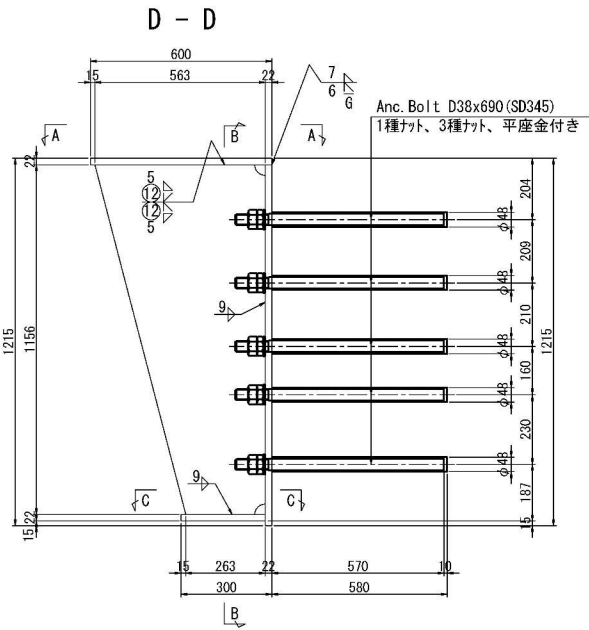
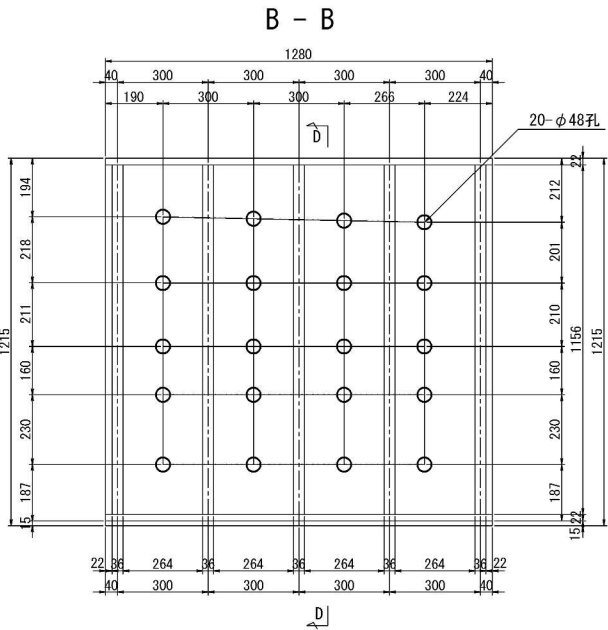


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×690 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>

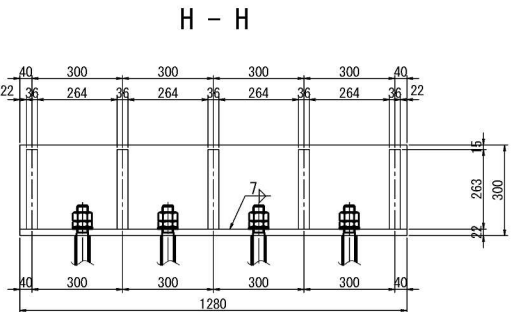
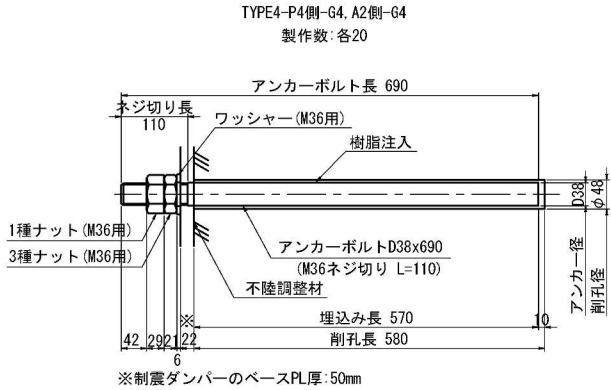
TYPE4-A2側-G4
製作数: 1箇所



<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×690 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



注記)
1. 鉄筋調査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		